

# ITメディアに関する 意識・実態調査

## 報告書

平成20年3月

文京区青少年問題協議会



## はじめに

インターネットや携帯電話等のITメディアの進展は、様々な分野において急激な変化をもたらすとともに、青少年を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしています。

近年、青少年がインターネットや携帯電話等のITメディアを学習や趣味活動等に活用する一方で、有害な情報サイトや電子メール等による犯罪や様々な被害に巻き込まれる事件が多発するなど、ITメディアに関わる青少年を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。

このため、文京区青少年問題協議会では、平成16年に策定した「文京区青少年育成プラン」において、「利便性と危険性を自覚しての積極的なITの活用」を青少年健全育成の推進項目の一つとして位置づけ、検討を重ねてまいりました。

その結果、対応策を検討するためには、まず、文京区の青少年のインターネットや携帯電話の利用実態、保護者が子どものメディア利用についてどのように認識しているか等、青少年とITメディアの実態を把握する必要があるとの結論を得ました。

そこで、本年6、7月に区内小、中学校並びにPTAの方々にご協力をいただき、アンケート調査を実施したものです。

今回の調査により、家庭や私たち大人の側の課題や青少年にとって何が必要なのか、といった課題を完全でないまでも数多く浮き彫りにすることができました。

今後、文京区青少年問題協議会では、この調査結果をもとに、ITメディアと青少年に関する課題について、家庭、学校、地域が一体となった活動を展開してまいります。

また、調査の中では、親子の関係がITメディアの適切な利用に少なからず影響を与えているとの内容も含まれております。この報告書をご覧になられた保護者の方が、親子のコミュニケーションなどをもう一度考えるきっかけにいただければ幸いです。

最後に、本調査にご協力いただきました多くの区民の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成20年3月

文京区青少年問題協議会会長

文京区長 成澤 廣 修



# 目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査内容	3
3 調査対象	3
4 調査方法	4
5 調査期間	4
6 回収結果	4
7 回答者の属性	5
8 報告書の見方	5
9 調査協力	5
第2章 調査結果の分析	7
1 児童・生徒に関する調査結果	9
1-1 デジタルメディアの利用実態	9
携帯電話の利用	9
インターネットの利用	15
1-2 携帯電話・インターネットの利用経験	22
1-3 携帯電話・インターネットの利用上のルール	25
1-4 利用に際しての規範意識	29
1-5 メディア環境のなかの子ども達	34
1-6 コミュニケーションの広がりと深さ	41
親とのコミュニケーション	41
子ども同士のコミュニケーション	45
1-7 小括	46
2 保護者に関する調査結果	47
2-1 子どもの利用実態についての認識	47
2-2 子どもの安全な利用に関する意識と配慮	52
2-3 子どもと保護者との間にある認識のギャップ	61
携帯電話・インターネットの利用に関する認識のギャップ	61
利用のルールと規範意識に見られるギャップ	64
2-4 家庭内のコミュニケーションに関する子どもと保護者の意識のギャップ	65
2-5 子どもと保護者の相互理解度のギャップ	67
2-6 家庭内のコミュニケーションとデジタル・メディアの利用との関係	69
2-7 小括	74

第3章 まとめと考察 .....	75
3 - 1 アンケート調査のまとめと考察 .....	77
子ども達の利用実態の特徴 .....	77
子ども達を取り巻く、まったく新しい「メディア環境」 .....	77
子ども達の「ルールを守る意識」「規範意識」 .....	78
子どものメディア利用実態と保護者の認識とのギャップ .....	79
子どもへの指導の必要性と実際の指導とのギャップ .....	79
3 - 2 今後の課題 .....	80
参 考 資 料 .....	83
1 アンケート調査票・単純集計 .....	85
2 IT教育に関するアンケート集計結果 .....	112
3 ITメディアと青少年健全育成検討部会開催記録 .....	118

# 第1章 調査の概要





## 1 調査目的

インターネットや携帯電話などのITメディアは、青少年の学習や趣味活動などに活用され、生活を豊かにする一方で、出会い系サイトなどの有害サイトによって青少年がトラブルに巻き込まれるなど様々な問題がみられる。

そこで、こうした問題への取り組みについて検討するにあたり、青少年問題協議会では「ITメディアと青少年健全育成検討部会」を設置し、「ITメディアに関する意識・実態調査」を行った。

本調査は、文京区の青少年がどのようにインターネットや携帯電話などのITメディアを使っているか、またその保護者が子どものメディア利用についてどう認識しているかについて調査を行い、その結果に基づき、ITメディアと青少年健全育成に関する取り組みについて検討することを目的として実施した。

## 2 調査内容

- (1) パソコンと携帯の利用実態
- (2) メディア全体の利用に関する意識
- (3) 生活環境及びメディア全体の利用実態
- (4) 対人関係の実態と意識

## 3 調査対象

- (1) 児童・生徒(区立小学校4校、区立中学校3校の全児童・生徒)
  - 小学2年生～小学4年生      395人
  - 小学5年生～中学3年生      622人
- (2) 保護者(各区立小・中学校1クラス3名程度の保護者)
  - 区立小・中学校の保護者      1,000人

## 4 調査方法

### (1) 児童・生徒

区内4地区(富坂・大塚・本富士・駒込)から学校を選出  
学校単位で各クラスの担任教諭の指導のもとにアンケートを実施

### (2) 保護者

区立小学校20校、区立中学校11校のPTAに配布を依頼  
実施後、回収用封筒にて郵送回収  
(小・中学生の子どもが複数名いる場合は、最年長の子どもについて回答)

## 5 調査期間

(1) 児童・生徒 平成19年6月14日～6月29日

(2) 保護者 平成19年6月14日～7月31日

## 6 回収結果

### (1) 児童・生徒

小学生2年生～小学生4年生 382人 (有効回収率 96.7%)

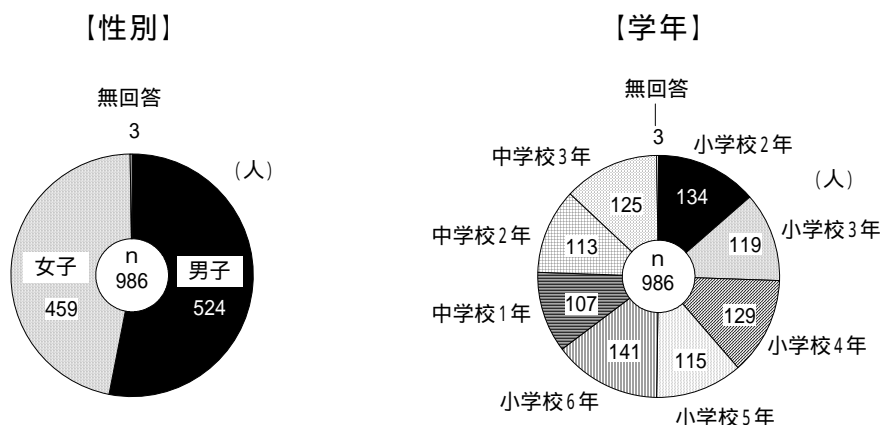
小学生5年生～中学生3年生 604人 ( " 97.1%)

### (2) 保護者

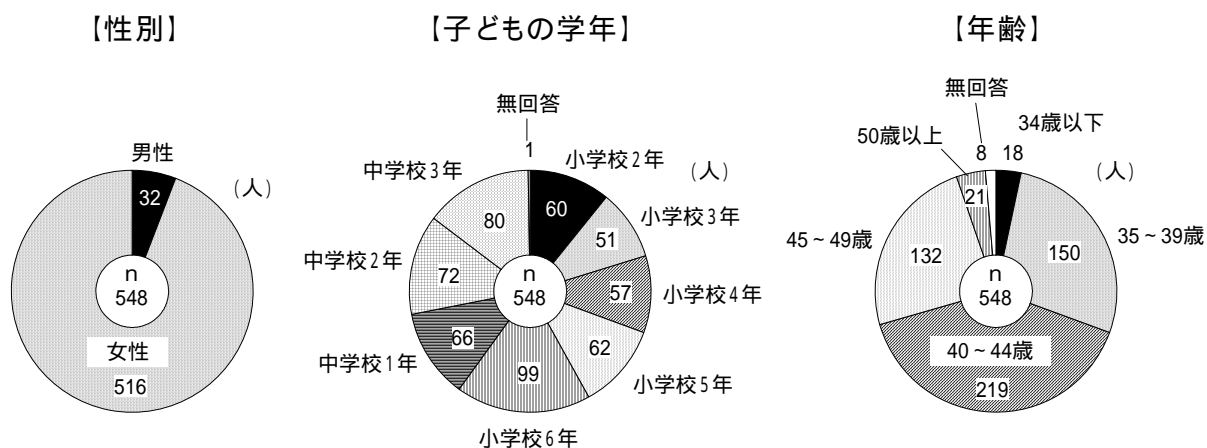
区内の小・中学生の保護者 577人 ( " 57.7%)

## 7 回答者の属性

### (1) 児童・生徒



### (2) 保護者



## 8 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) n (number of casesの略) は、基数となるべき実数であり、質問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の質問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している。

## 9 調査協力

アンケートの調査項目、調査結果の分析、まとめと考察については、早稲田大学教育・総合科学学術院教授 伊藤 守氏にご協力をいただいた。



## 第2章 調査結果の分析



## 第2章 調査結果の分析

### 1 児童・生徒に関する調査結果

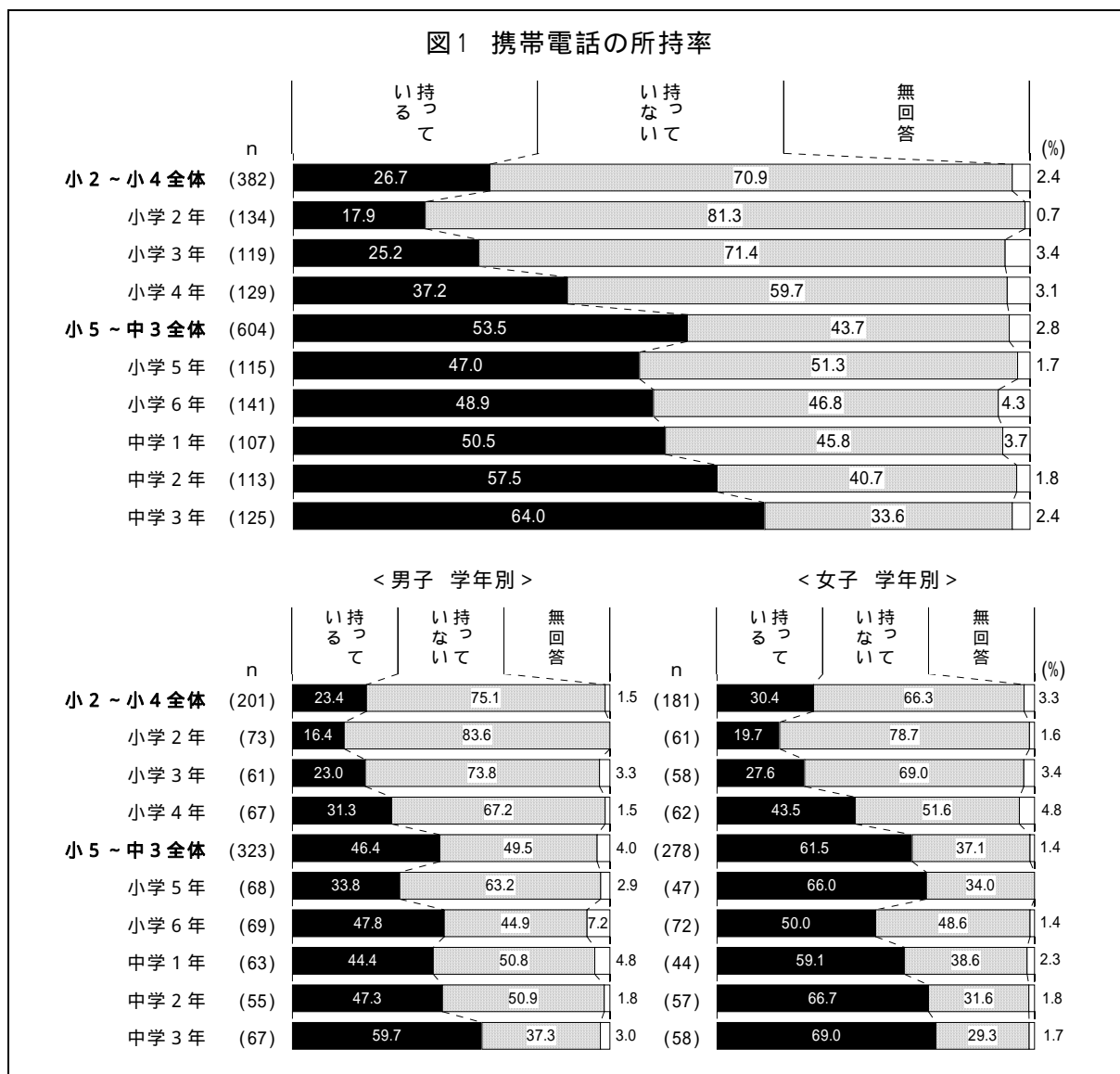
#### 1 - 1 デジタルメディアの利用実態

##### 携帯電話の利用

A 携帯電話の所持率は、小学4年で37.2%、中学3年で64.0%、低学年でも携帯電話が利用されている。

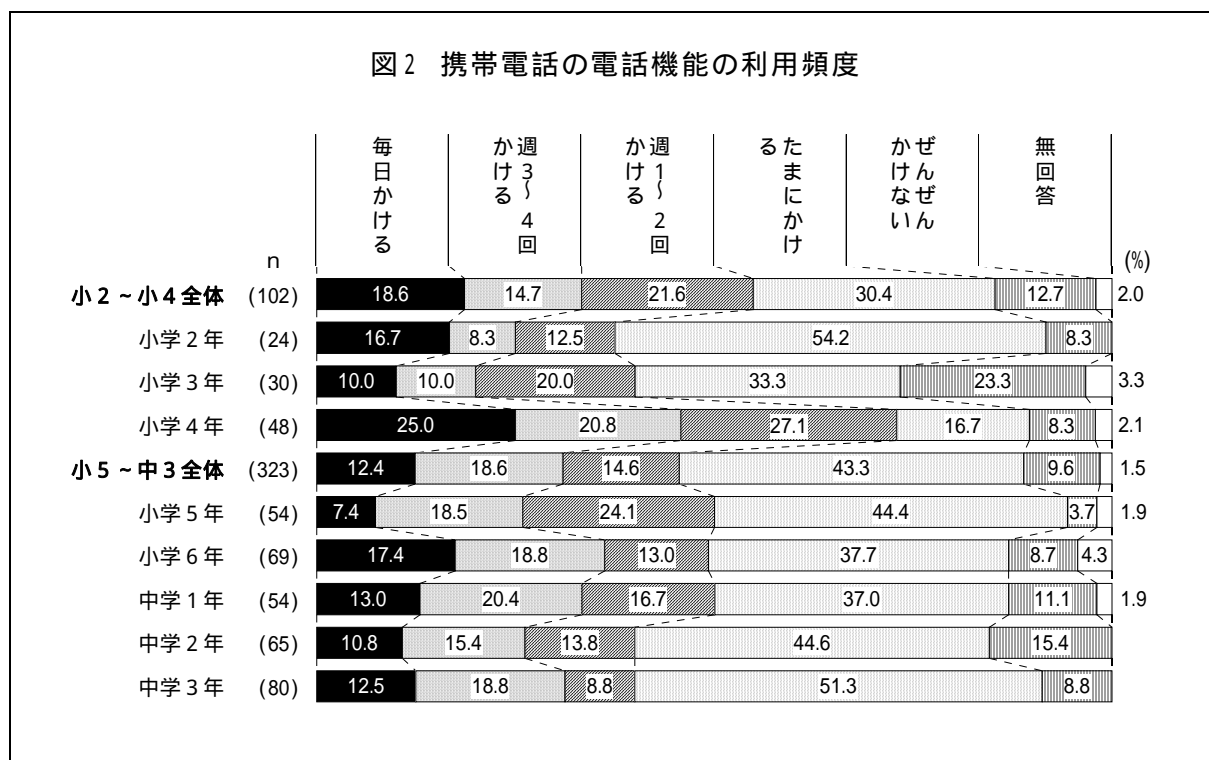
小学2年では17.9%とほぼ5人に1人の割合で携帯電話を持っていることがわかる。図1に示したように、学年が進むにつれて所持率が上昇する。小学3年から小学4年にかけて、小学4年から小学5年にかけて、大きく伸びている。また、全学年で、女子の所持率が高いことも注目される。

小学5年から中学3年の全体では、男子が46.4%、女子が61.5%である。



**B 携帯電話の電話機能の利用頻度を見ると、小学4年、小学6年でよく利用されている。**

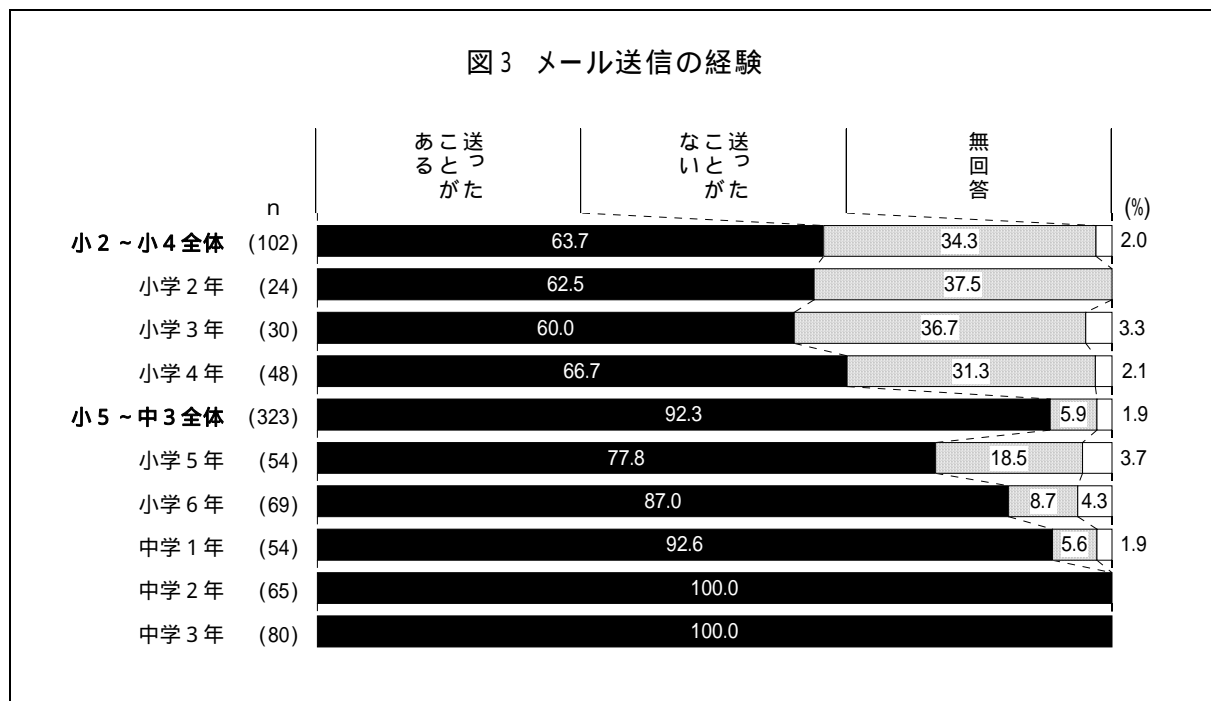
小学4年では「毎日かける」が25.0%、「週3～4回かける」が20.8%で、他の学年と比較すると利用頻度が高い。利用初期の段階であるために「おもしろそう、使ってみたい」という感覚で使っていることが推測される。小学6年では「毎日かける」が17.4%、「週3～4回かける」が18.8%で、小学4年に次いで高い割合を示している。塾通いなどで外出する機会が多いことが一因と考えられる。小学2年から4年の全体では「毎日かける」が18.6%、小学5年から中学3年の全体では「毎日かける」が12.4%である。





C 携帯電話所持者の中でメール送信経験ありが、小学2年で62.5%、中学2年で100%。

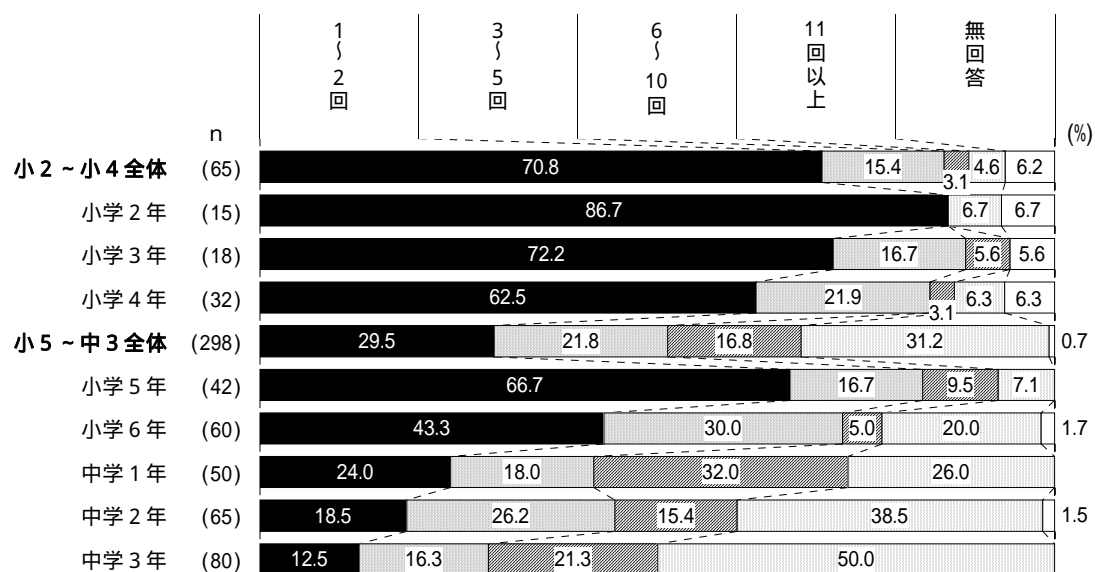
小学4年まではメール送信の経験がない割合が約30%台で、小学5年では18.5%である。この割合は小学6年から8.7%へと急激に減少する。メール機能の利用が小学6年から拡大することがわかる。



D 携帯で一日にメールを送る頻度では、小学2年から小学5年では「1～2回」がほとんどである。学年が進むにつれて頻度が高くなり、中学3年では「11回以上」が50.0%となる。

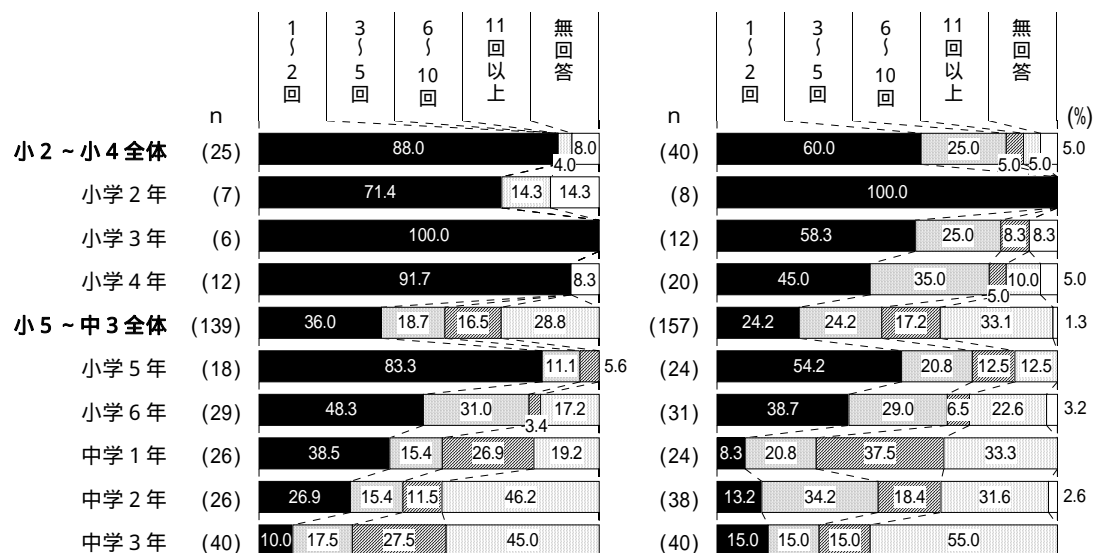
小学6年で「11回以上」が20.0%、中学1年で26.0%、中学2年では38.5%で、学年が進むにつれて一日の利用頻度が高くなるのがわかる。また特徴的なのは、中学3年の女子の「11回以上」が55.0%と飛びぬけて高いことである。

図4 携帯で一日にメールを送る回数



<男子 学年別>

<女子 学年別>



E メールを送る相手は、どの学年も「家族」が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は低下する。またメールを送る相手として、小学6年で26.7%が「メル友<sup>1</sup>」を挙げており、「ネットで知りあった人」は中学2年で9.2%。

小学2年では「家族」が93.3%、小学3年で94.4%、小学4年で90.6%を占めている。「学校や習いごとの友達」の回答では、小学2年が20.0%、小学3年が22.2%、小学4年が43.8%となり、小学4年から友達とのメール交換が多くなるのがわかる。

小学5年では「家族」が92.9%、小学6年で88.3%、中学1年で74.0%、中学2年で73.8%、中学3年で67.5%となる。

さらに、「メル友」が、中学1年で22.0%、中学2年で27.7%、中学3年で26.3%を占めており、高学年になると約3割は「メル友」がいるという結果である。

表1 メールを送る相手(複数回答)

	調査数	家族	の学校 友校や 習いご と	にパ ソ コ ン で 友 達	に携 帯 電 話 で 友 達	そ の 他	無 回 答
<b>小2～小4全体</b>	<b>65</b>	<b>92.3</b>	<b>32.3</b>	<b>3.1</b>	<b>4.6</b>	<b>13.8</b>	<b>1.5</b>
小学2年	15	93.3	20.0	6.7	13.3	13.3	-
小学3年	18	94.4	22.2	-	5.6	11.1	-
小学4年	32	90.6	43.8	3.1	-	15.6	3.1

	調査数	家族	実学校 際・塾 に知 つて 友 達 な ど	ネ ッ ト で 知 り あ つ た 人	メ ル 友	そ の 他
<b>小5～中3全体</b>	<b>298</b>	<b>77.9</b>	<b>77.2</b>	<b>3.7</b>	<b>24.8</b>	<b>7.4</b>
小学5年	42	92.9	42.9	-	19.0	7.1
小学6年	60	88.3	63.3	1.7	26.7	3.3
中学1年	50	74.0	88.0	2.0	22.0	10.0
中学2年	65	73.8	90.8	9.2	27.7	3.1
中学3年	80	67.5	87.5	3.8	26.3	12.5

<sup>1</sup> メル友：電子メールでやり取りが主なコミュニケーション手段になっている友人のこと。  
(『日経パソコン用語辞典2007年版』日経BP社、2006年、954ページ)

F 携帯電話の使い道は、学年が進むにつれて多様化している。

小学5年から中学3年の全体では、「家族と電話」が89.8%、「家族とメール」が77.7%、「友達とメール」が77.1%、「カメラで写真をとる」が72.8%、「友達と電話」が66.6%で、これらの項目が上位を占める。これに「音楽をきく」50.2%、「着メロ<sup>2</sup>・着うた<sup>3</sup>のダウンロード」44.6%が続く。

他の学年ではほとんどみられない「チャット<sup>4</sup>」が、中学2年で10.8%、中学3年で10.0%の割合を示していることが注目される。さらにこれも他の学年では見られない「掲示板<sup>5</sup>に書きこむ」が、中学2年で15.4%、中学3年で16.3%となり、中学2年から一気に増加している。

表2 携帯電話の使い道(複数回答)

	調査数	家族と電話	家族とメール	友達と電話	友達とメール	テレビを見る	音楽をきく	ゲームをする	カメラで写真をとる	その他	無回答	チャット(ネットでのおしゃべり)	掲示板に書きこむ	着メロ・着うたのダウンロード
<b>小2～小4全体</b>	<b>102</b>	<b>80.4</b>	<b>51.0</b>	<b>17.6</b>	<b>23.5</b>	<b>7.8</b>	<b>17.6</b>	<b>26.5</b>	<b>55.9</b>	<b>20.6</b>	<b>1.0</b>			
小学2年	24	83.3	41.7	12.5	20.8	16.7	29.2	41.7	58.3	20.8	-			
小学3年	30	73.3	50.0	10.0	13.3	3.3	23.3	30.0	50.0	23.3	-			
小学4年	48	83.3	56.3	25.0	31.3	6.3	8.3	16.7	58.3	18.8	2.1			
<b>小5～中3全体</b>	<b>323</b>	<b>89.8</b>	<b>77.7</b>	<b>66.6</b>	<b>77.1</b>	<b>10.5</b>	<b>50.2</b>	<b>38.7</b>	<b>72.8</b>	<b>18.6</b>	<b>0.9</b>	<b>5.6</b>	<b>8.0</b>	<b>44.6</b>
小学5年	54	94.4	63.0	35.2	44.4	3.7	35.2	25.9	63.0	13.0	-	-	-	18.5
小学6年	69	92.8	75.4	58.0	58.0	8.7	40.6	31.9	63.8	13.0	1.4	2.9	2.9	27.5
中学1年	54	87.0	72.2	79.6	87.0	7.4	59.3	33.3	74.1	13.0	3.7	1.9	1.9	48.1
中学2年	65	89.2	87.7	70.8	96.9	20.0	58.5	52.3	81.5	27.7	-	10.8	15.4	53.8
中学3年	80	86.3	85.0	82.5	92.5	11.3	56.3	46.3	78.8	23.8	-	10.0	16.3	67.5

「チャット(ネットでのおしゃべり)」、「掲示板に書きこむ」、「着メロ・着うたのダウンロード」は小学5年～中学3年のみ

<sup>2</sup> 着メロ:着信メロディのこと。携帯電話の着信音を、内臓の音源を使って特定のメロディとして鳴らす機能、またはそのコンテンツそのものを指す。

(『日経パソコン用語辞典2007年版』日経BP社、2006年、732ページ)

<sup>3</sup> 着うた:歌手やアーティストの生の演奏や歌声をそのまま着信音として鳴らす機能、またはそのコンテンツそのものを指す。

(同732ページ)

<sup>4</sup> チャット:オンラインサービス上でリアルタイムにメッセージをやり取りし、おしゃべり(会話)すること。

(同733ページ)

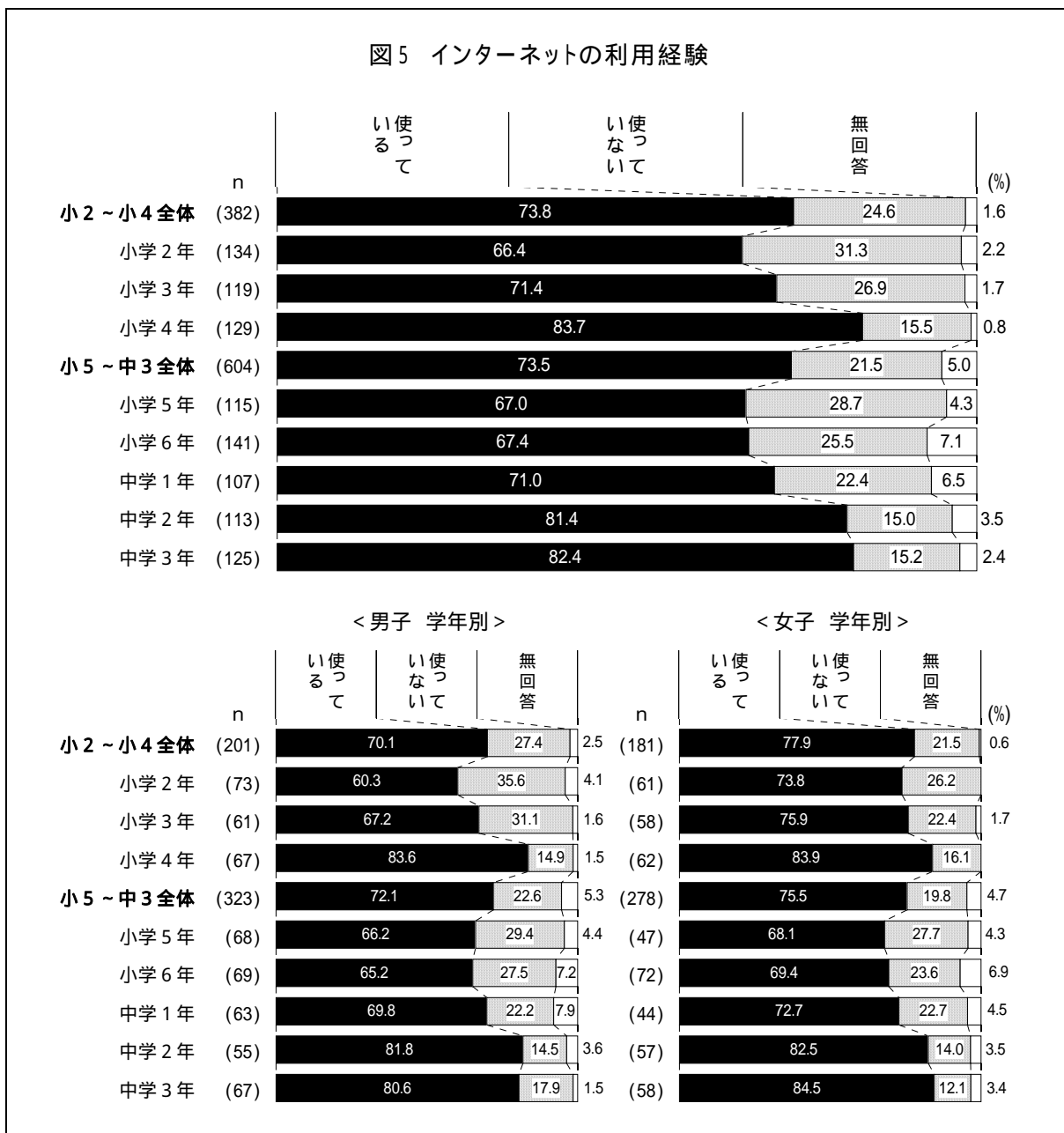
<sup>5</sup> 掲示板:ユーザーが自由に文章や図版を書き込み、他のユーザーに公開して意見交換や連絡のやり取りなどが出来るサービス。

(同587ページ)

## インターネットの利用

A 「インターネットの利用経験がある」では、小学2年で66.4%、小学4年で83.7%、小学6年で67.4%、中学3年で82.4%。

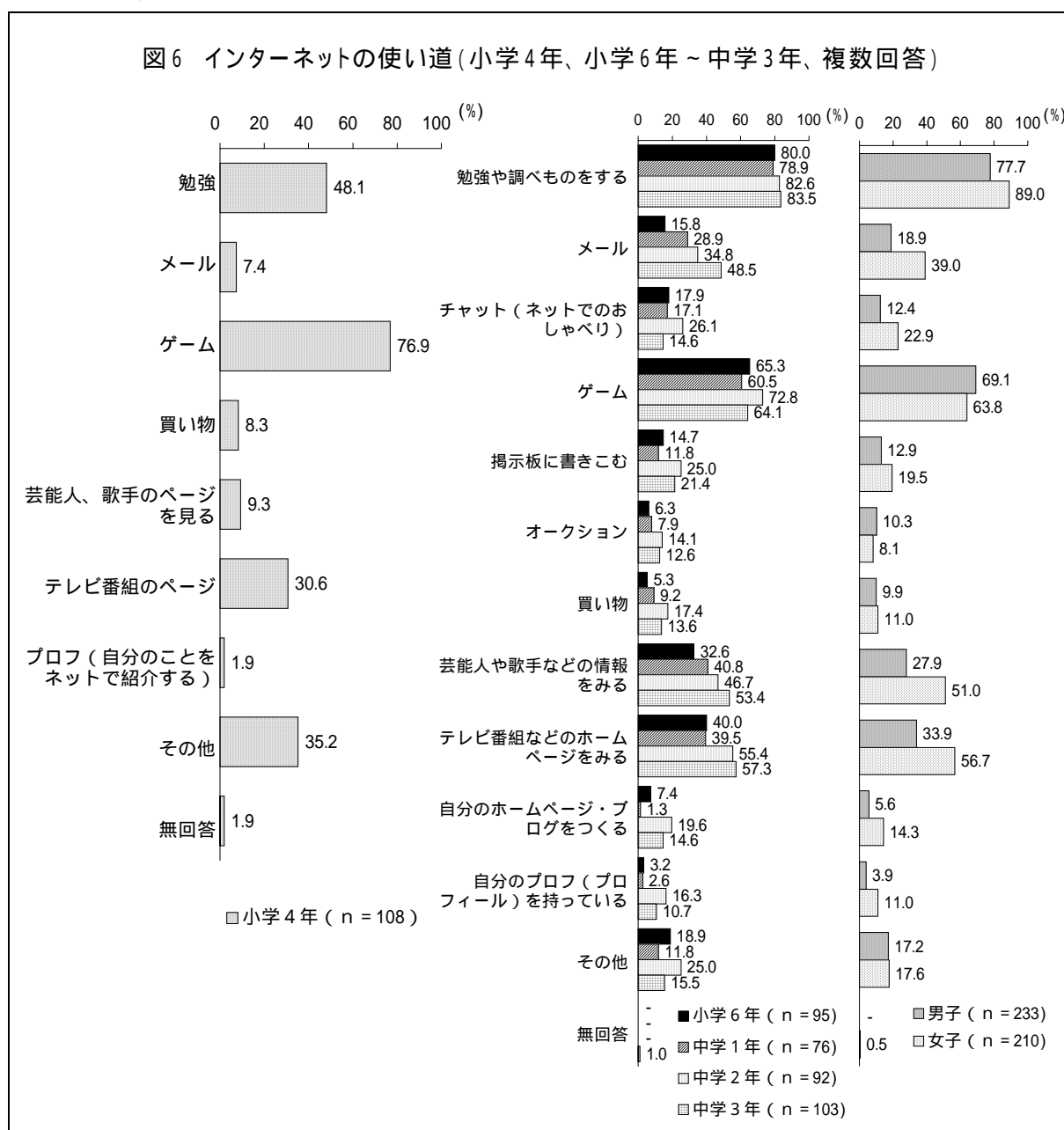
どの学年でも女子の利用が男子よりもやや高いという傾向が見られる。小学5年の女子で68.1%、男子で66.2%、小学6年の女子で69.4%、男子で65.2%、中学1年の女子で72.7%、男子で69.8%、中学2年の女子で82.5%、男子で81.8%、中学3年の女子で84.5%、男子で80.6%である。



B インターネットの使い道では、小学2年から小学4年の全体で、「ゲーム」75.5%、「勉強」48.9%、「テレビ番組のページ」30.5%の順になる。中学3年では「勉強」83.5%、「ゲーム」64.1%、「テレビ番組のページ」57.3%、「芸能人や歌手などの情報」53.4%の順になる。

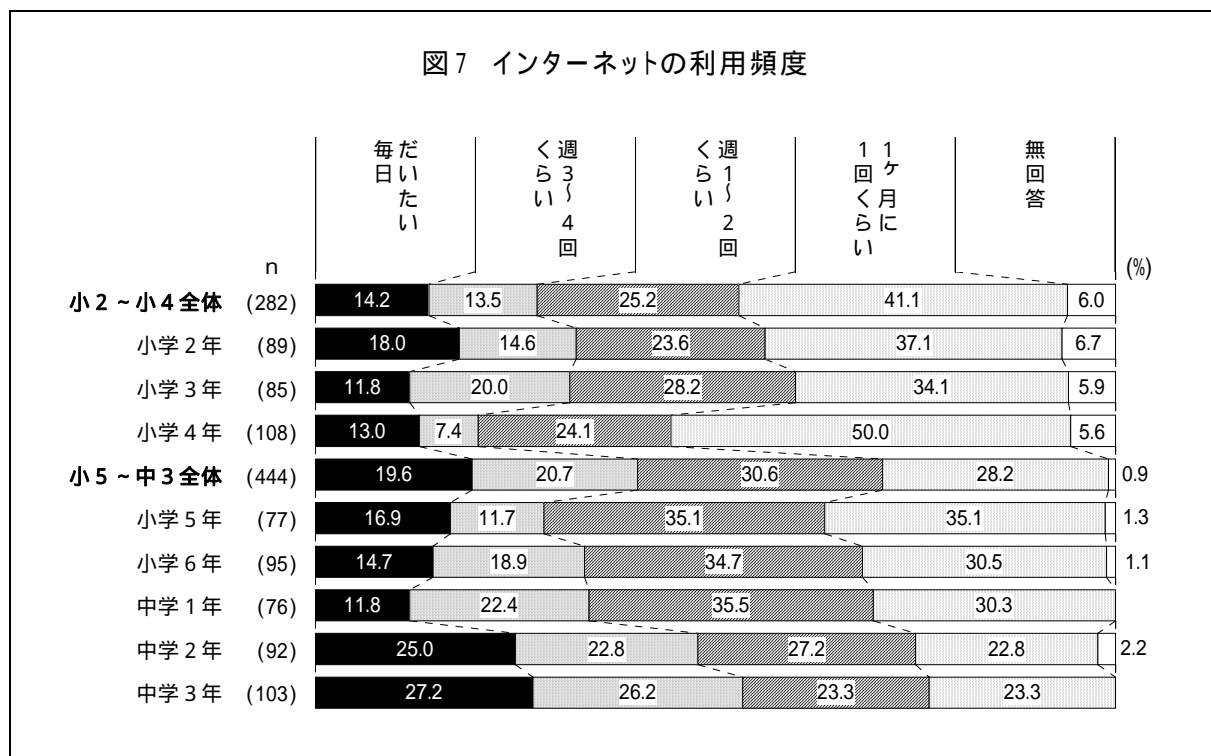
小学6年ごろから使い方が多様化する傾向があり、小学6年で「チャット」17.9%、「掲示板に書きこむ」14.7%と、この学年からこうした項目の割合が高くなる。中学2年で19.6%、中学3年で14.6%が「自分のホームページ・ブログ」をつくっている。さらに「自分のプロフィール」でも、中学2年で16.3%、中学3年で10.7%が持っている。また「買い物」でも、中学2年で17.4%、中学3年で13.6%が経験している。

男女別で見ると、「勉強」「メール」「チャット」「掲示板」「芸能人や歌手などの情報」「テレビ番組などのホームページ」「自分のホームページ・ブログ」「自分のプロフィール」などほとんどの項目で女子の割合が高い。



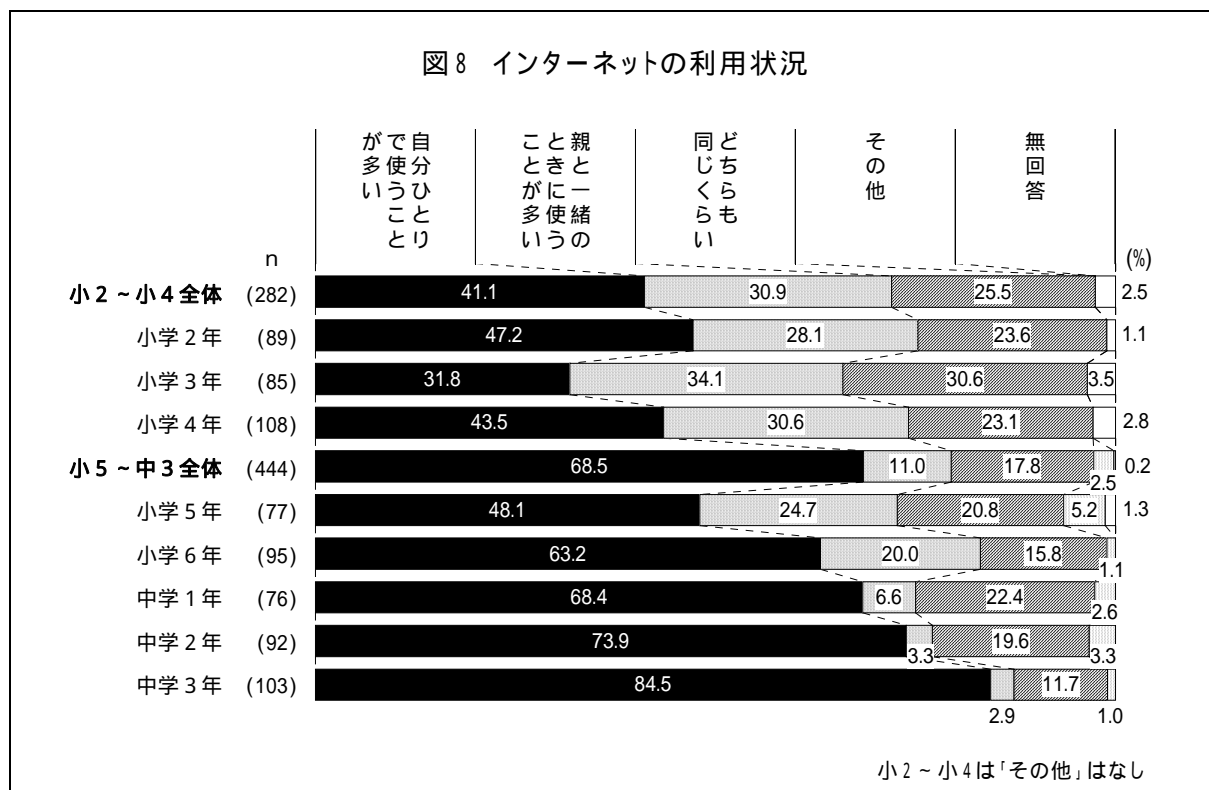
C インターネットの利用頻度では、「だいたい毎日」が中学3年で27.2%。

小学2年から中学1年までは、「週3回～4回くらい」「だいたい毎日」を合わせて30%（小学4年のみ20%）程度であるが、中学2年では「だいたい毎日」が25.0%、「週3回～4回くらい」が22.8%、中学3年では「だいたい毎日」が27.2%、「週3回～4回くらい」が26.2%となり、中学2年から利用頻度が高まる。



D インターネットの利用状況に関しては、小学2年で47.2%が「自分ひとりで使うことが多い」と答え、小学6年からは60%を超え、中学3年では84.5%である。

小学2年で47.2%とかなり高い割合で「自分ひとりで使うことが多い」状況にあることがうかがえる。さらに、小学6年からは「自分ひとりで使うことが多い」が増加、中学1年から「親と一緒に使うことが多い」が急激に減少し、ひとりでの利用に拍車がかかっている結果と言える。

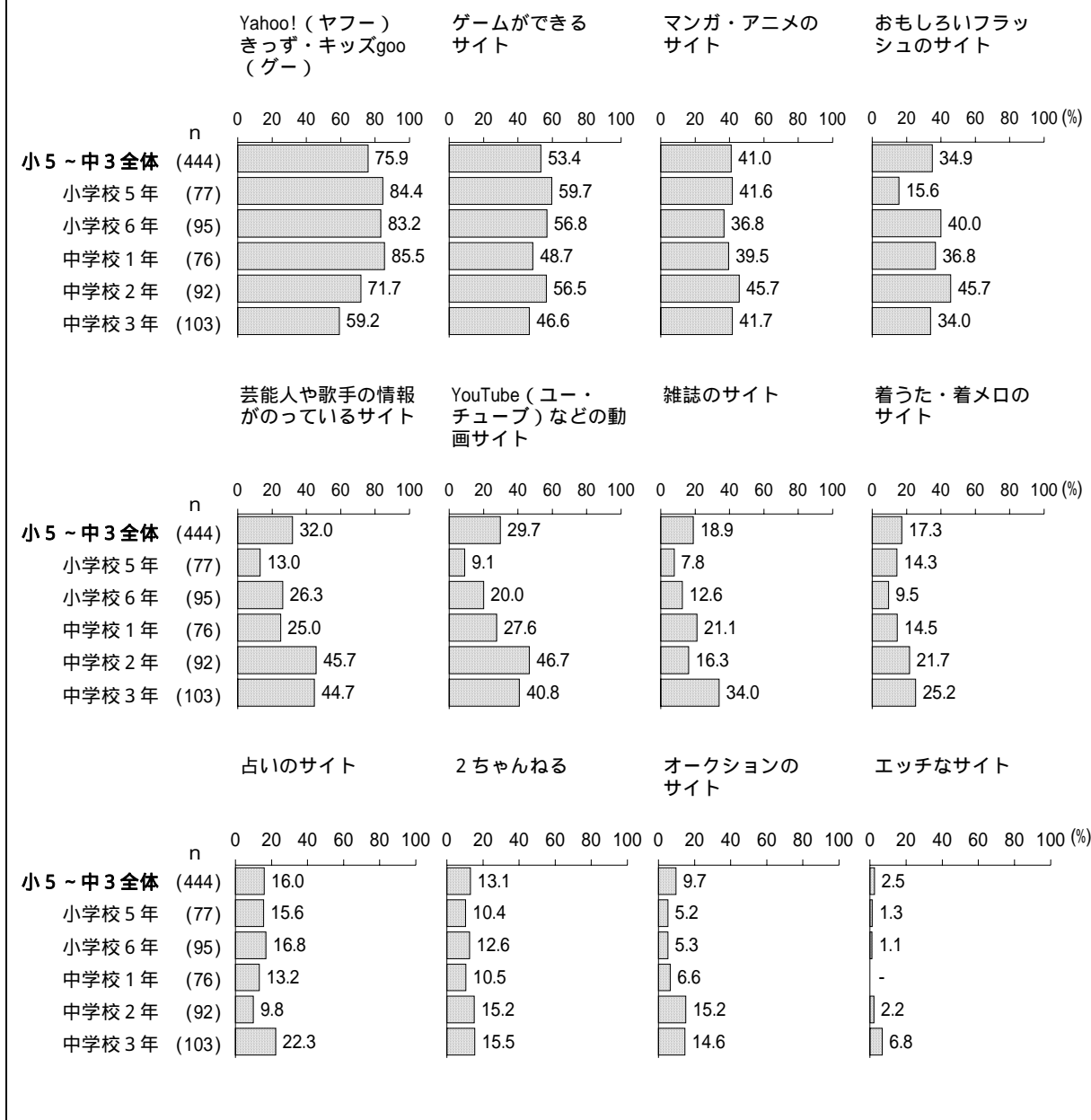




E よく見るサイトでは、「Yahoo!きっず・キッズgoo」が小学5年から中学3年の全体で75.9%、「YouTubeなどの動画サイト」は全体で29.7%。

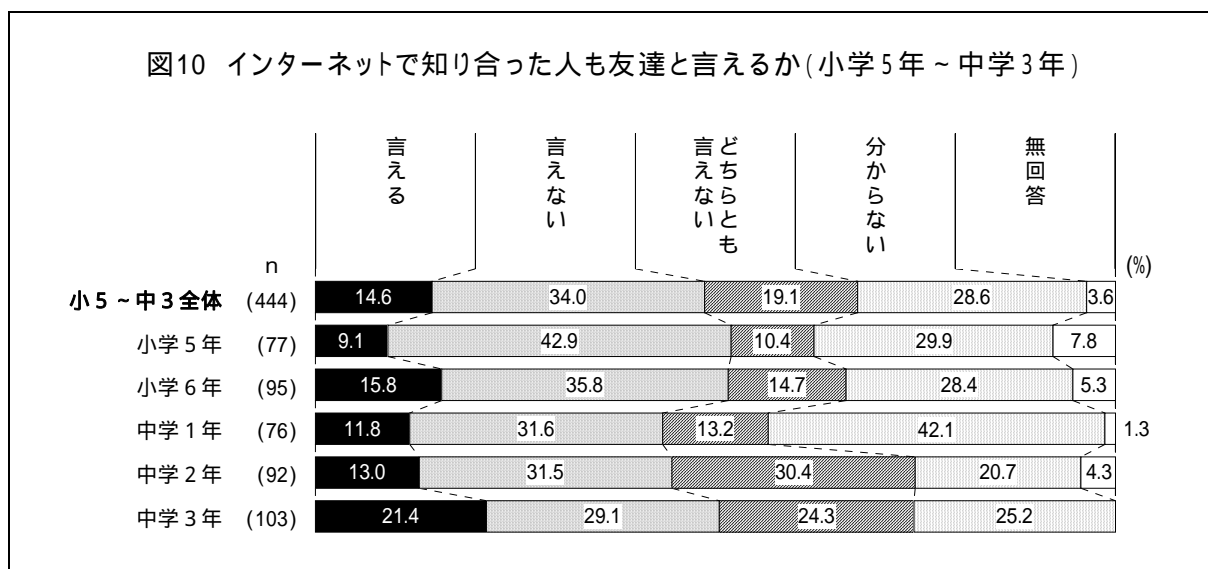
「Yahoo!きっず・キッズgoo」で最も高い利用率を示したのは小学5年で84.4%、どの学年でも利用率が高い。それに対して、「Youtubeなどの動画サイト」は、小学5年で9.1%であったものが、小学6年で20.0%、中学3年で40.8%と学年が進むと急に利用率が高まる傾向がある。

図9 よく見るサイト(小学5年～中学3年、複数回答、上位12項目)



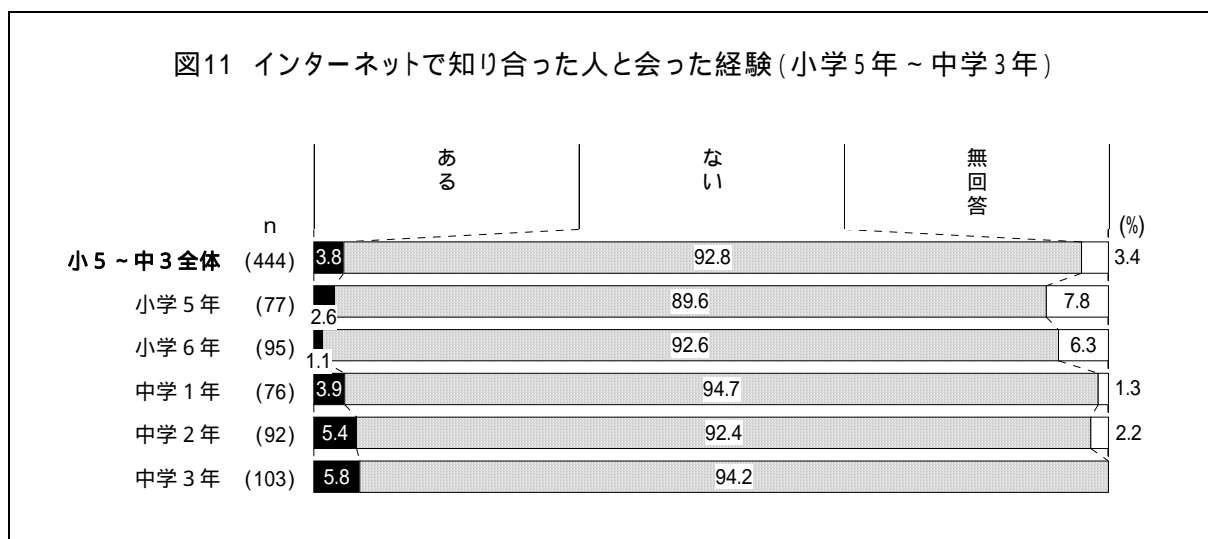
F 「インターネットで知り合った人も友達と言えるか」という質問では、小学6年で15.8%、中学3年で21.4%が「言える」と回答している。

中学2年までは「言えない」と答える割合が30%を超え、「言える」が10%台である。それに比べて、中学3年は「言える」が21.4%に増加する。しかし、一方で「言えない」が29.1%、「どちらとも言えない」が24.3%、「分からない」が25.2%で、この質問については、中学3年では意見が分かれ、全体として意識の分散化が見られる。



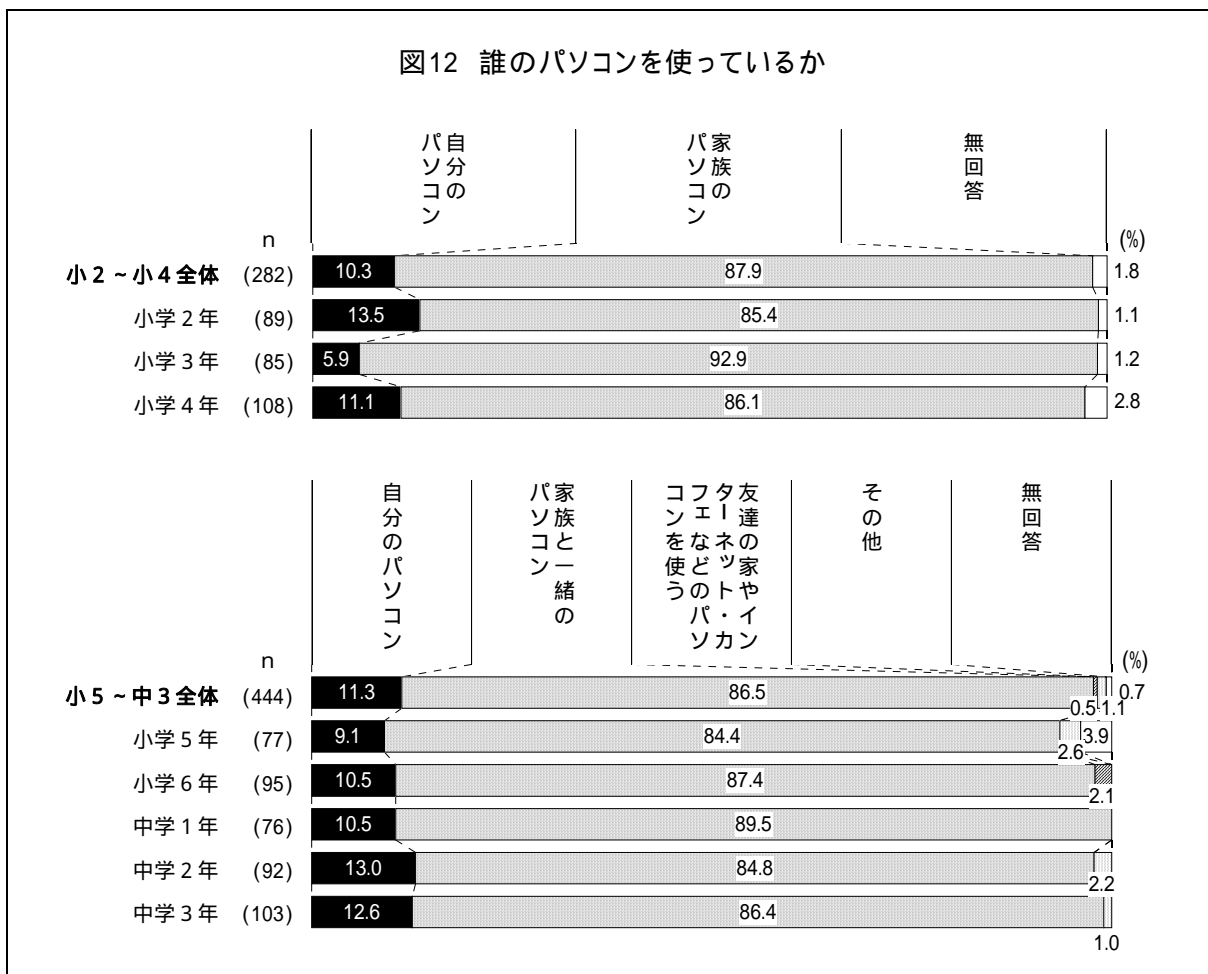
G インターネットで知り合った人と会った経験は、中学2年で5.4%、中学3年で5.8%。

割合で見ると少ない数字ではあるが、中学3年で5.8%ということは、100人の生徒で約5～6人がインターネットで知り合った人と会っていることを示す数値である。



H 自分のパソコンを所有しているのは、小学2年で13.5%、中学2年で13.0%と高く、他の学年でも10%程度。

図12 誰のパソコンを使っているか

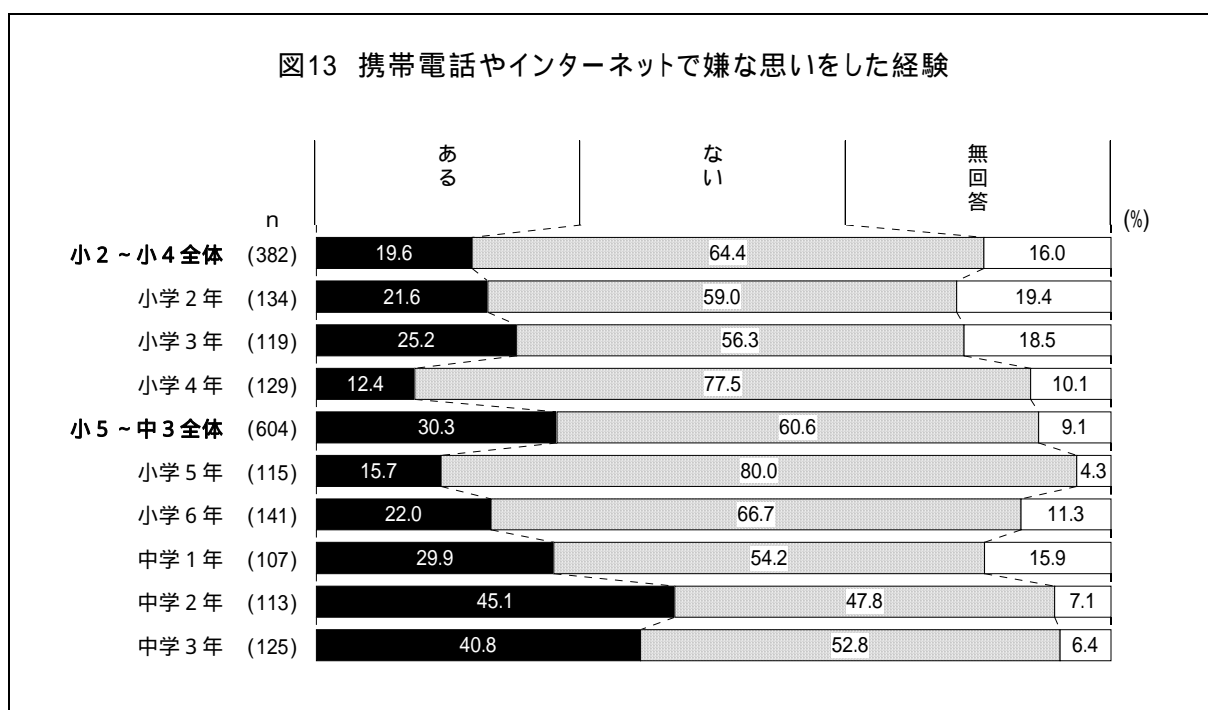


## 1 - 2 携帯電話・インターネットの利用経験

A 携帯電話やインターネットで嫌な思いをした経験は、小学6年で22.0%、中学3年で40.8%に上る。

各学年の数値をみると、小学2年で21.6%、小学3年で25.2%、小学4年で12.4%、小学5年で15.7%、小学6年で22.0%、中学1年で29.9%、中学2年で45.1%、中学3年で40.8%である。小学4年や5年と比較すると、小学2年と3年で比較的高く数値が出ているのは、使い始めの時期で何事にも敏感に反応していることが一因と考えられる。中学2年と3年で急に割合が高くなるが、これは利用頻度の高まり、この学年のマナー意識などが関連していると考えられる。

図13 携帯電話やインターネットで嫌な思いをした経験



B 嫌な思いをした内容で割合の多い順に見ると、小学5年から中学3年の全体で「チェーンメールを受け取った」53.6%、「知らない人からメールや電話が来た」53.0%で、この二つの項目が最も多い。

この二つの項目に続くのが、「気持ちが悪いサイトにつながった」29.0%、「出会い系サイトのメールが送られてきた」14.8%で、嫌な思いをする原因はほぼ外部の業者が関わるものであるといえる。それに対して、友人関係・プライベートな領域が起因していると考えられる。「嫌なことを書かれた」「自分の写真をのせられた」は、それぞれ9.8%、2.2%である。

表3 嫌な思いをした内容(小学5年～中学3年)

	調査数	知らない人からメールや電話が来た	嫌なことを書かれた	自分の写真をのせられた	気持ちが悪いサイトにつながった	自分の送った他人に見せられた	チェーンメールを受け取った	出会い系サイトから送られてきたメール	真夜中に何度も電話が鳴った	(%)
小5～中3全体	183	53.0	9.8	2.2	29.0	13.1	53.6	14.8	10.9	2.7
小学5年	18	66.7	5.6	-	27.8	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6
小学6年	31	51.6	19.4	-	38.7	12.9	19.4	-	6.5	3.2
中学1年	32	43.8	9.4	-	31.3	15.6	62.5	15.6	12.5	3.1
中学2年	51	49.0	7.8	3.9	17.6	5.9	72.5	25.5	9.8	-
中学3年	51	58.8	7.8	3.9	33.3	19.6	64.7	13.7	15.7	3.9

C 同様に、嫌な思いをした内容を小学2年から小学4年の全体で見ると、「知らない人からメールや電話がきた」が33.3%と最も多く、「チェーンメールがきた」は2.7%と少ない。

高学年と比較すると、「自分の写真をのせられた」が13.3%、「嫌なことを書かれた」も13.3%で、やや高い数値が出ていることが特徴として挙げられる。

表4 嫌な思いをした内容(小学2年～小学4年)

	調査数	知らない人からメールや電話がきた	嫌なことを書かれた	自分の写真をのせられた	気持ちが悪い絵を見た	自分の書いた他人に見せられた	チェーンメールがきた	エッチなメールがきた	寝ている時に何度も電話がかかってきた	(%)
小2～小4全体	75	33.3	13.3	13.3	29.3	6.7	2.7	6.7	8.0	24.0
小学2年	29	31.0	13.8	24.1	34.5	10.3	-	6.9	6.9	20.7
小学3年	30	33.3	13.3	10.0	20.0	6.7	6.7	-	6.7	26.7
小学4年	16	37.5	12.5	-	37.5	-	-	18.8	12.5	25.0

D 嫌な思いをした時の対処方法では、高学年になるに従い、「親に相談する」の割合が低下し、  
 中学3年では23.5%で、「なにもしない」が47.1%。

小学4年では「親に相談する」が31.3%で、中学3年について低いことが注目される。また、中学2年と3年で「友達に相談する」が21.6%、15.7%と比較的高くなるが、基本的に中学1年から3年では「なにもしない」、つまり誰とも相談していないという割合が最も高くなることにも注意をほら  
 いたい。

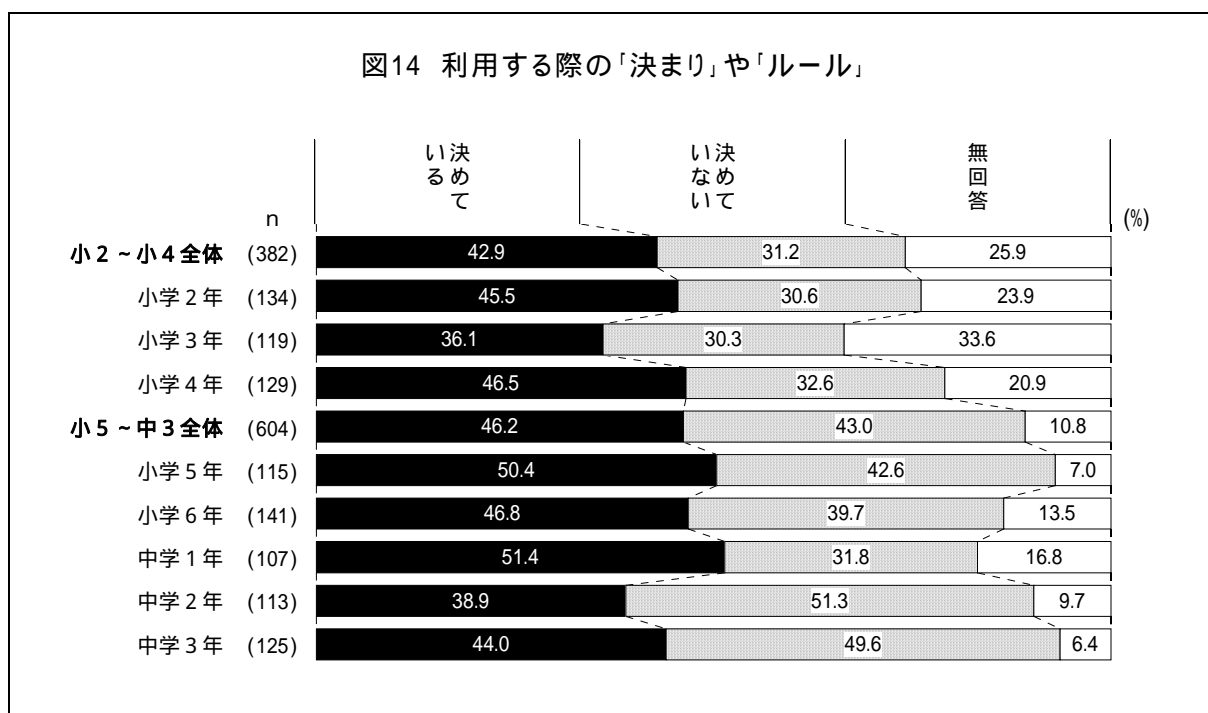
表5 嫌な思いをした時の対処方法(複数回答)

	調査数	親に相談する	友達に相談する	先生に相談する	なにもしない	その他	無回答
<b>小2～小4全体</b>	<b>75</b>	<b>57.3</b>	<b>6.7</b>	<b>2.7</b>	<b>13.3</b>	<b>9.3</b>	<b>10.7</b>
小学2年	29	58.6	-	3.4	13.8	13.8	10.3
小学3年	30	70.0	10.0	-	10.0	3.3	6.7
小学4年	16	31.3	12.5	6.3	18.8	12.5	18.8
<b>小5～中3全体</b>	<b>183</b>	<b>37.7</b>	<b>12.6</b>	<b>-</b>	<b>39.3</b>	<b>9.8</b>	<b>0.5</b>
小学5年	18	66.7	-	-	22.2	5.6	5.6
小学6年	31	45.2	6.5	-	35.5	12.9	-
中学1年	32	43.8	6.3	-	43.8	6.3	-
中学2年	51	33.3	21.6	-	37.3	7.8	-
中学3年	51	23.5	15.7	-	47.1	13.7	-

### 1 - 3 携帯電話・インターネットの利用上のルール

A 小学2から小学4年の全体では、利用する際の「決まり」や「ルール」を「決めている」が全体で42.9%、小学5年から中学3年の全体では46.2%で、この結果から見ると約半数以上が「ルールがない」。

「決めている」割合が低いのは、小学3年の36.1%、中学2年の38.9%である。予想を超えて、「ルール」について保護者と話し合ったり、決めるなどしていない家庭が多いという結果である。



B 「ルールを守っているかどうか」では、中学1年まではどの学年でも70%以上の数値で「いつも守っている」が多いが、中学2年から急速に低下し、中学2年で43.2%、中学3年で41.8%と激減する。

小学4年、小学6年、中学1年、中学3年では、「いつも守っている」という女子の割合が男子と比較して低いという結果である。「いつも守っている」という回答の内訳を見ると、小学4年の男子が84.8%、女子が81.5%、小学6年の男子が76.7%、女子が69.4%、中学1年の男子が75.9%、女子が65.4%、中学3年の男子が58.3%、女子が29.0%である。特に、中学3年の女子の割合が低いことが注目される。

図15 ルールを守っているか(小学2年～小学4年)

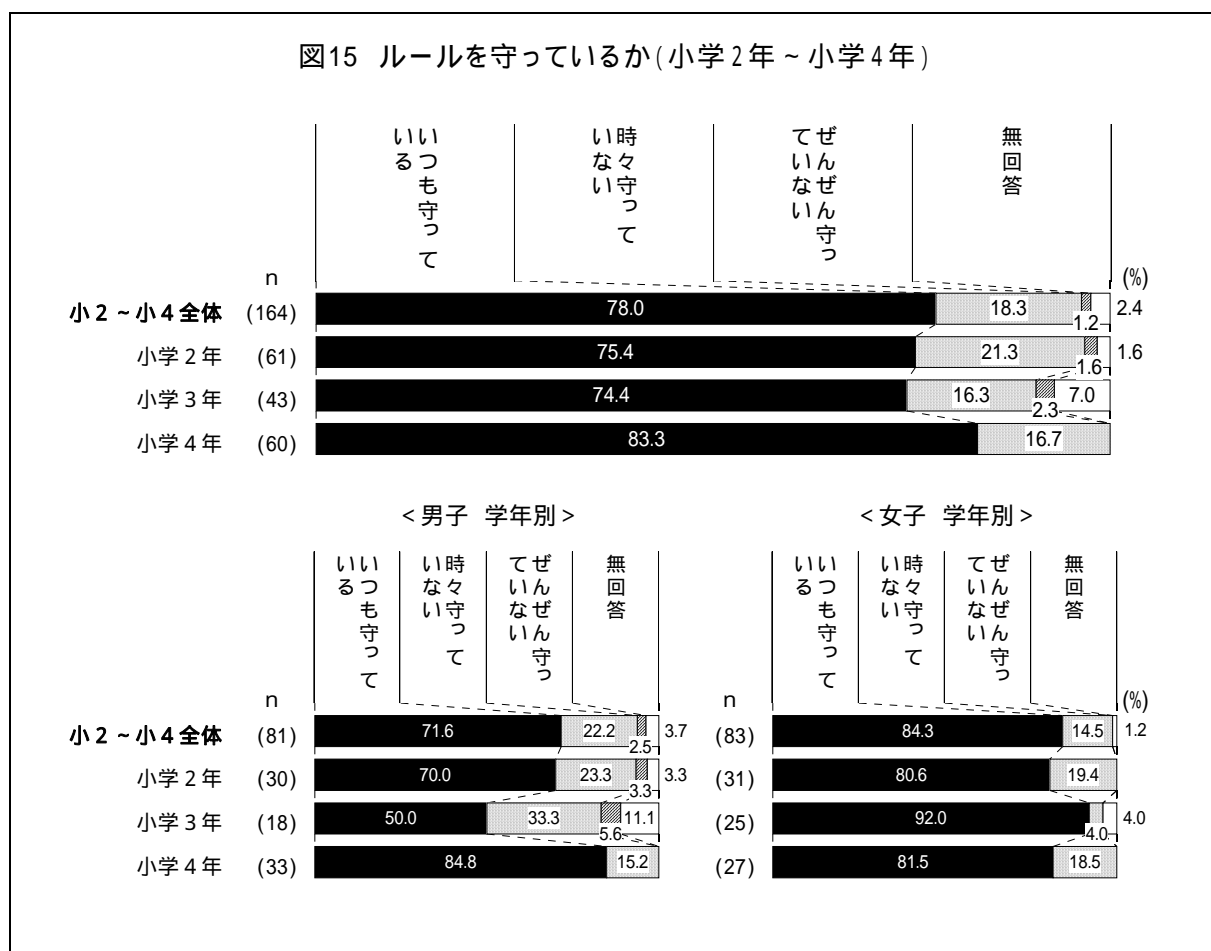
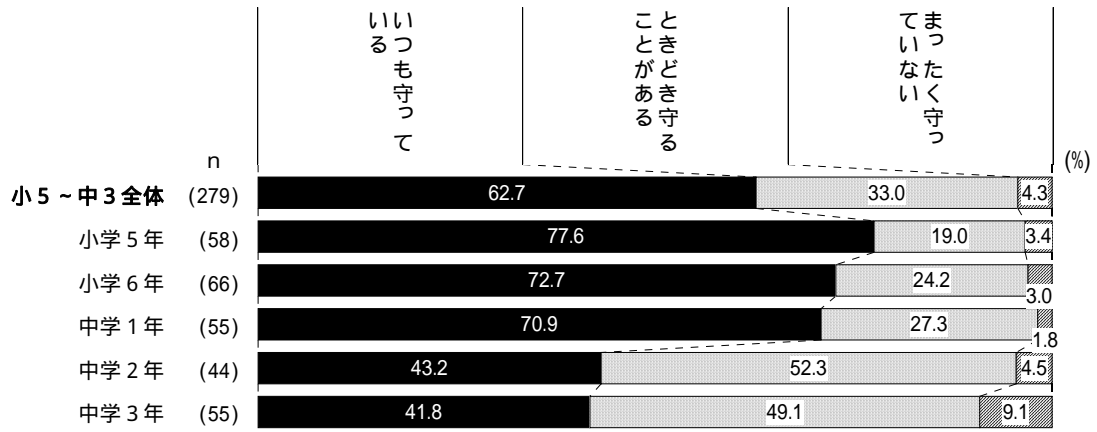


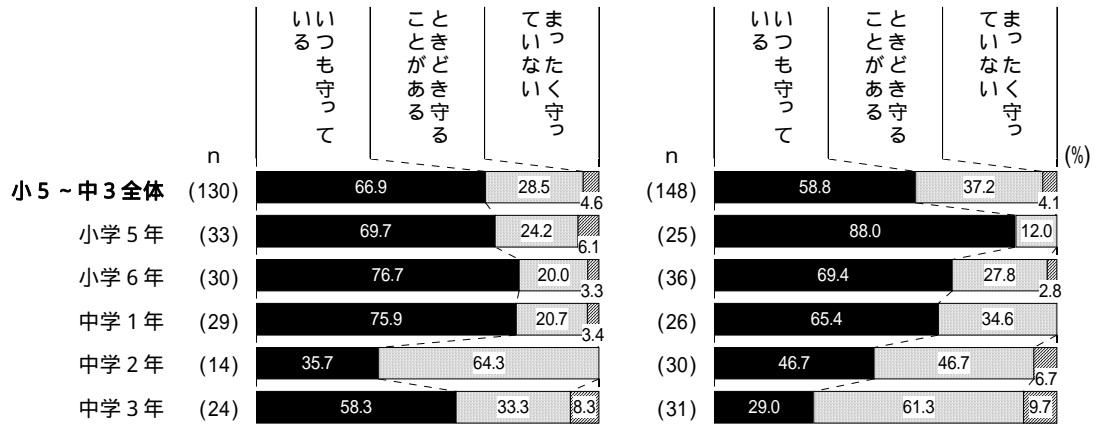


図16 ルールを守っているか(小学5年～中学3年)



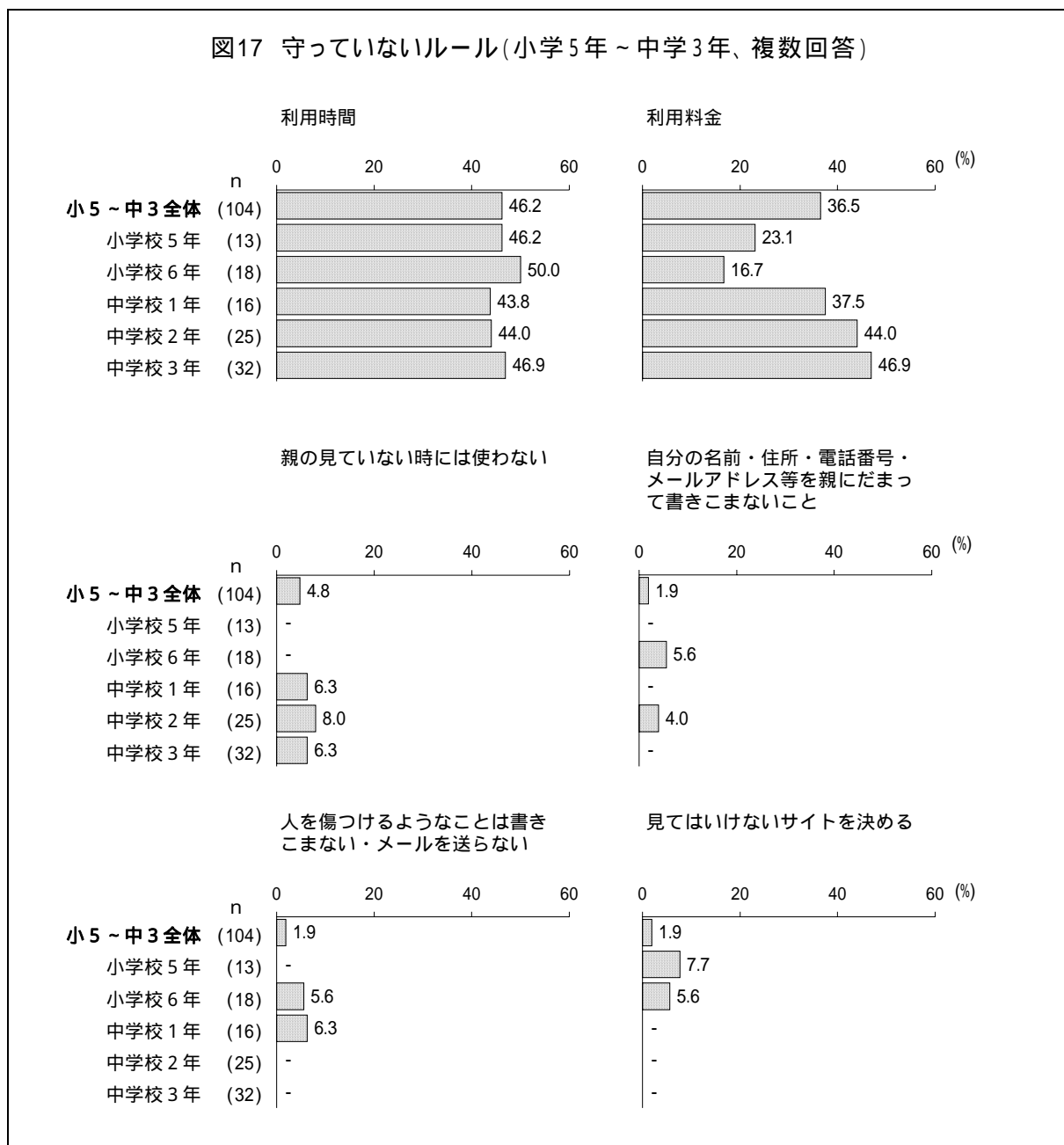
<男子 学年別>

<女子 学年別>



C 守っていないルール項目では、「利用時間」「利用料金」と回答する者がほとんどである。

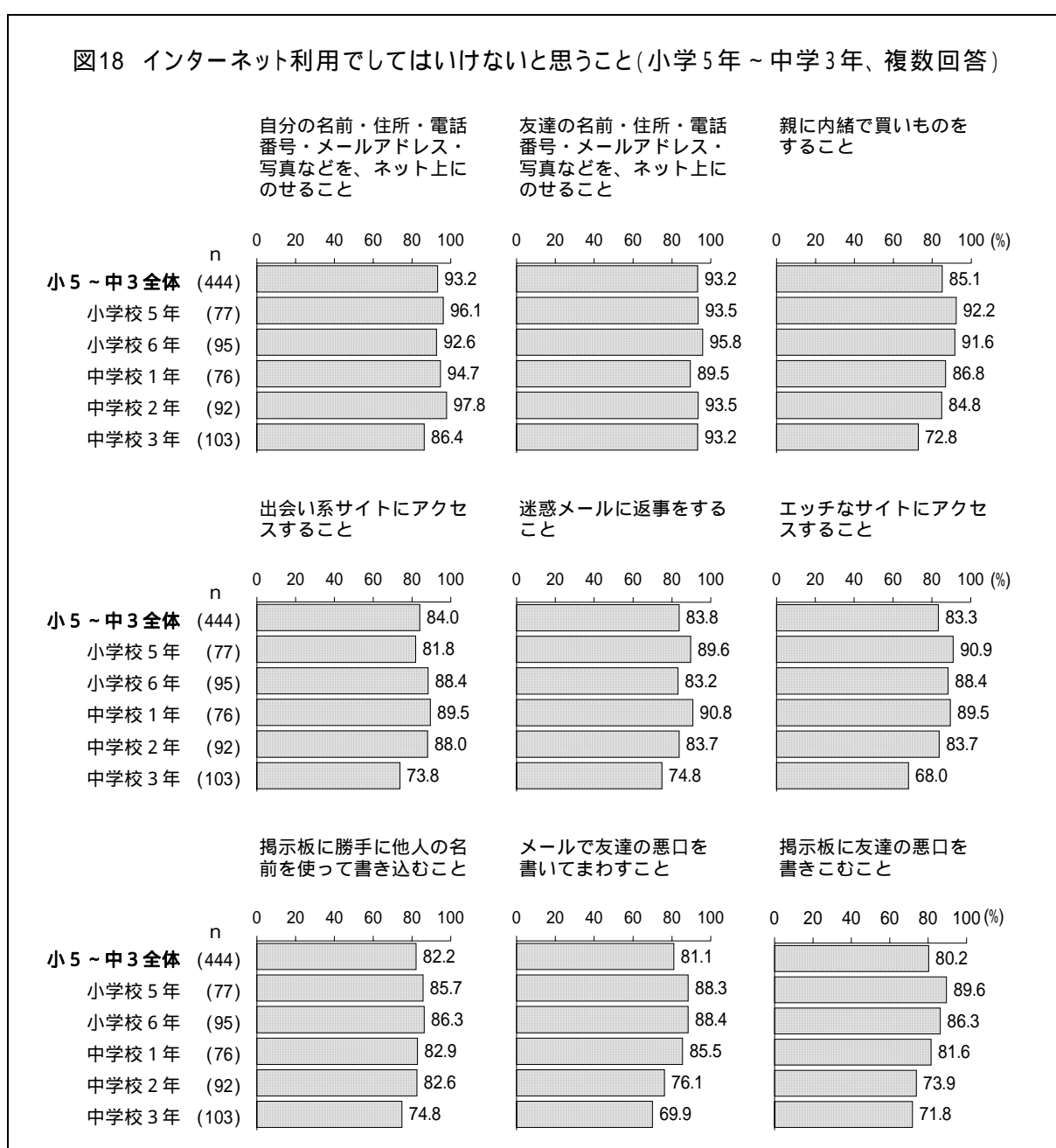
小学5年から中学3年の全体で、「利用時間」が46.2%、「利用料金」が36.5%、「親の見ていない時には使わない」が4.8%である。



## 1 - 4 利用に際しての規範意識

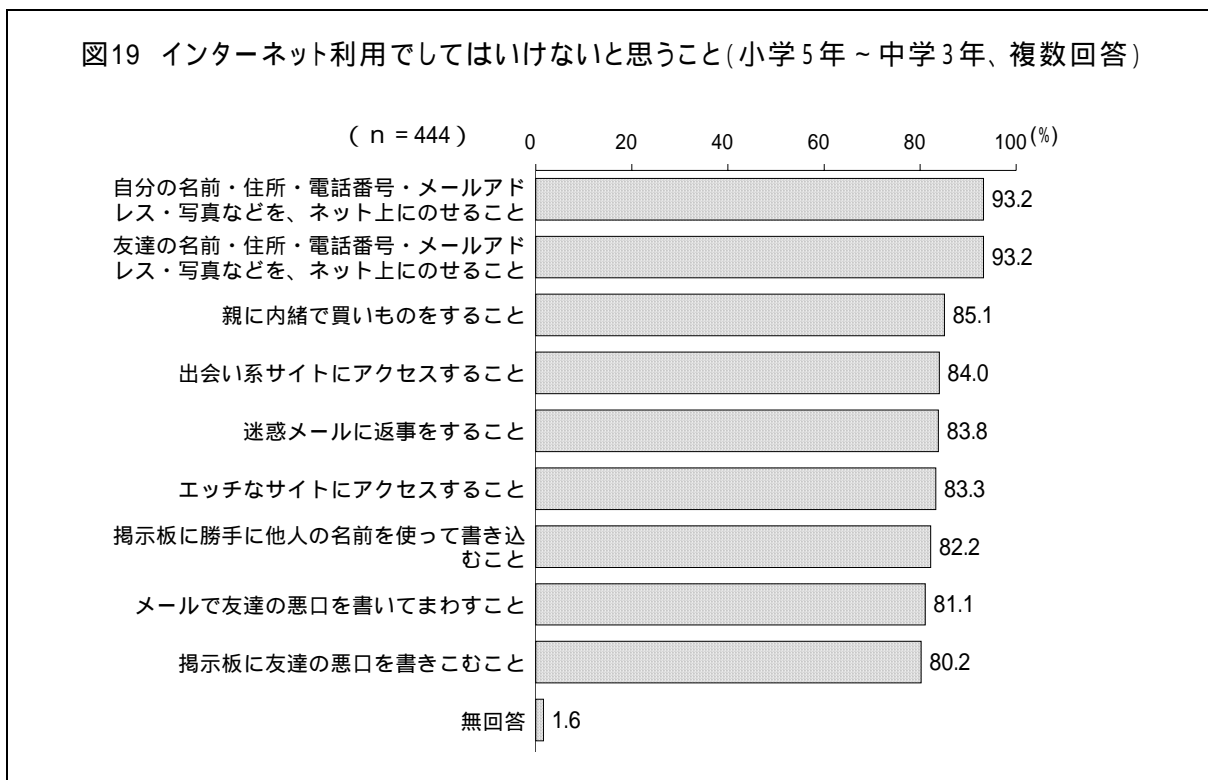
A 「インターネット利用ではいけないこと」9項目について見ると、中学2年までは、ほぼすべての項目について、80～90%が「してはいけない」と考えているのに対し、中学3年ではほぼすべての項目で規範意識が低下している。

中学2年では、「メールで友達の悪口を書いてまわすこと」76.1%、「掲示板に友達の悪口を書きこむこと」73.9%と、他の項目と比較して規範意識が低いことがわかる。中学3年では、ほぼすべての項目で規範意識が低下し、「メールで友達の悪口を書いてまわすこと」69.9%、「エッチなサイトにアクセスすること」68.0%となり、友人関係・プライベートな関係で「してはいけないこと」に対する意識が希薄化している。



B 小学5年から中学3年の全体で見ると、「自分の名前・住所・電話番号などネット上にのせること」「友人の名前・住所・電話番号などネット上にのせること」という2つの項目は90%を超えているが、それ以外の項目は80%で、それぞれの項目間で「してはいけないこと」に関する意識の差がある。

たとえば、「親に内緒で買いものをする事」が85.1%、「エッチなサイトにアクセスすること」が83.3%、「出会い系サイトにアクセスすること」が84.0%で、外部のサイトにアクセスすることに関する規範意識と、自分や友達に関わる規範意識とでは違いがあることを示している。



C 中学3年で、「規範意識低いタイプ」25.2%、「規範意識高いタイプ」71.8%。

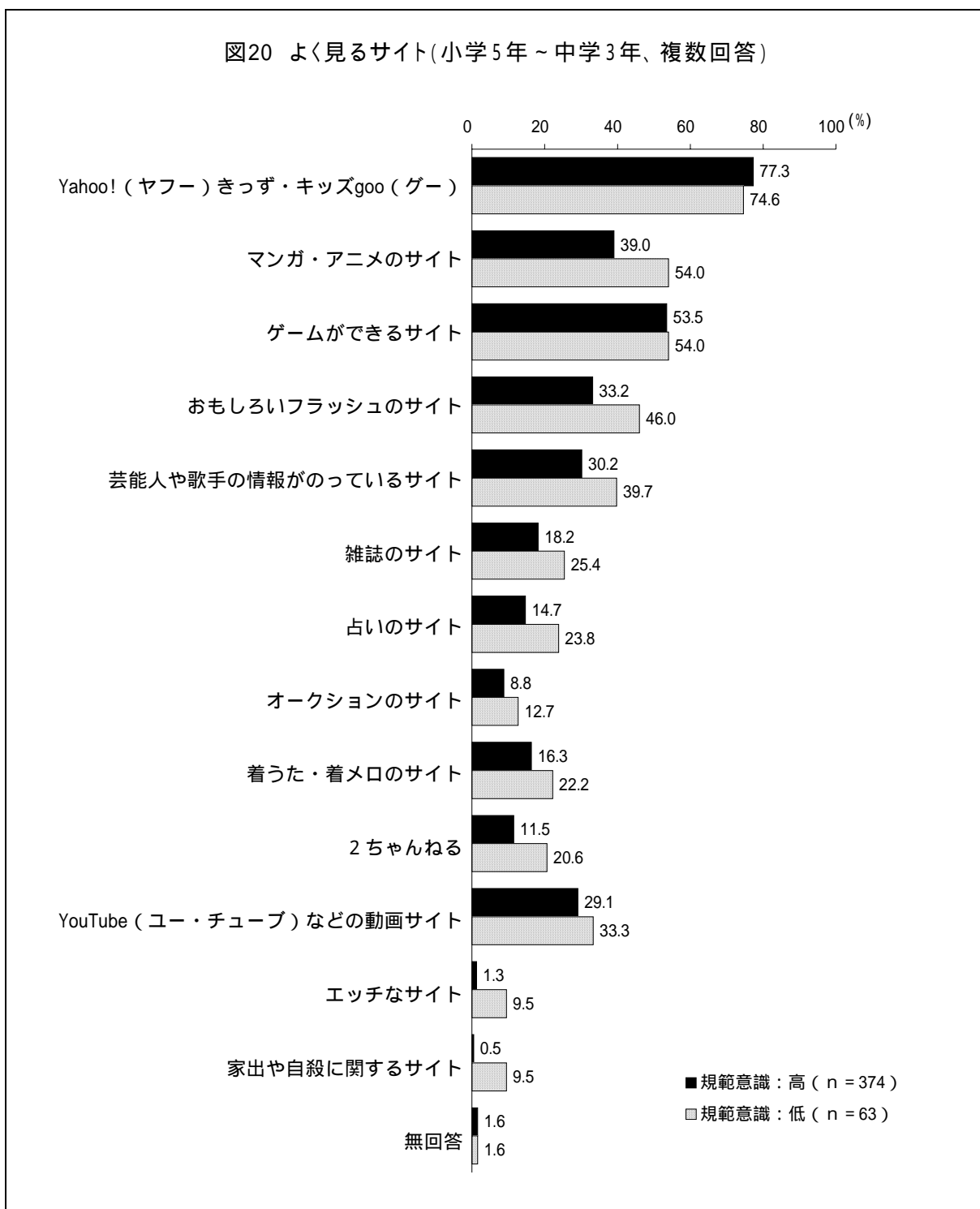
「インターネット利用ではいけないこと」9項目のうち、1～4個選択したグループ＝「規範意識低いタイプ」、5～9個選択したグループ＝「規範意識高いタイプ」の2タイプに分割した。結果は、表6の通りである。

表6 インターネット利用についての規範意識(小学5年～中学3年)

	調査数	規範意識 ：高	規範意識 ：低	無回答
小5～中3全体	444	84.2	14.2	1.6
小学5年	77	89.6	9.1	1.3
小学6年	95	89.5	7.4	3.2
中学1年	76	88.2	11.8	-
中学2年	92	84.8	15.2	-
中学3年	103	71.8	25.2	2.9

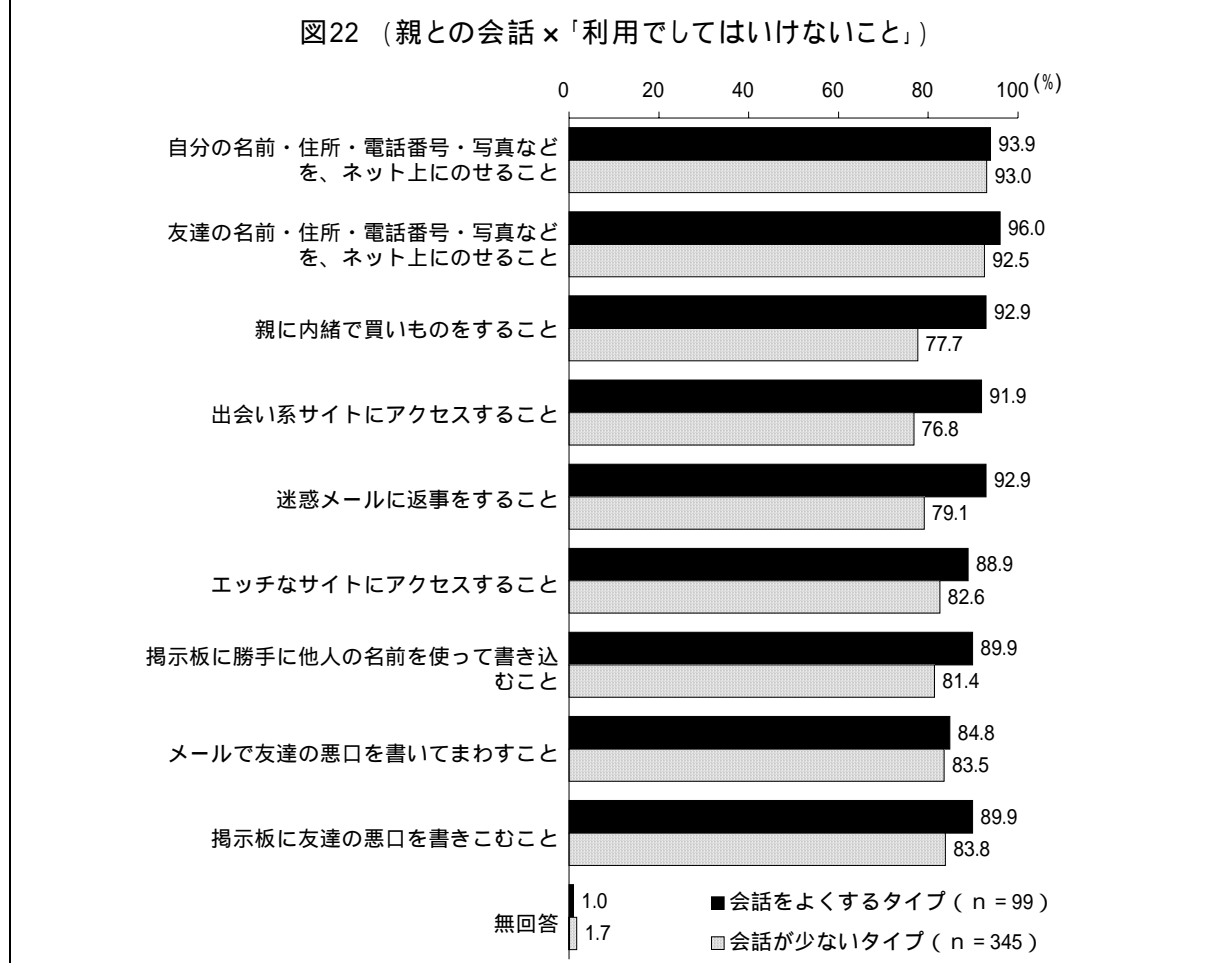
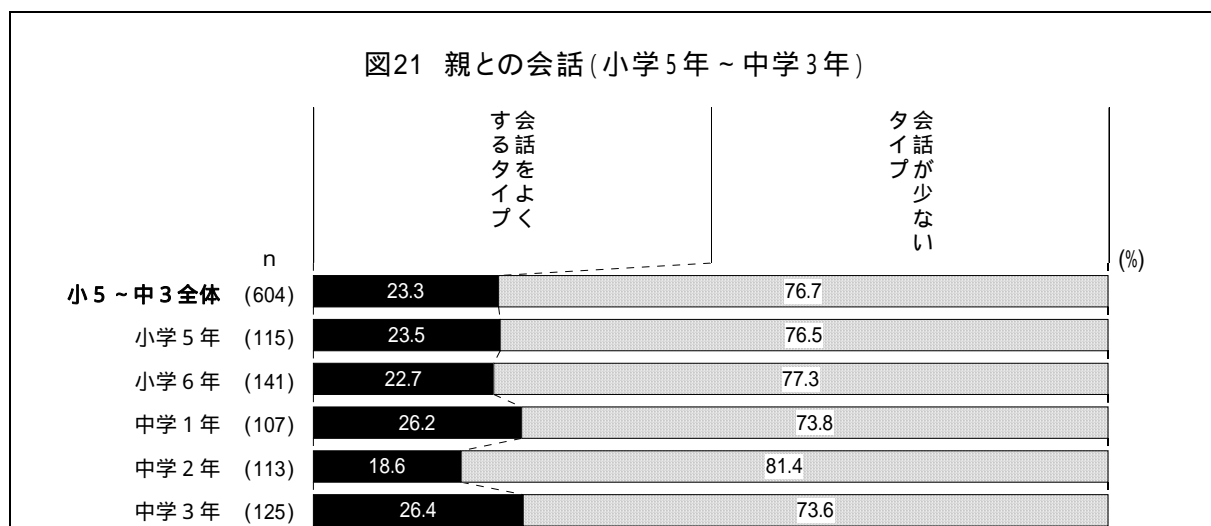
D 「規範意識低いタイプ」は「高いタイプ」と比較して、「よく見るサイト」の選択の幅が広がる傾向がありそうだ。

「低いタイプ」と「高いタイプ」でほぼ同じ割合を示したのは「Yahoo!きっず・キッズgoo」「ゲーム」で、その他の項目では「低いタイプ」の選択率が高い。「2ちゃんねる」では「低いタイプ」が20.6%、「高いタイプ」が11.5%、「オークションのサイト」では「低いタイプ」が12.7%、「高いタイプ」が8.8%である。



E 「インターネット利用ではいけないと思うこと」についての規範意識の「高いタイプ」と「低いタイプ」と、「親との会話」の高低とは関連があると推測される。

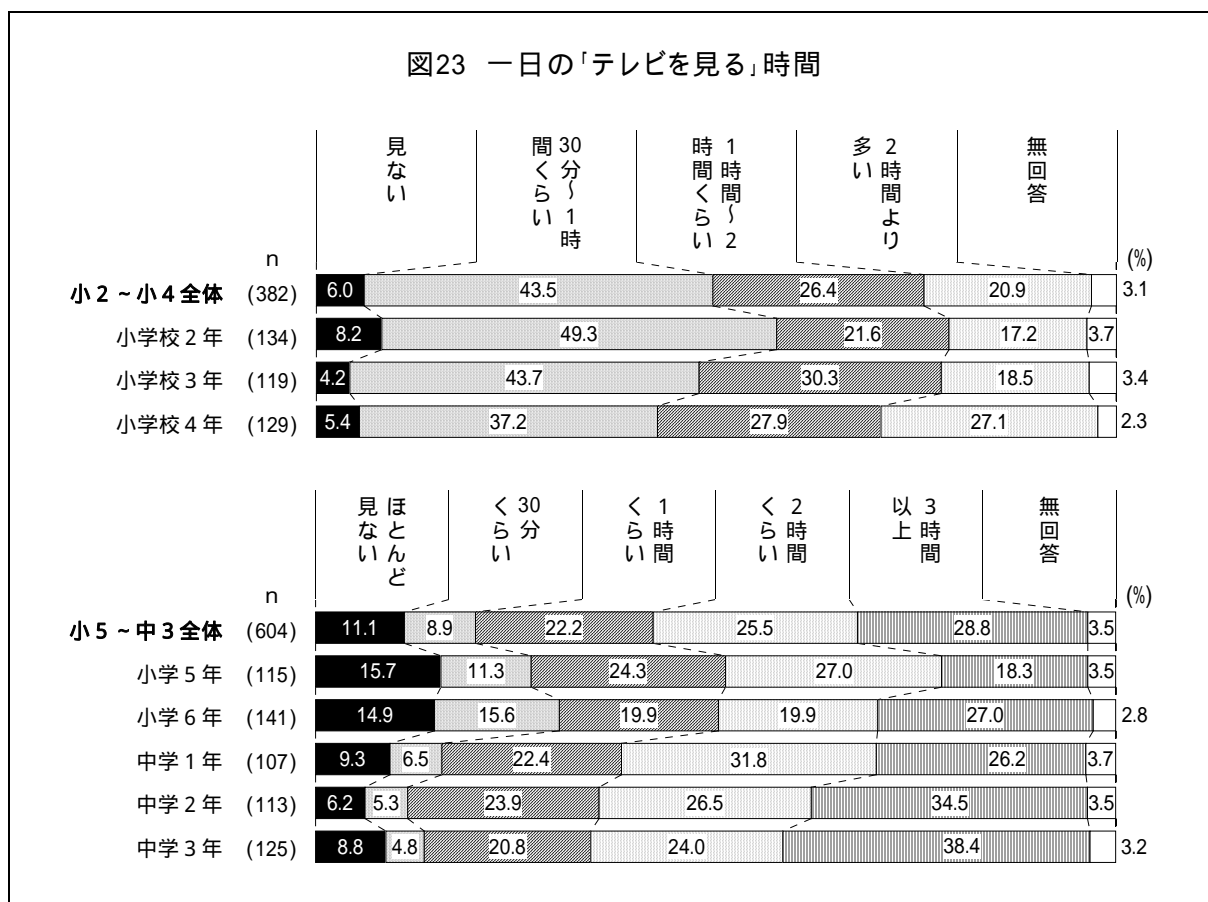
「親とどのくらい話をしますか」という質問で「よく話をする」を3つ以上回答したグループ＝「会話をよくするタイプ」と、2つ以下の回答グループ＝「会話が少ないタイプ」と、2つのタイプに分けたところ、「会話をよくするタイプ」は「利用ではいけないこと」のすべての項目で「してはいけない」と回答する割合が高い、という結果を示した。子どもの規範意識に保護者との会話頻度が関連していることを示す結果で、極めて興味深い。



## 1 - 5 メディア環境のなかの子ども達

A 一日のテレビ視聴が「3時間以上」が中学2年34.5%、中学3年で38.4%、どの学年の子どもにとってもテレビが最も接しているメディアである。

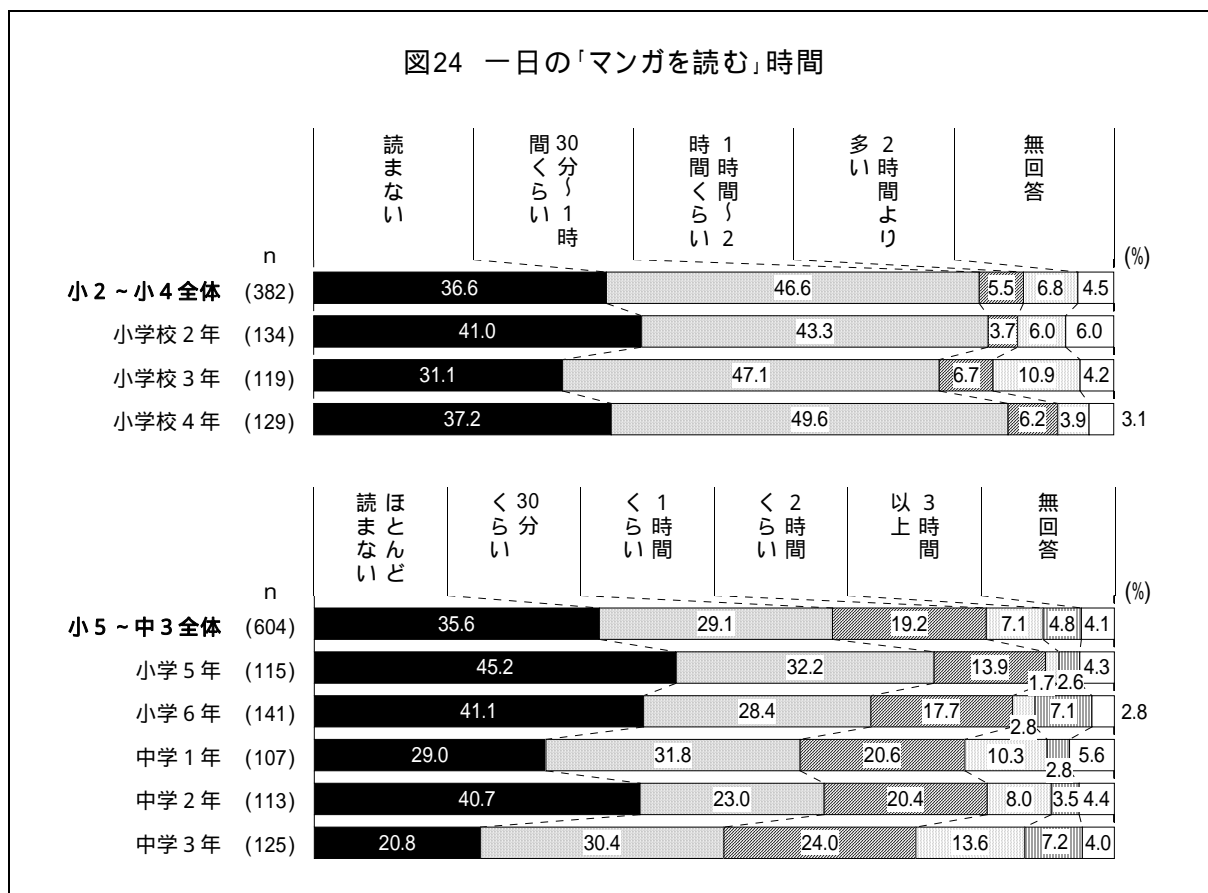
小学5年から中学3年では、「3時間以上」の割合が徐々に上昇し、テレビが高学年になるほどよく見られている。





B 一日の「マンガを読む」時間についてみると、小学5年から中学3年の全体で「ほとんど読まない」が35.6%、「30分くらい」が29.1%である。

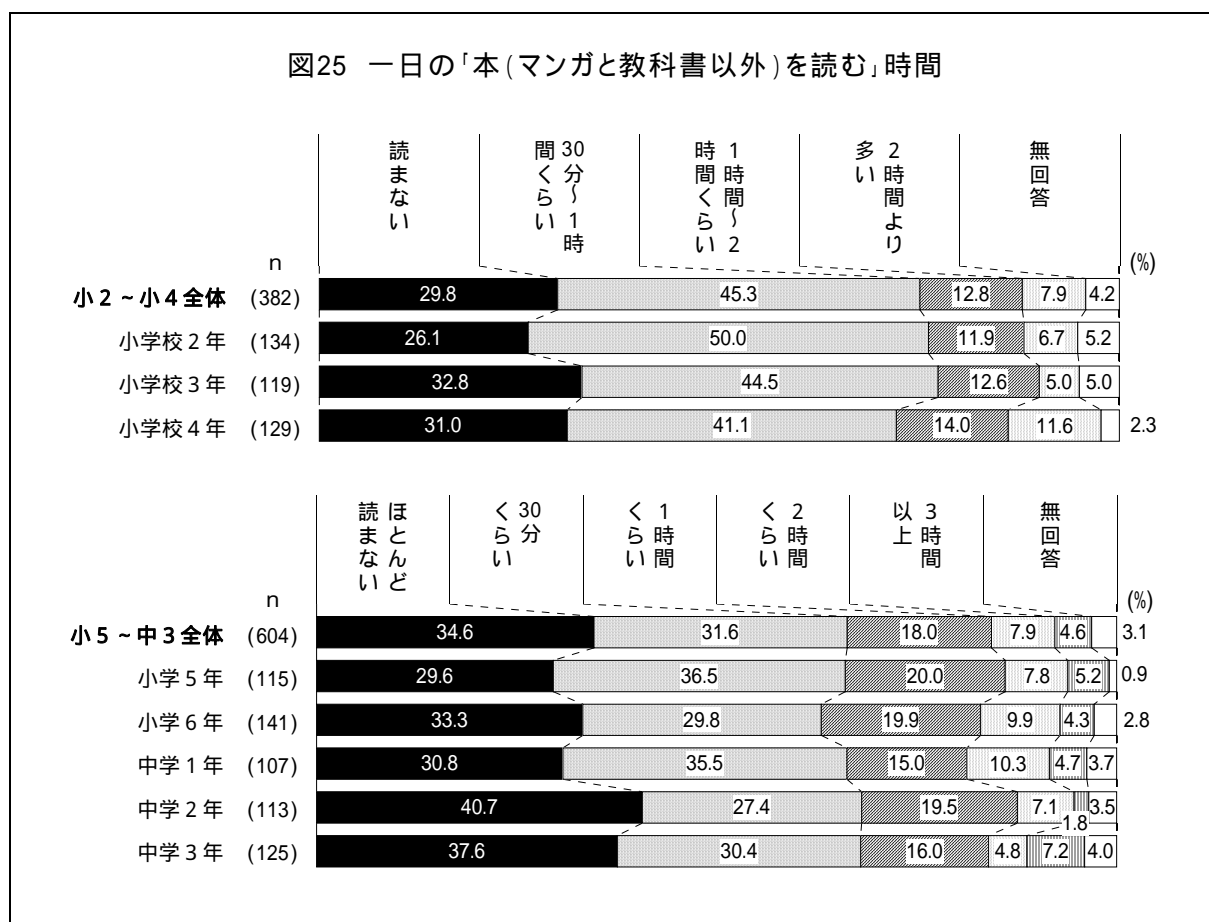
小学生と比較すると中学生の方が「マンガを読む」時間が長いようだ。



C 一日の「本(マンガと教科書以外)を読む」時間についてみると、小学5年から中学3年の全体で「ほとんど読まない」が34.6%、「30分くらい」が31.6%である。

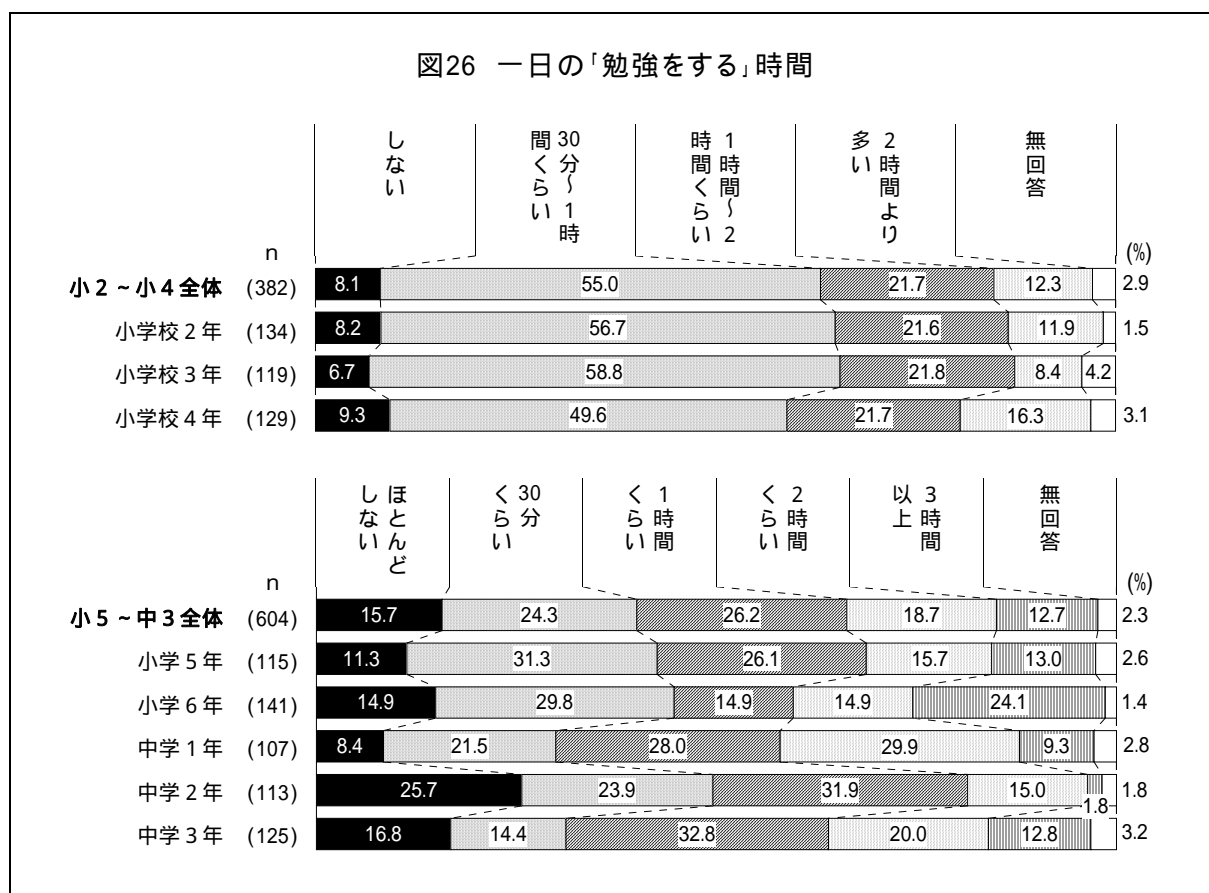
学年別でも見ても、それぞれの割合はほとんど変化していない。学年が進行しても、増加も減少もしないという傾向がある。ほぼ「マンガを読む」時間と同程度といえることができる。

図25 一日の「本(マンガと教科書以外)を読む」時間



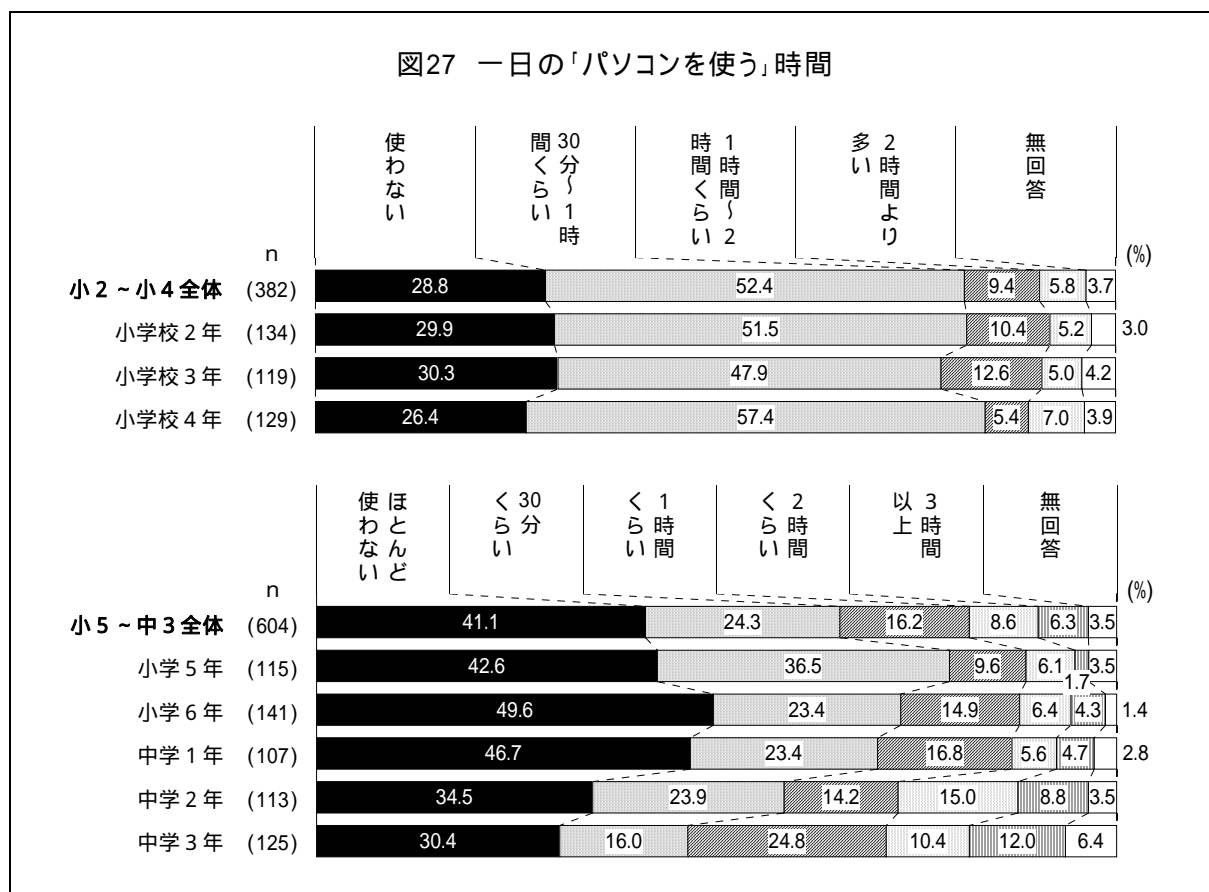
D 一日の「勉強をする」時間についてみると、小学5年から中学3年の全体で「1時間くらい」が26.2%で最も割合が高く、次に「30分くらい」が24.3%である。

学年別で見ると、小学6年（「2時間くらい」が14.9%、「3時間以上」が24.1%）と中学1年（「2時間くらい」が29.9%、「3時間以上」が9.3%）が他の学年より長い時間勉強している。



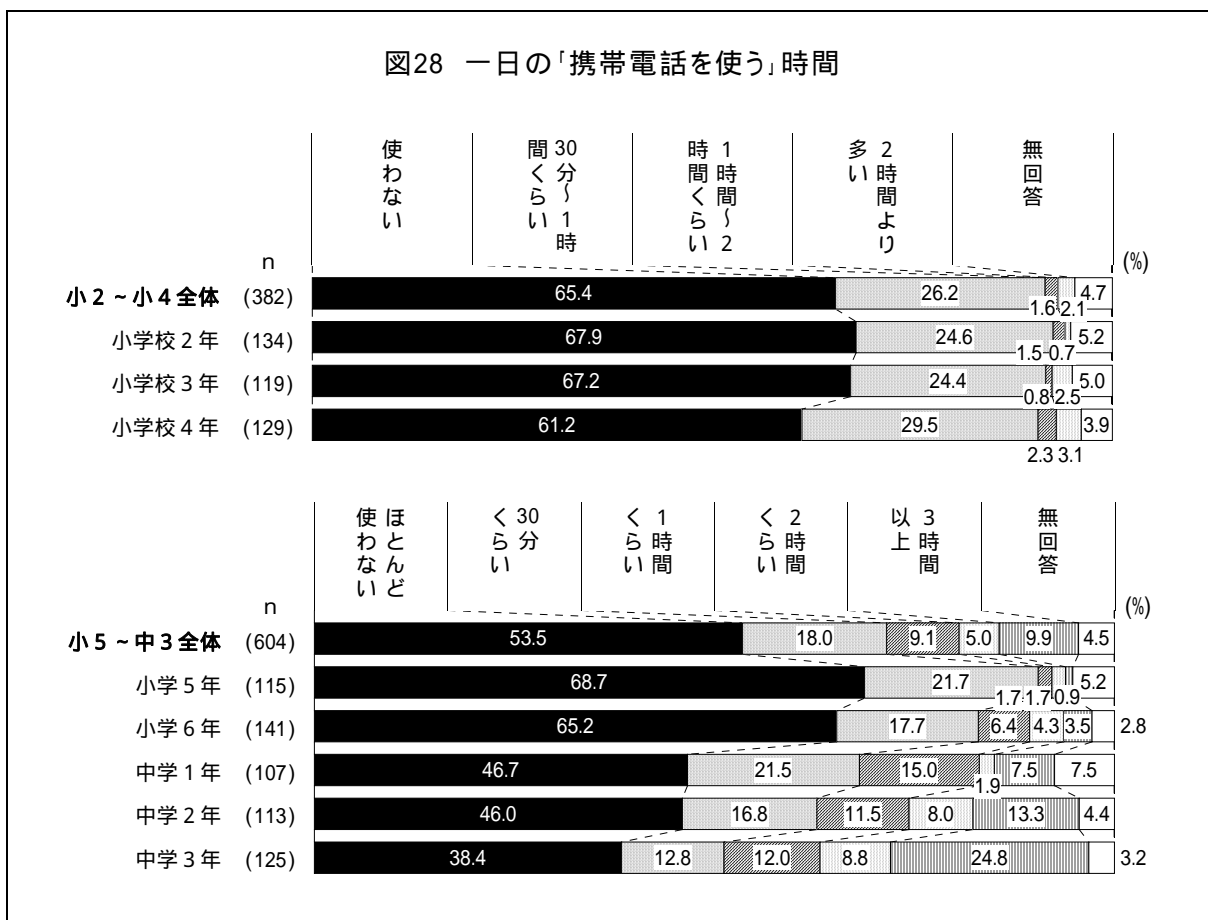
E 一日の「パソコンを使う」時間についてみると、小学5年から中学3年の全体で「ほとんど使わない」が41.1%、「30分くらい」が24.3%で、これが割合としては最も高い。

割合としては、「マンガを読む」時間や「本を読む」時間と同程度の時間を「パソコンを使う」時間に使っているといえる。ただし、中学2年では「2時間くらい」が15.0%、「3時間以上」が8.8%、中学3年では「2時間くらい」が10.4%、「3時間以上」が12.0%となり、この学年で利用時間が増えていることがわかる。



F 一日の「携帯電話を使う」時間は、小学5年から中学3年の全体で「ほとんど使わない」が最も多い。

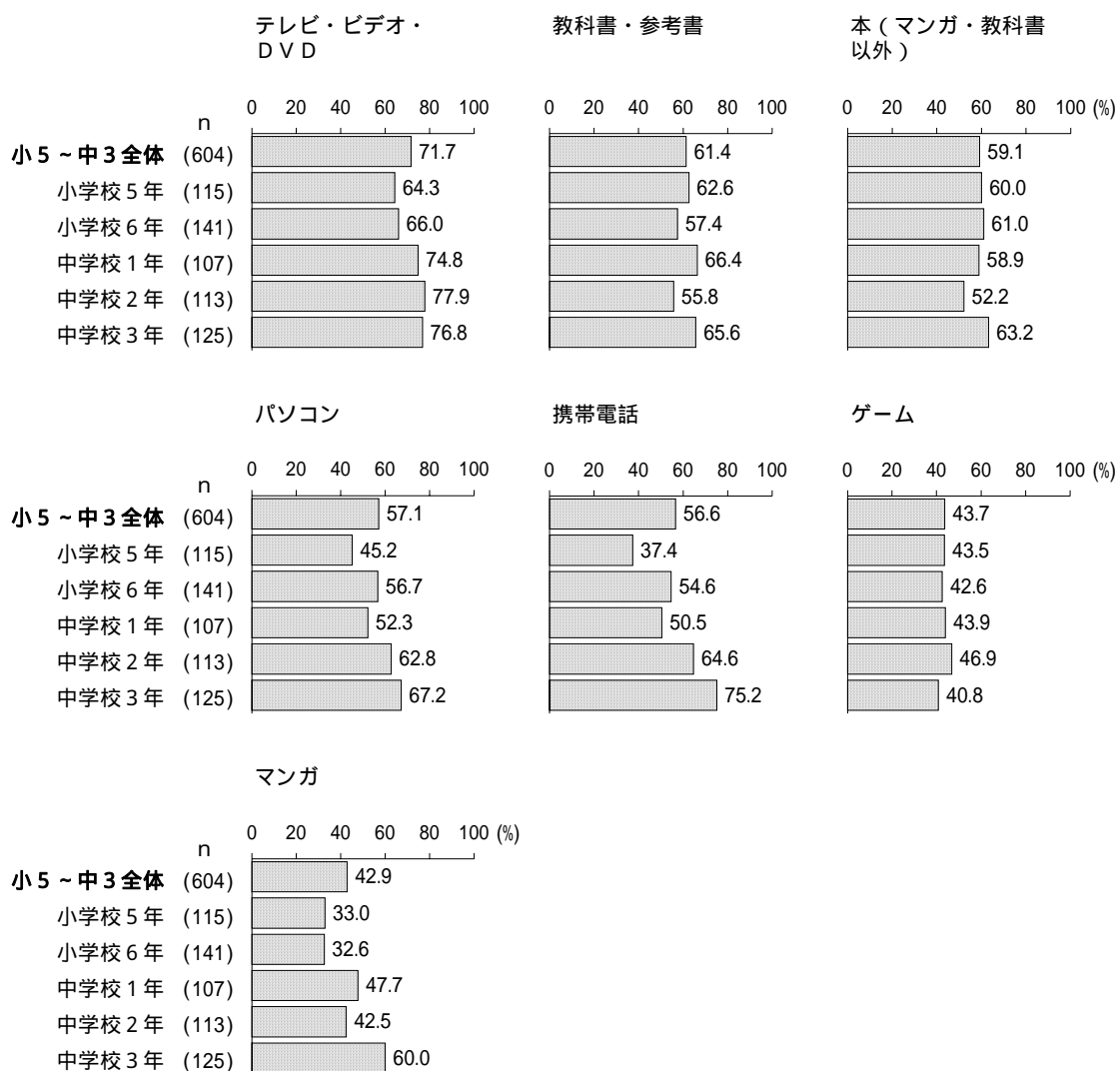
しかし、学年別で見ると、中学2年では「2時間くらい」が8.0%、「3時間以上」が13.3%、中学3年では「2時間くらい」が8.8%、「3時間以上」が24.8%となり、パソコンと同様に他の学年と比べて利用時間が増えていることがわかる。



G 「生活の中で必要なメディア」は、どの学年でもテレビが最も必要と認識されている。

ただし、2位以下のメディアを見てみると、小学5年では教科書が2位、本が3位、小学6年では本が2位、教科書が3位、中学1年では教科書が2位、本が3位、中学2年と3年では携帯電話が2位、パソコンが3位になる。中学2年と3年で携帯電話とパソコンが占める比重が高いことを裏付ける結果といえる。

図29 生活の中で必要と思うもの(小学5年～中学3年、複数回答)



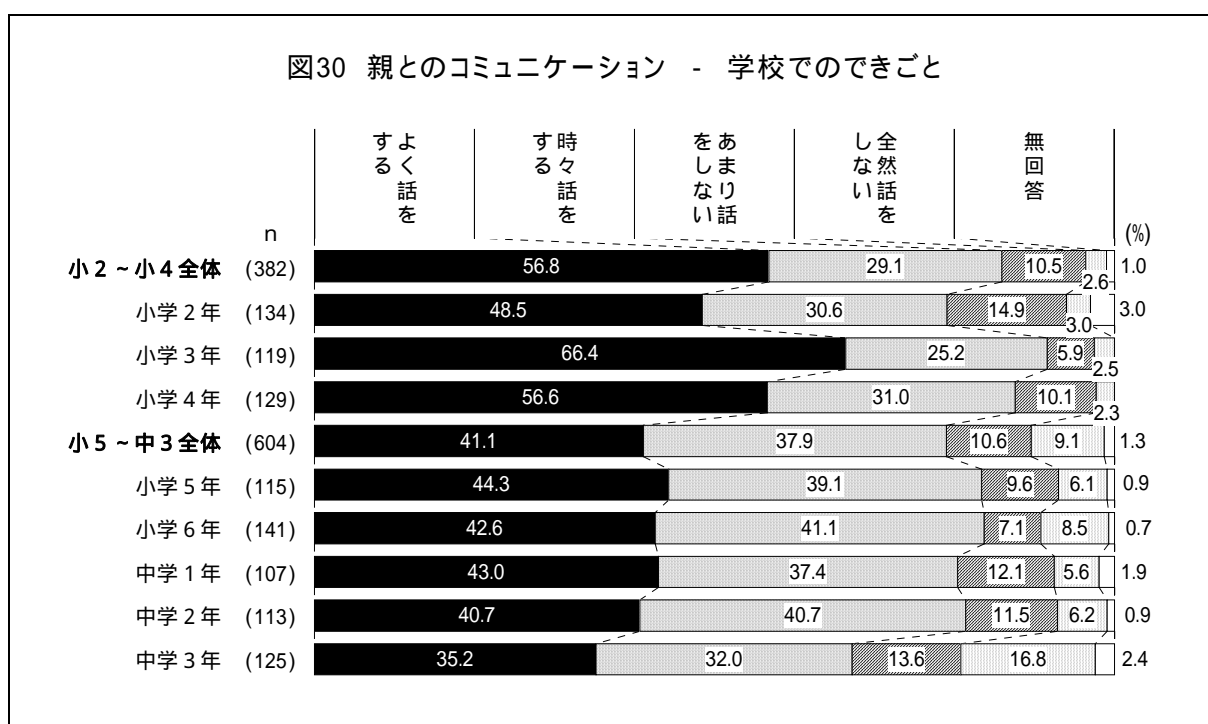
## 1 - 6 コミュニケーションの広がりと深さ

### 親とのコミュニケーション

A 「学校のでできごと」について見ると、小学5年から中学3年の全体で「よく話をする」が41.1%、「全然話をしない」が9.1%である。

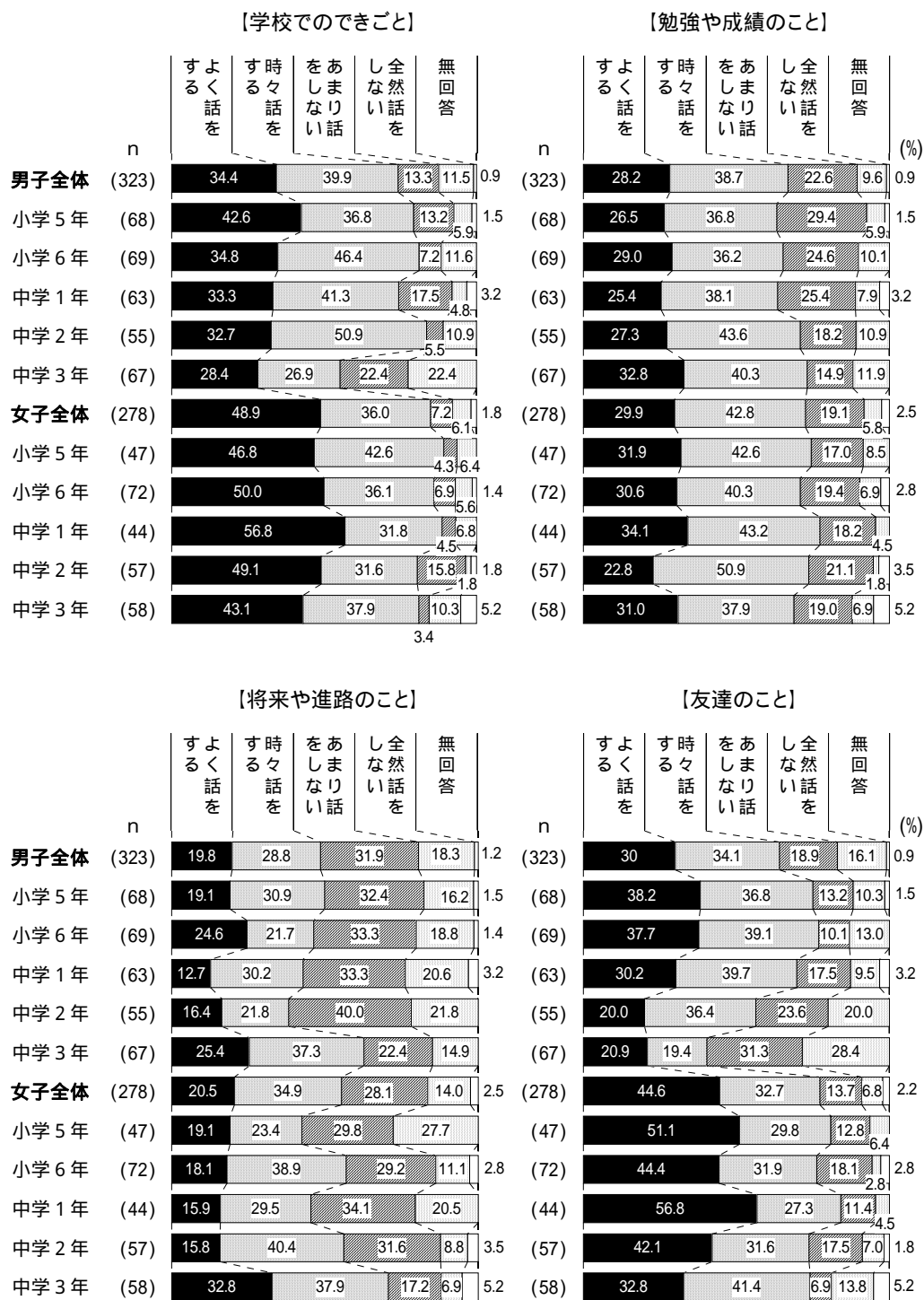
「よく話す」という項目では、学年が進むにつれて割合が低下し、小学5年で44.3%、小学6年で42.6%、中学1年で43.0%、中学2年で40.7%、中学3年では35.2%になる。中学3年は、「全然話をしない」も16.8%となり、他の学年と比較しても高い数値を示している。

しかし、「勉強や成績のこと」「将来の進路のこと」という質問項目では、中学3年が「よく話をする」という回答の割合が高く、中学3年が親との会話が少ないというわけではない。



B 「学校のできごと」「勉強や成績のこと」「将来や進路のこと」「友達のこと」という4つの質問項目すべてで、女子全体の方が男子全体よりも「よく話をする」割合が高い。

図31 親とのコミュニケーション(小学5年～中学3年)

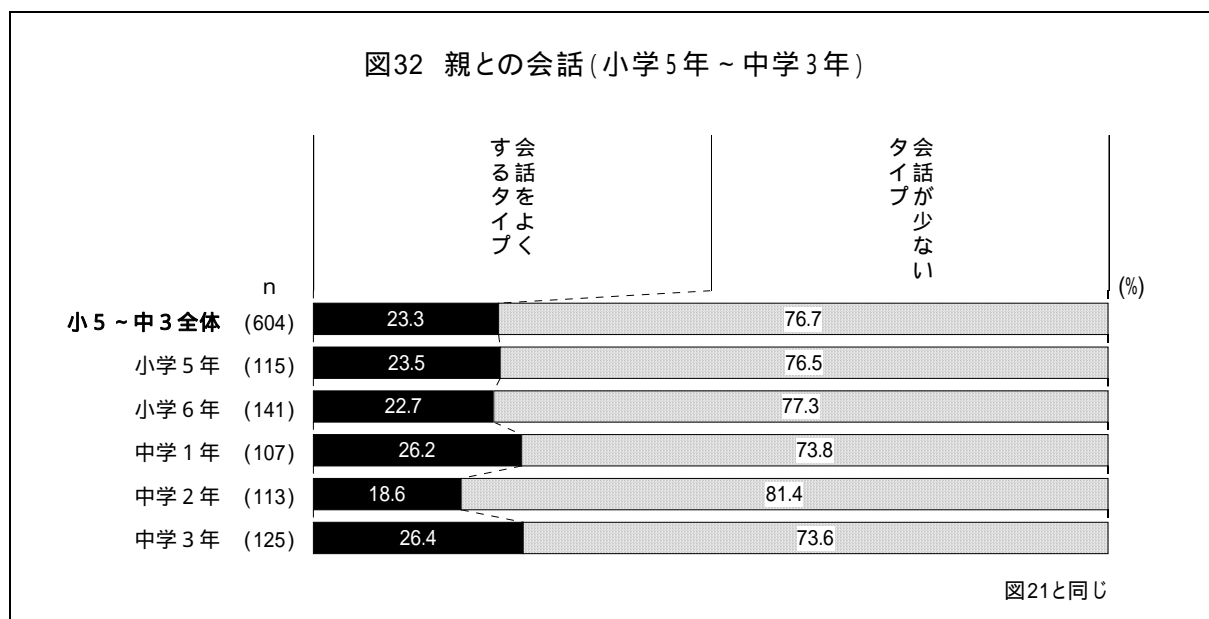




C 「会話をよくするタイプ」は全体で23.3%、「会話が少ないタイプ」は76.7%である。

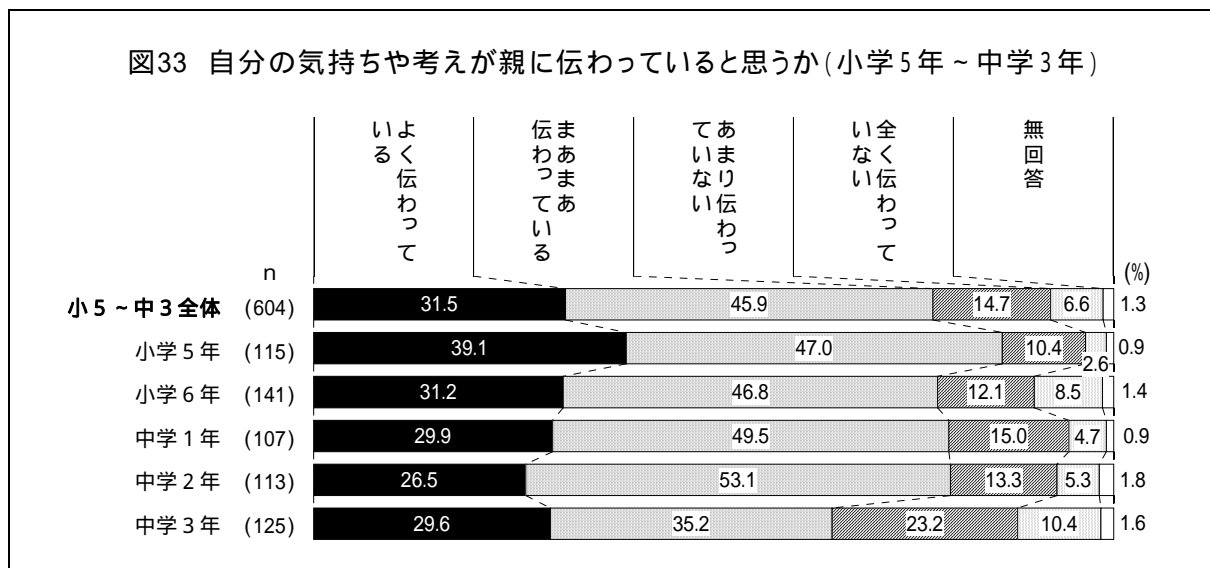
「学校でのできごと」「勉強や成績のこと」「将来の進路のこと」「友達のこと」という4つの質問項目すべてで、「よく話をする」に3つ以上回答したグループ＝「会話をよくするタイプ」と、「よく話をする」に2つ以下回答したグループ＝「会話が少ないタイプ」と、2つのタイプに分けたところ、図32のような結果となった。

学年別にみても、2つのグループの割合はさほど差がないことがわかる(中学2年が例外的に「親との会話が多いタイプ」の割合が18.6%と低い)。



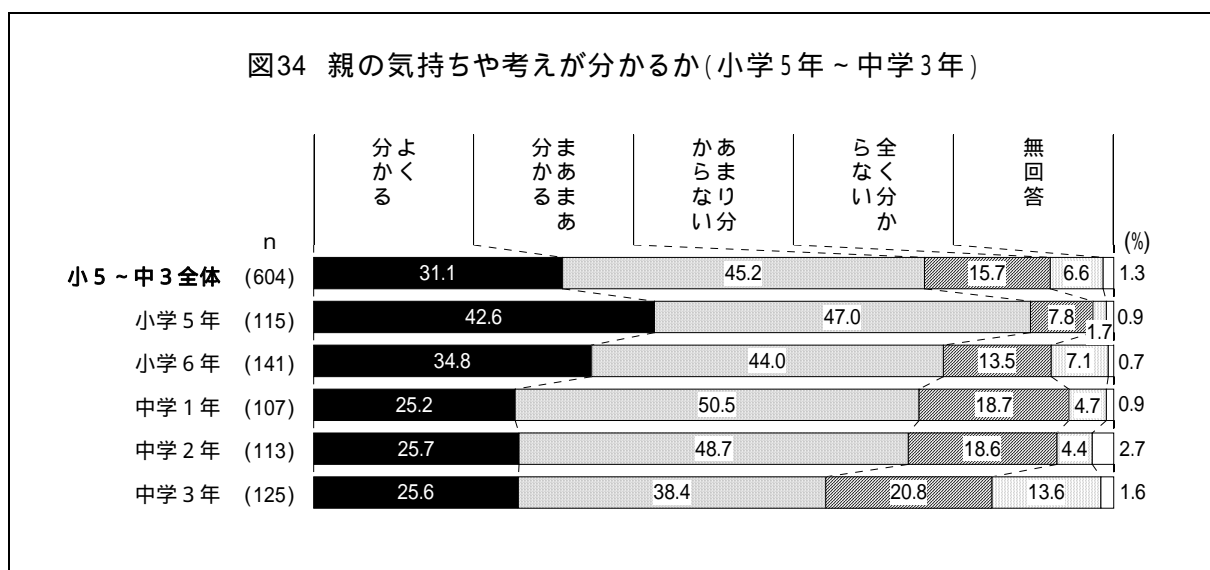
D 「自分の気持ちや考えが親に伝わっていると思うか」という質問では、小学5年から中学3年の全体で見ると、「よく伝わっている」が31.5%、「まあまあ伝わっている」が45.9%、「あまり伝わっていない」が14.7%、「全く伝わっていない」が6.6%である。

中学3年で、「全く伝わっていない」が10.4%で、他の学年と比較して高いことが注目される。



E 「親の気持ちや考えが分かるか」という質問では、小学5年から中学3年の全体で見ると、「よく分かる」が31.1%、「まあまあ分かる」が45.2%、「あまり分からない」が15.7%、「全く分からない」が6.6%である。

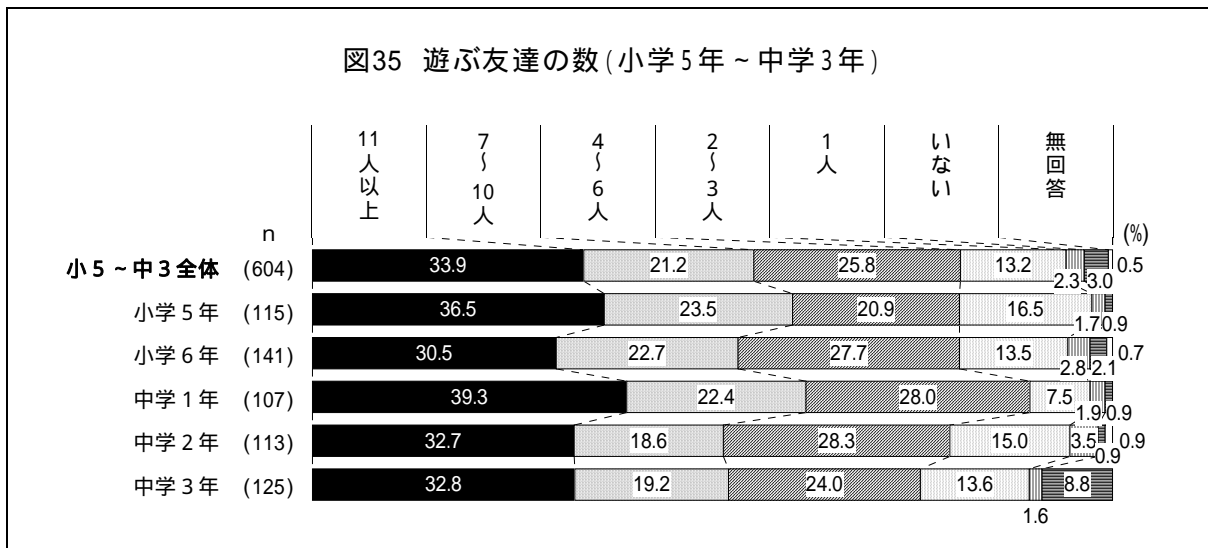
この質問項目でも、中学3年では、「全く分からない」が13.6%で、他の学年と比較して高いことが注目される。



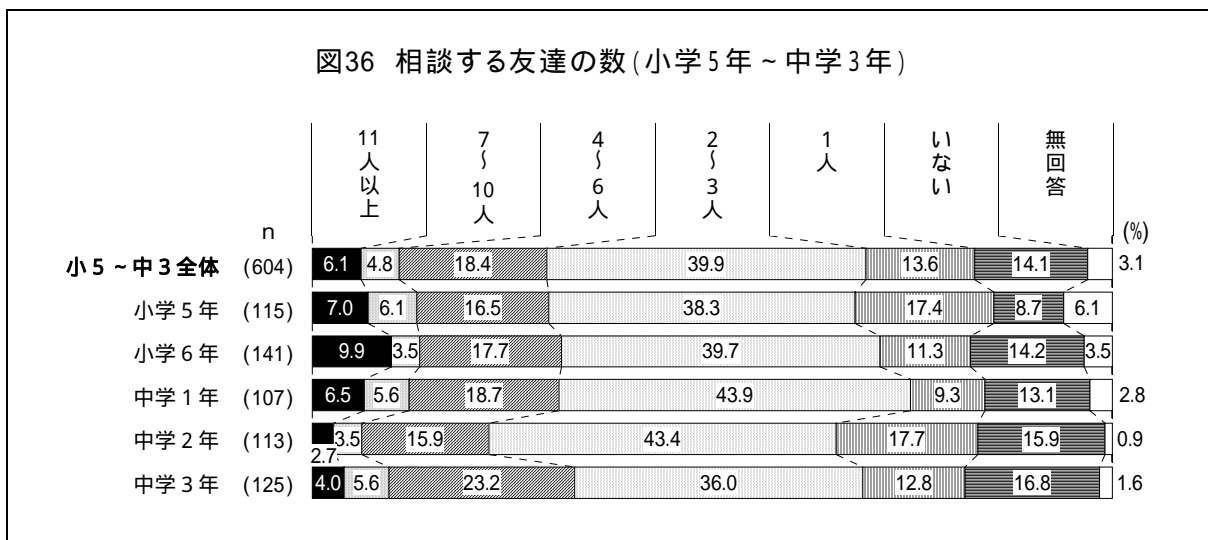
## 子ども同士のコミュニケーション

### A 「一緒に遊んだりする友達」の数は、どの学年でも「11人以上」と答える割合が最も高い。

この結果からいえば、「友達関係の広がり」に年齢は関係しない、つまり学年が進行しても増減する傾向はないようだ。



### B 「悩み事を相談できる友達」の数ではどの学年でも「2～3人」と答える割合が最も高い。



## 1 - 7 小括

ここでは、児童・生徒に関する調査結果に基づいて、携帯電話とインターネットの利用、規範意識、子ども達を取り巻くメディア環境、コミュニケーションの実態に関する特徴や傾向を簡潔に指摘しておこう。

携帯電話とインターネットは低学年でも利用されている。

携帯電話の「掲示板書き込み」「チャット」などの利用は、中学2、3年で増加する傾向がある。

パソコンによるインターネット利用では、小学6年から使い方が多様化する。

小学2年から小学5年でも約半数が「パソコンを一人で使うことが多い」と回答しており、予想以上に、パソコンの個人利用が多い。

携帯電話とインターネットの利用で、低学年でも「嫌な思いをしている」が、それにも関わらず、誰とも相談しない(あるいは、相談できないでいる)現状がある。

「ルールを守る」意識は、中学2年から急速に低下する傾向がある。

「利用する上で、してはいけない」という規範意識は、中学3年から急速に低下する傾向がある。

「規範意識高いタイプ」と「規範意識低いタイプ」と「親との会話の頻度の高低」との間に関連がある。

子ども達にとって最も必要なメディアはテレビである、と認識されているが、中学2年、中学3年では携帯電話とパソコンの比重が高まる傾向が見える。

以上の点を踏まえながら、保護者が子ども達のメディア利用をどのように認識しているか、アンケート結果の分析を行うことにしよう。

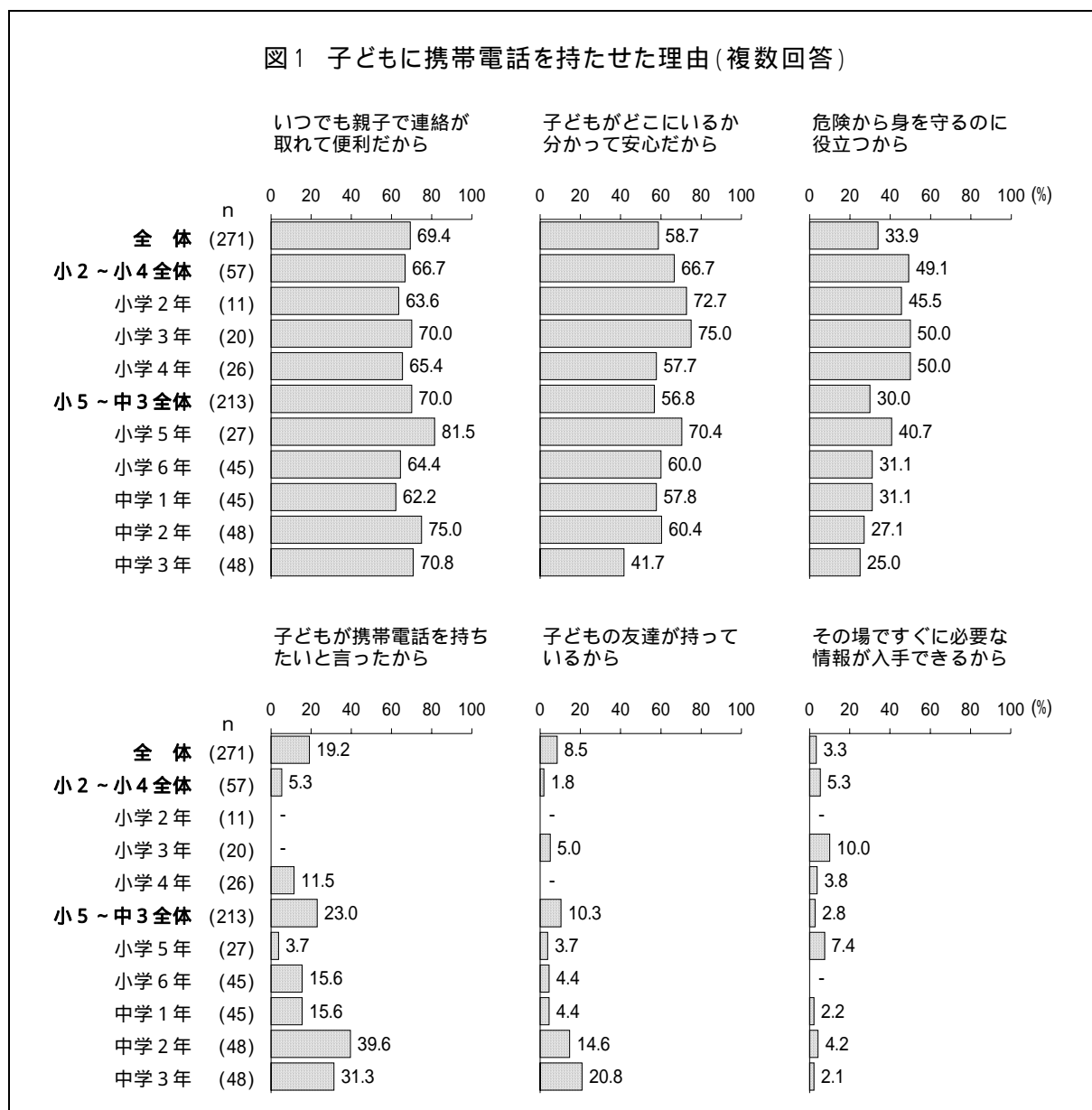
## 2 保護者に関する調査結果

(子どもの調査結果と比較するため、小学2年の保護者分からの集計とした。)

### 2 - 1 子どもの利用実態についての認識

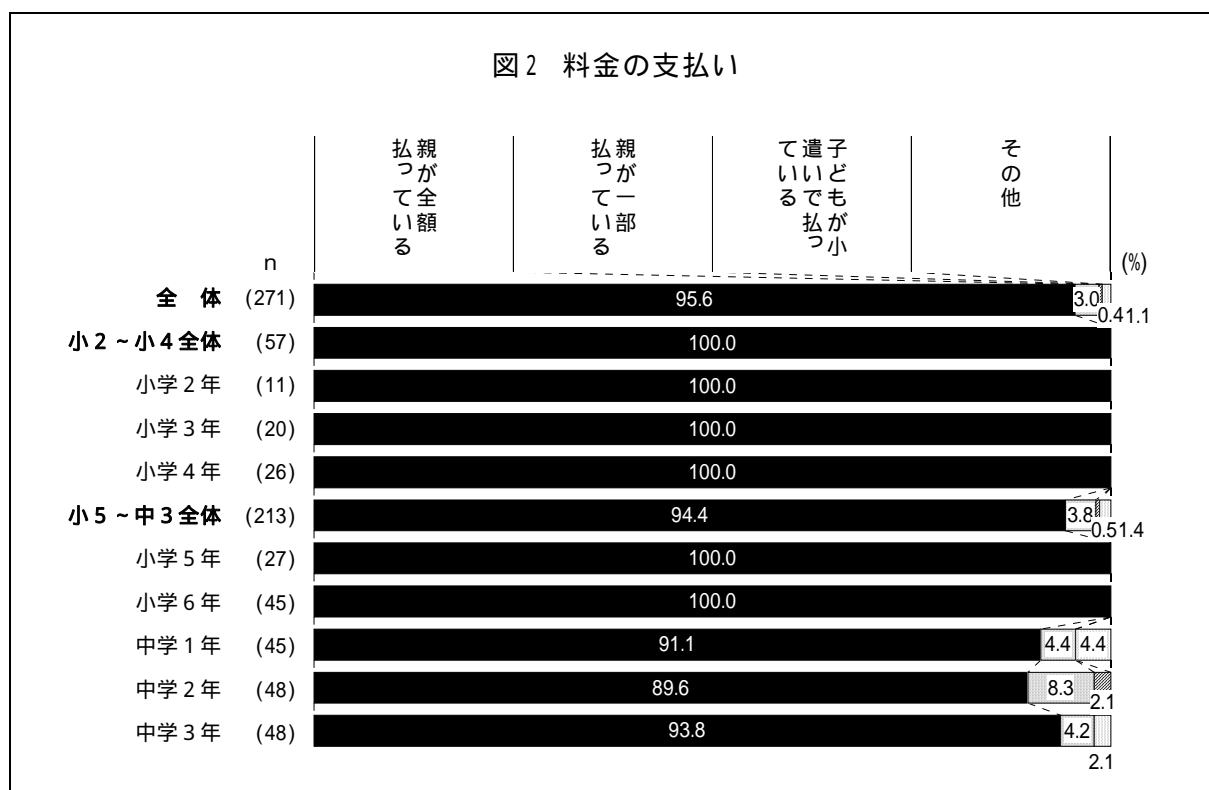
A 「子どもに携帯電話を持たせた理由」については、「いつでも親子で連絡が取れて便利だから」が69.4%と最も高い割合である。

それに続いて、「子どもがどこにいるか分かって安心だから」58.7%、「危険から身を守るのに役立つから」33.9%が上位を占める。子どもに携帯電話を持たせることの「利便性」をこの3つの項目が示しているといえる。また、「子どもがどこにいるか分かって安心だから」と「危険から身を守るのに役立つから」の項目は、学年が進むにつれて、その割合が低下する傾向がある。



B 料金の支払いについて見ると、全体で「親が全額払っている」が95.6%であり、学年別では小学6年までは100%である。

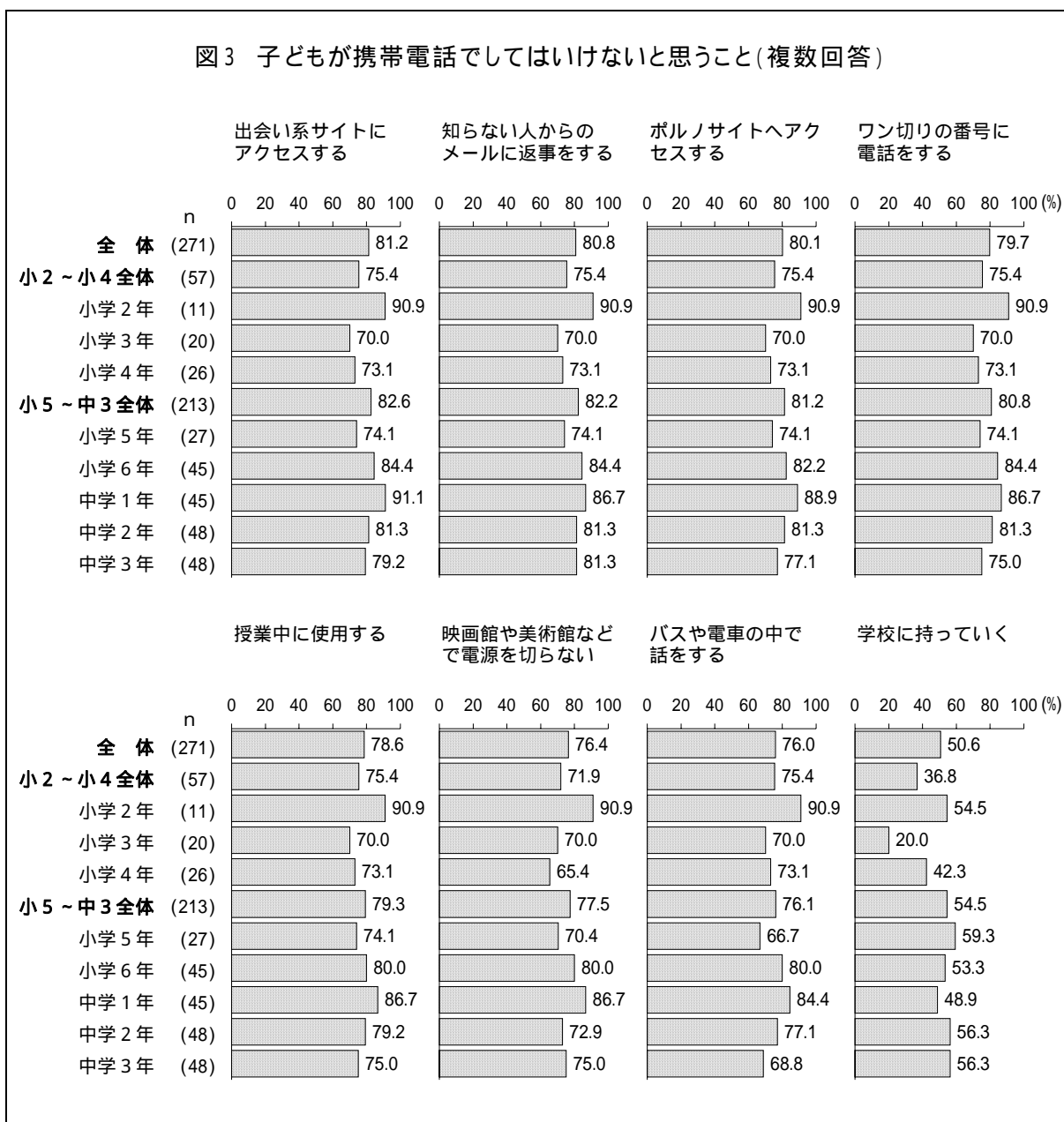
中学生では、約10%の親が全額払っていないという結果となっている。お小遣いの範囲内で使うように指導するなど、親の管理の下に料金の支払をしていることが考えられる。



C 「子どもが携帯電話でしてはいけないと思うこと」では、有害な情報サイトへのアクセスが大半を占める。

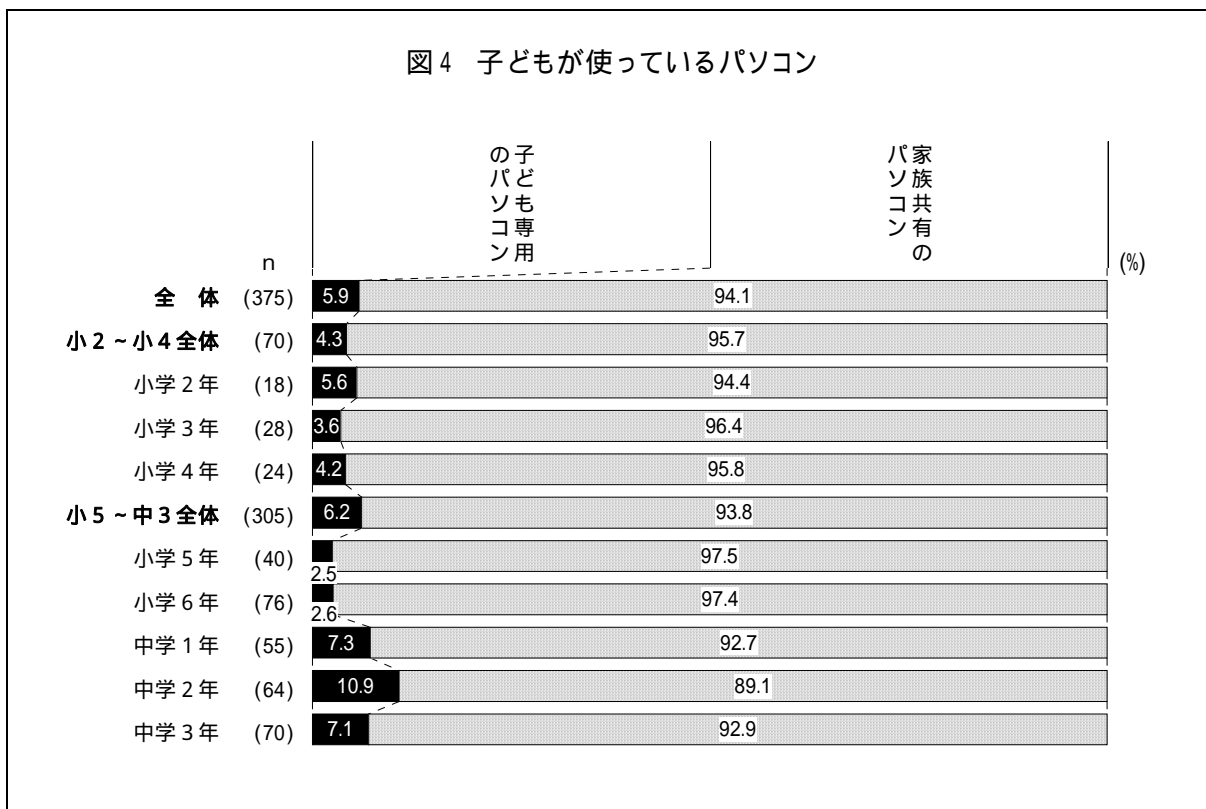
全体で「出会い系サイトにアクセスする」が81.2%と最も高く、次に「知らない人からのメールに返事をする」が80.8%となっている。また、子どもの学年が進むにつれて、割合が低下することもなく、ほぼすべての項目で80%前後の数値を示している(ただし、「学校に持っていく」のみ平均で50.6%)。

図3 子どもが携帯電話でしてはいけないと思うこと(複数回答)



D 子ども専用のパソコンを持っているのは、小学2年から小学4年の全体で5.9%、小学5年から中学3年の全体で6.2%、最も高いのは中学2年で10.9%である。

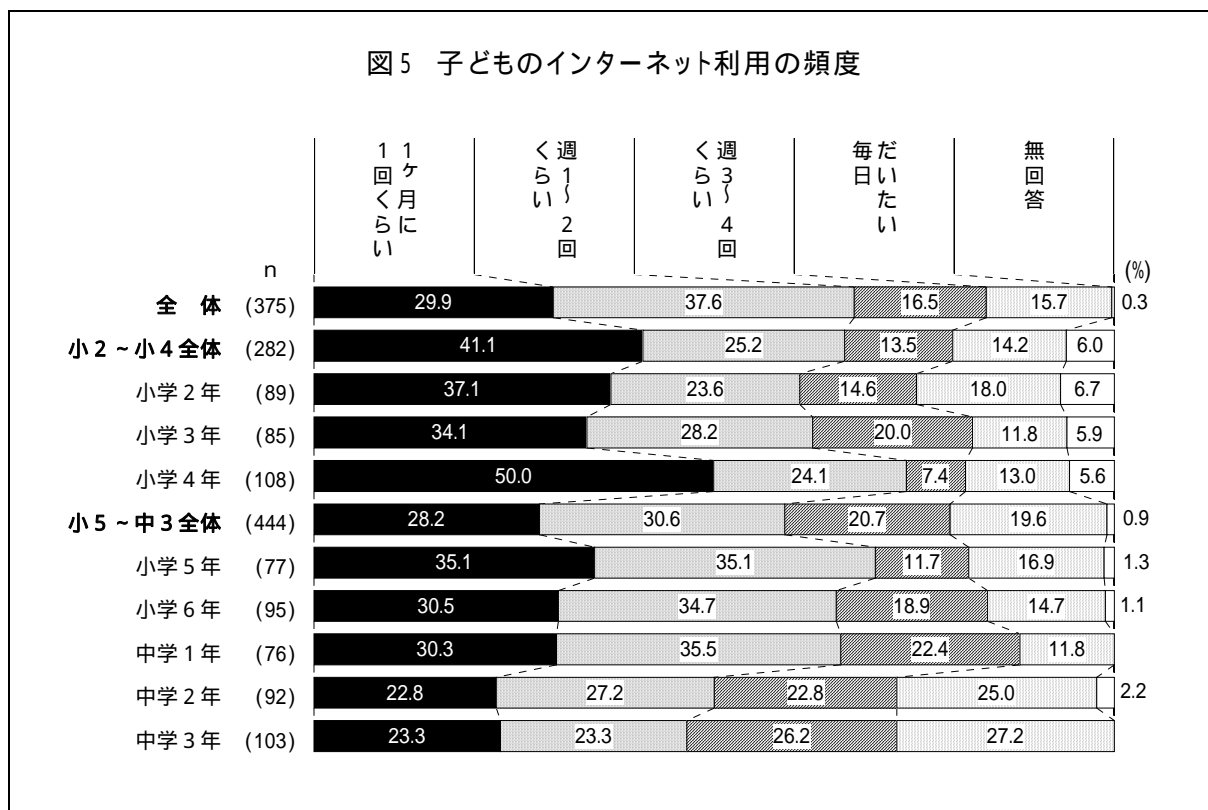
子どもに関する調査結果では、ほぼどの学年でも10%前後、自分のパソコンを使っていると回答しており、親の認識と差が見られる結果となった。





E 子どものインターネット利用の頻度については、図5のとおり、全体で「だいたい毎日」が15.7%、「週3～4回くらい」が16.5%、「週1～2回くらい」が37.6%、「1ヶ月に1回くらい」が29.9%である。

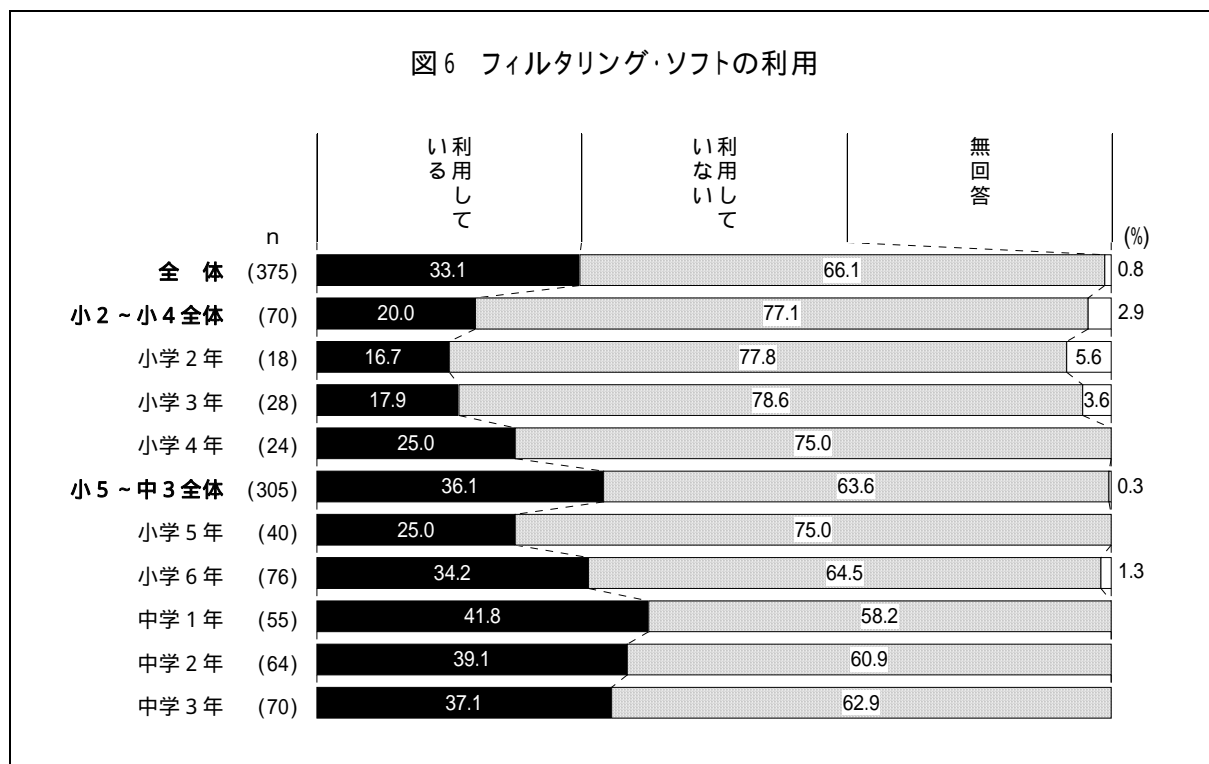
学年が進むにつれて、親も利用頻度が高くなることを認識しており、ほぼ子ども自身の回答結果と一致していることがうかがえる。



## 2 - 2 子どもの安全な利用に関する意識と配慮

### A 「フィルタリング・ソフト<sup>6</sup>の利用」では、全体で「利用していない」が6割を占める。

「フィルタリング・ソフトを利用している」は、小学生の保護者全体で27.8%、中学生の保護者全体で、39.3%となっている。



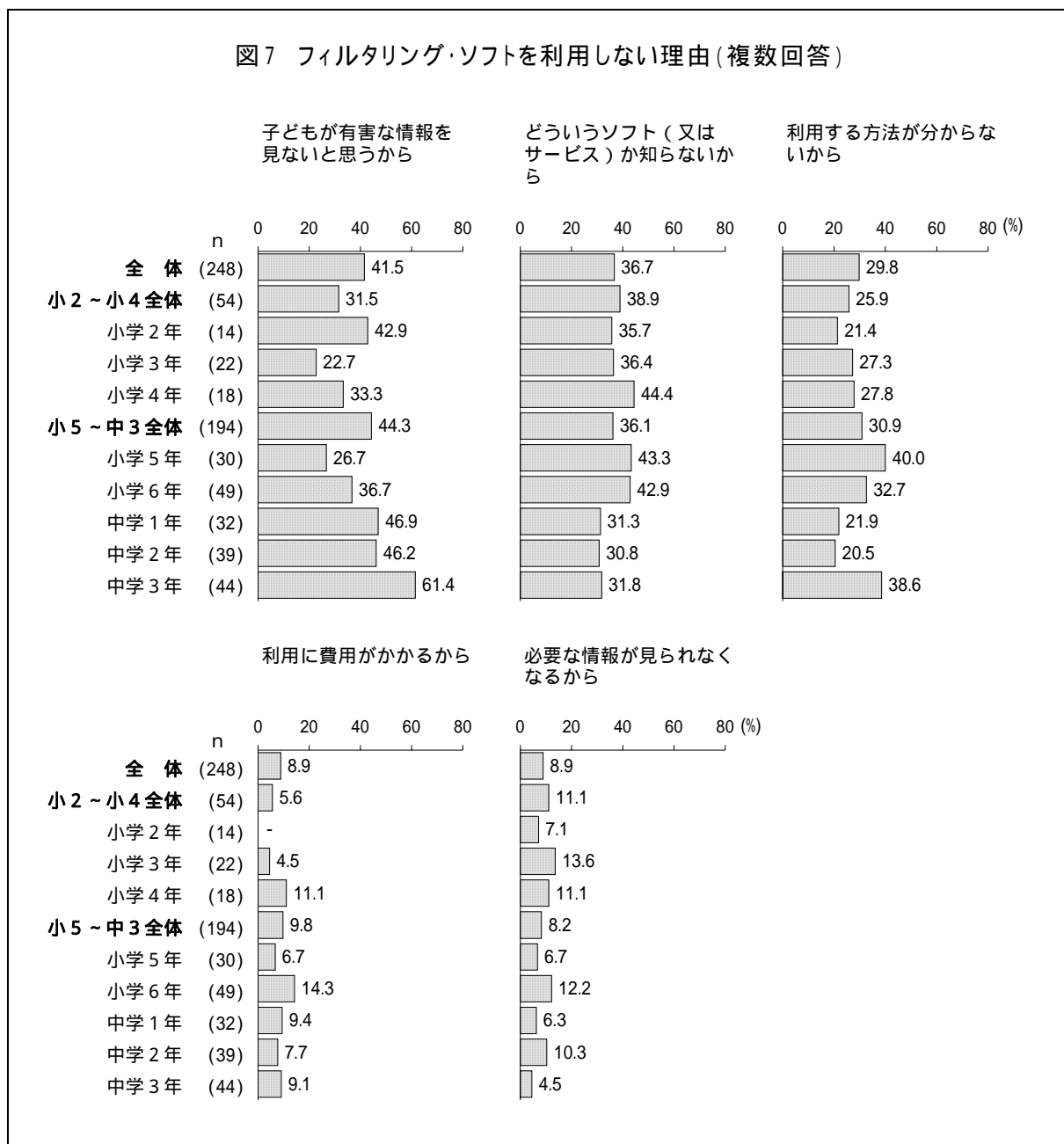
<sup>6</sup> フィルタリング・ソフト: 特定のジャンルの情報をユーザー側で見られないようにフィルターをかける仕組み。

(『日経パソコン用語辞典2007年版』日経BP社、2006年、858ページ)

B フィルタリング・ソフトを利用しない理由では、「子どもが有害な情報を見ないと思う」が41.5%と最も割合が高く、「どういうソフトか知らない」が36.7%である。

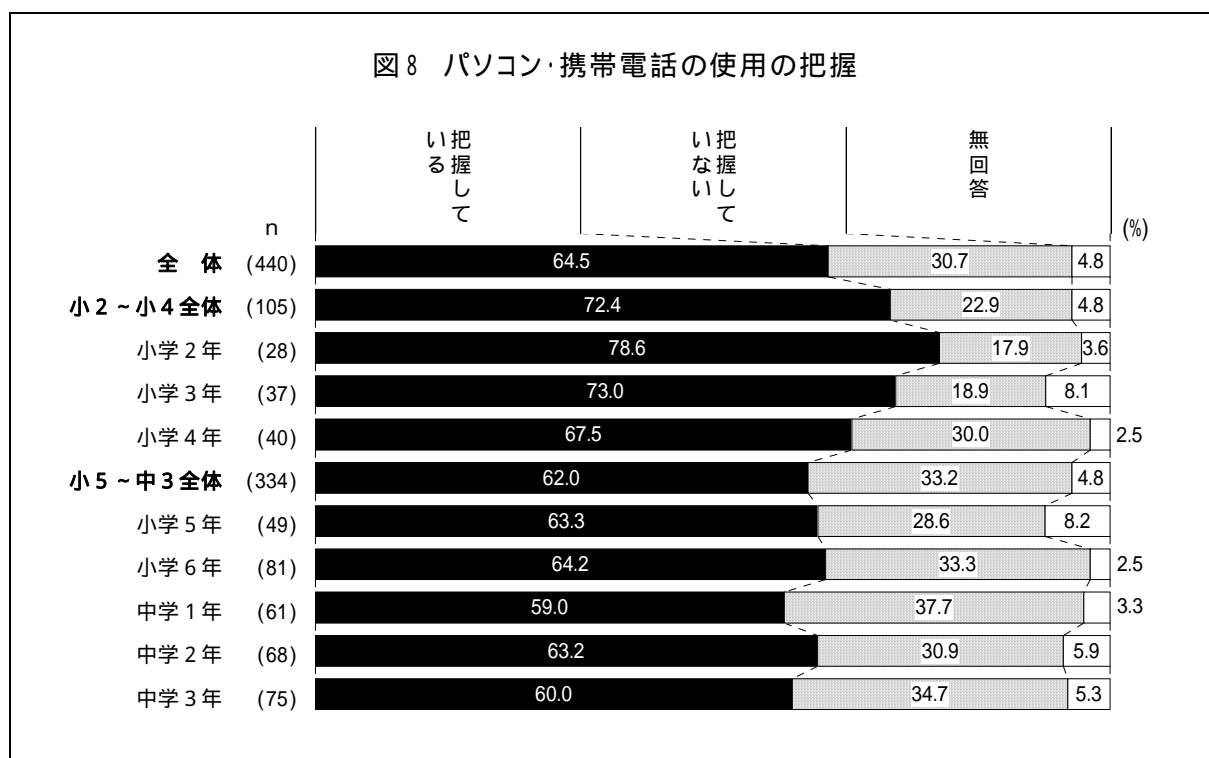
注目されるのは、中学3年の保護者では「有害な情報を見ないと思う」が61.4%と極端に高い割合を示していることである。いずれにしても、親が「子どもを信頼している」ことの結果なのか、フィルタリング・ソフトの利用が4割程度に留まっている。

図7 フィルタリング・ソフトを利用しない理由（複数回答）



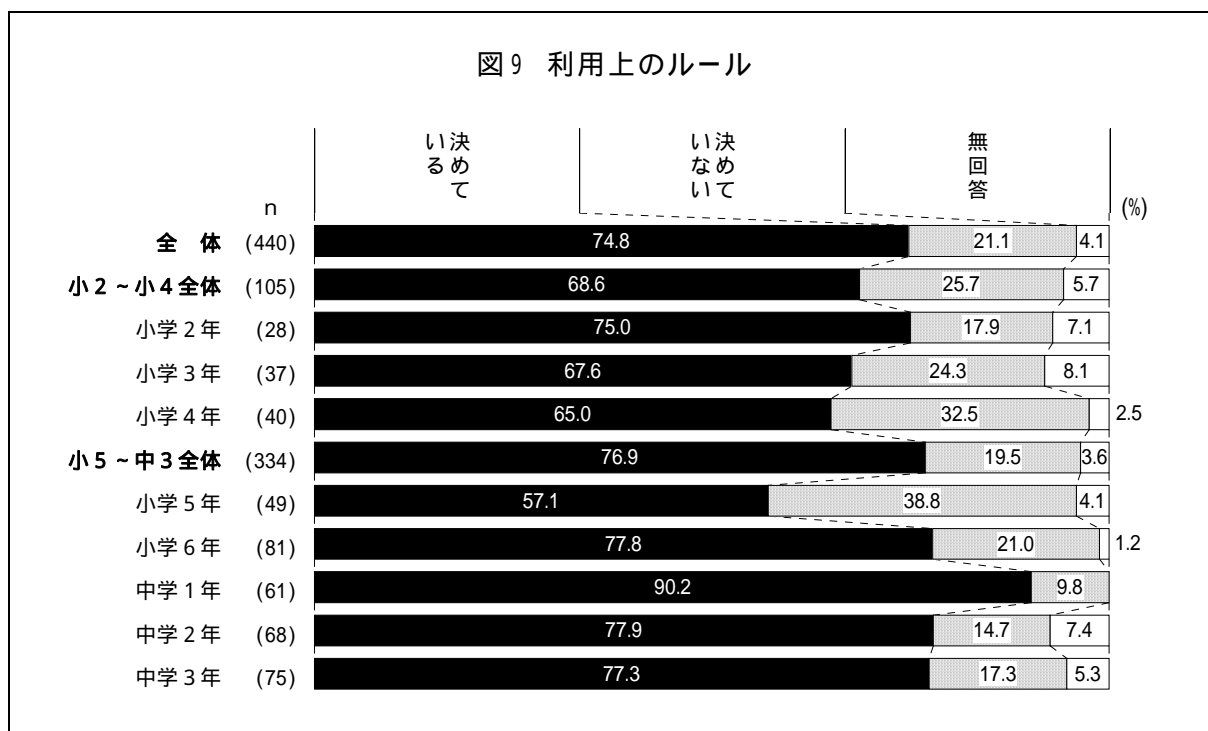
C 「パソコン・携帯電話の使用を把握しているか」の項目では、小学2年から小学4年の全体で30.7%、小学5年から中学3年の全体で33.2%が「把握していない」と回答している。

低学年の保護者の「把握している」割合が高いのは予測できることだが、小学5年からは6割程度の「把握」に留まっていることに着目したい。



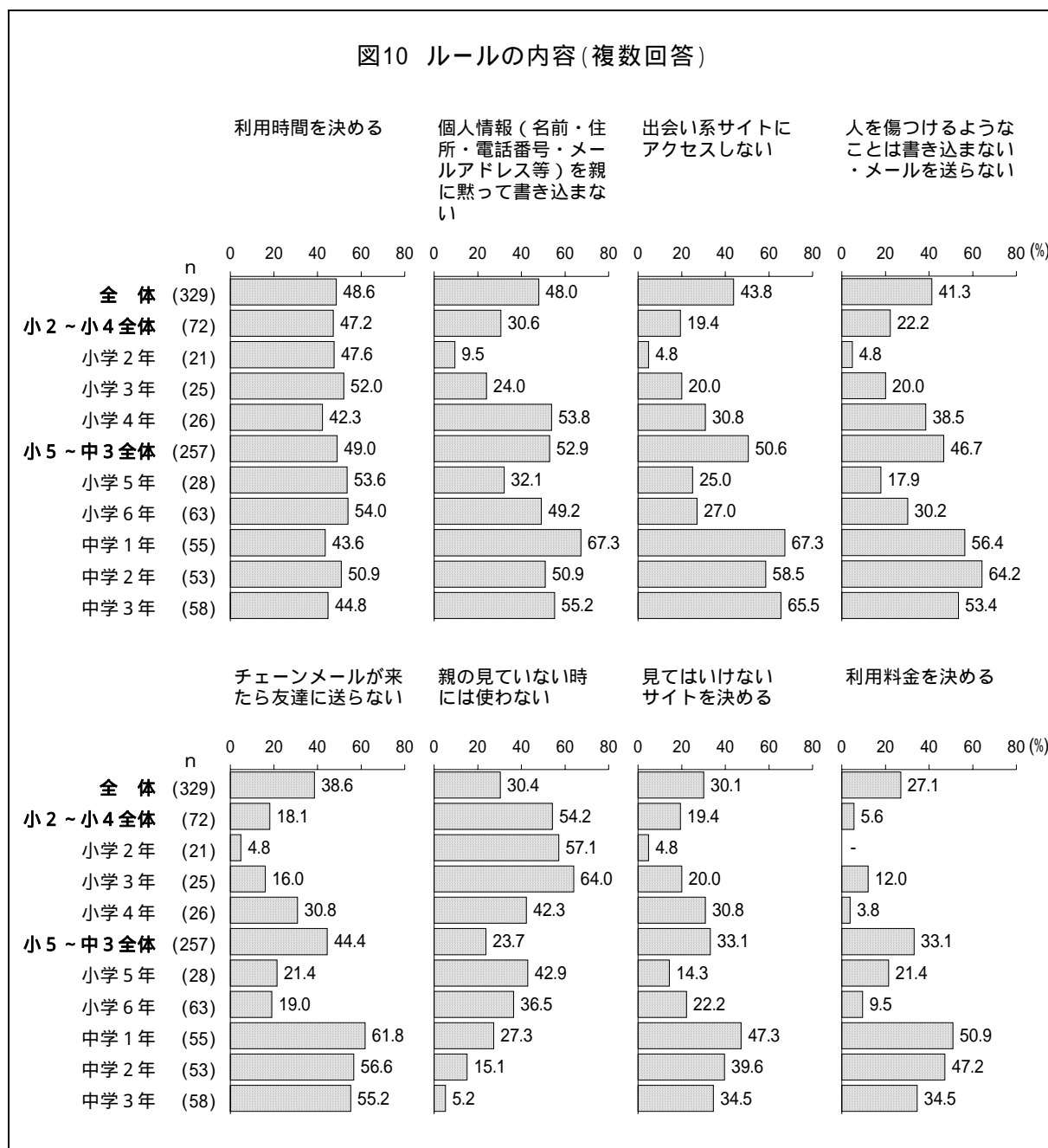
D 「利用上のルールを決めているか」では、小学2年から小学4年の全体で25.7%、小学5年から中学3年の全体で19.5%が「決めていない」という結果である。

利用上のルールに関して、保護者の認識は子どもの認識とかなりのズレがある。なお、小学5年が最も高く38.8%が「決めていない」と回答している。小学2年から小学4年までの割合が低いのは、利用頻度があまり高くないと認識しているため、ルールの必要性を感じていないことが理由の一つと考えられる。

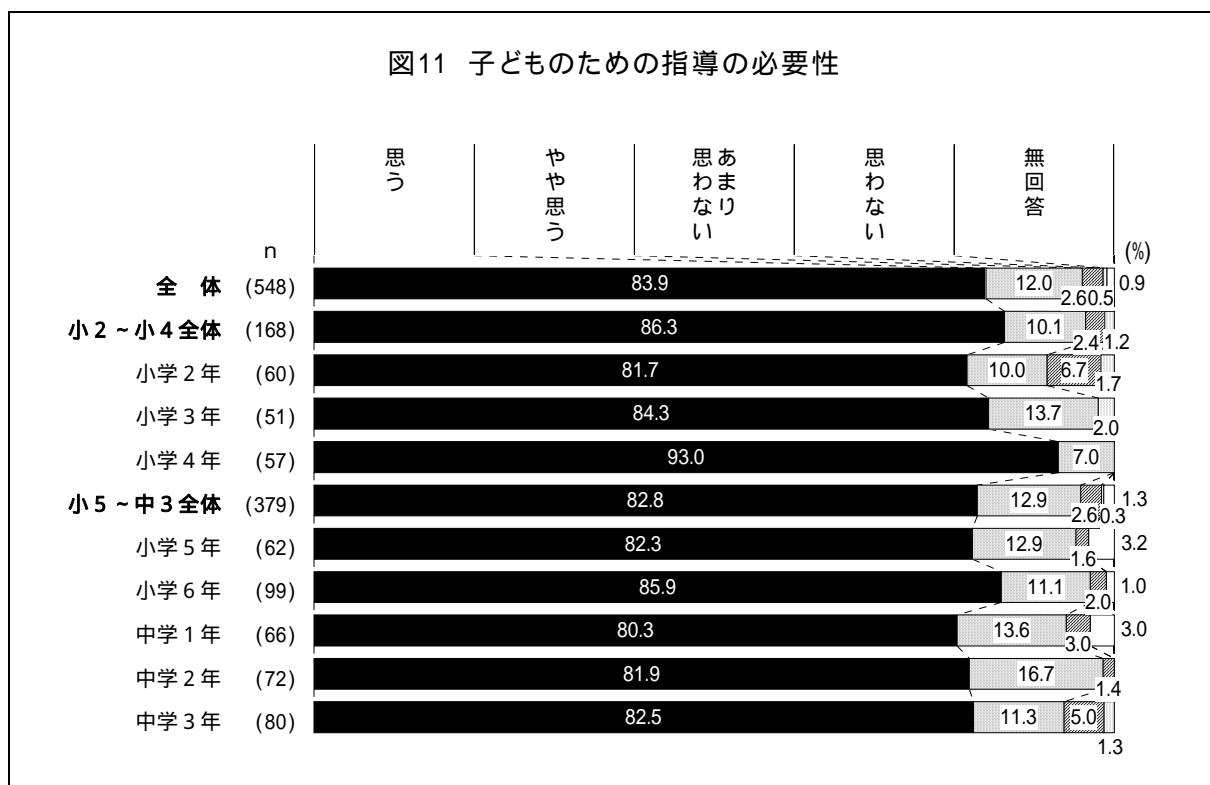


E ルールの内容では、「利用時間を決める」が最も高く48.6%、次に「個人情報を書き込まない」で48.0%が続く。

「出会い系サイトにアクセスしない」は中学2年で58.5%、中学3年で65.5%、「見てはいけないサイトを決める」は中学2年で39.6%、中学3年で34.5%と小学生と比べて中学生が高い割合を示し、「親の見ていない時には使わない」は小学2年から小学6年までは中学生より高い割合を示すなど、各項目で学年による差がある。



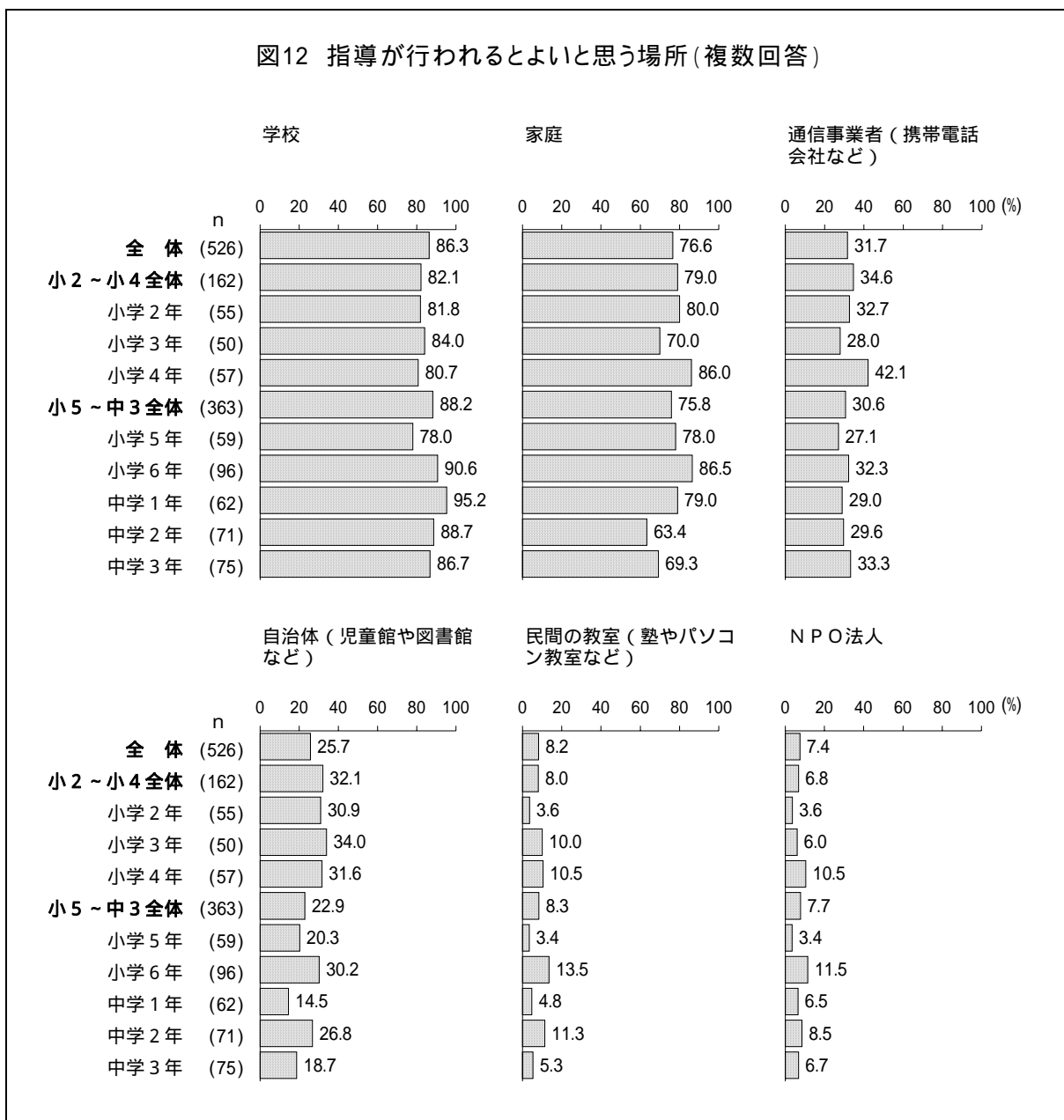
F 子どものための指導の必要性に関しては、必要と「思う」が83.9%である。



G 子どもへの指導が行われるとよいと思う場所では、「学校」86.3%、「家庭」76.6%、「自治体」25.7%という結果である。

全体として小学校では「自治体」の割合が高い(小学5年のみ20.3%で低い)のに対して、中学では相対的に低い(中学1年14.5%、中学2年26.8%、中学3年18.7%)。小学生の保護者が自治体に何らかの指導を求める意識が強いと考えられる。

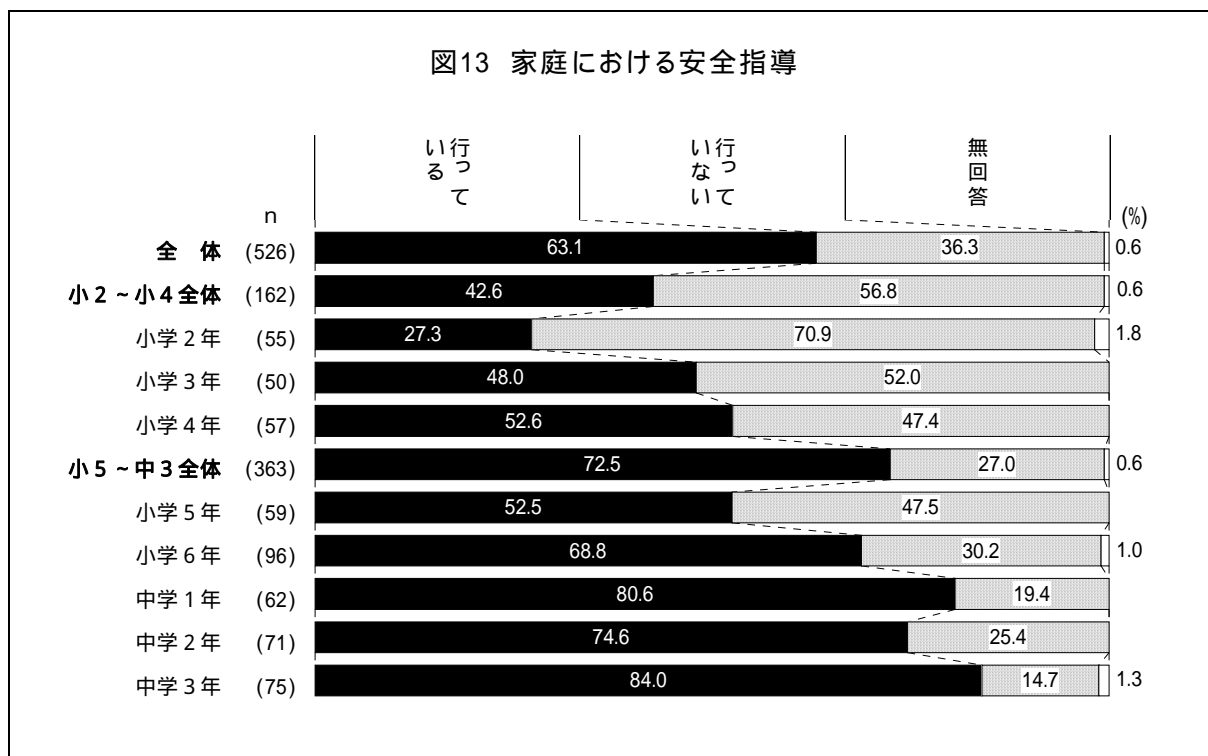
図12 指導が行われるとよいと思う場所(複数回答)





H 家庭における安全指導では、全体で36.3%が「行っていない」。

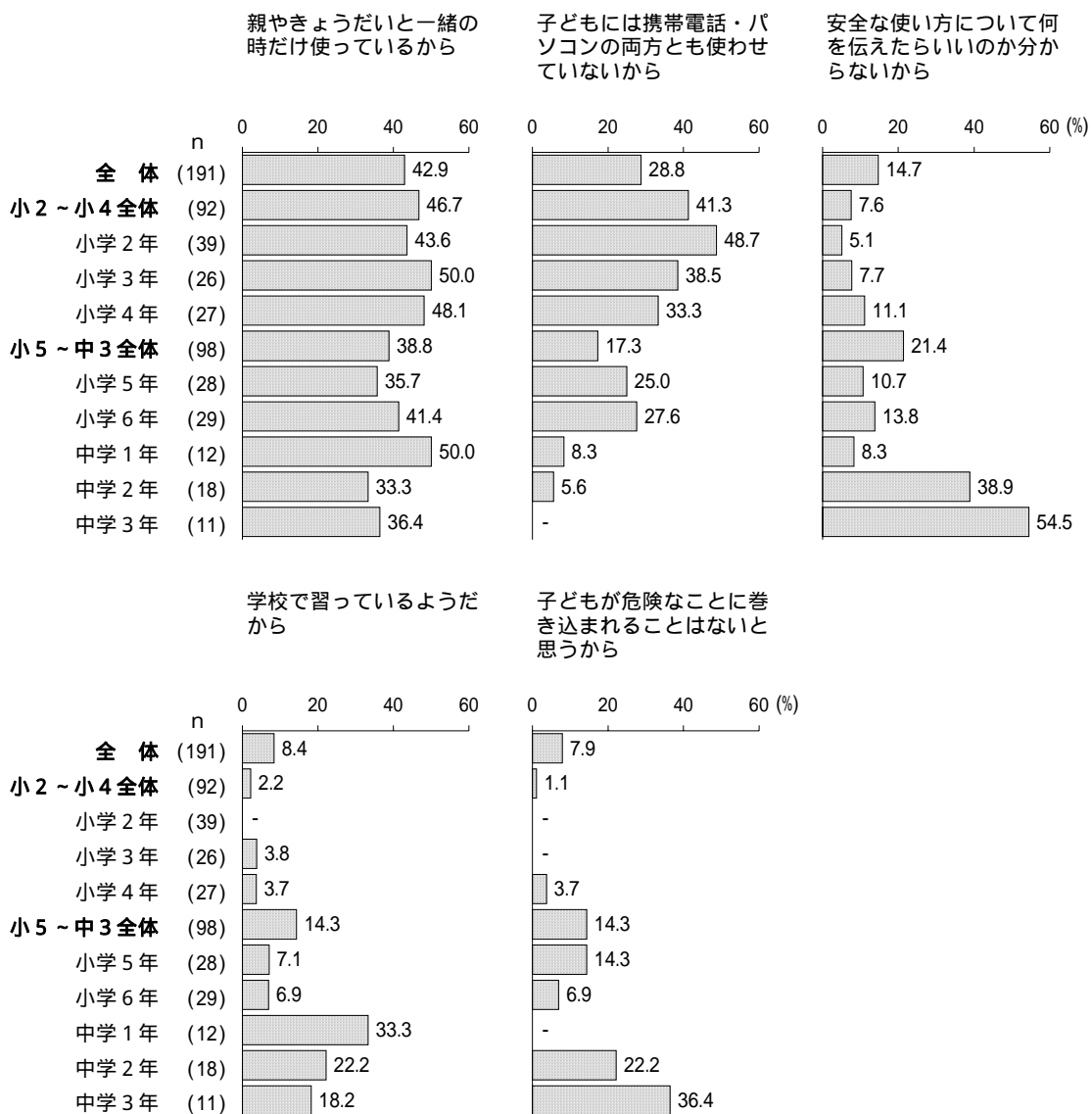
小学2年、小学3年では、「行っていない」割合の方が「行っている」よりも高いが、小学4年からは逆転し、高学年になるほど「行っている」割合が高くなる。高学年になるほど指導がなされている。



I なぜ指導していないかでは、「親やきょうだいと一緒に時だけ使っているから」がトップで42.9%である。

「何を伝えたらいいのかわからない」が14.7%で、特に中学2年と中学3年の保護者では38.9%、54.5%と高い数値を示していることが注目される。

図14 指導を行っていない理由(複数回答)



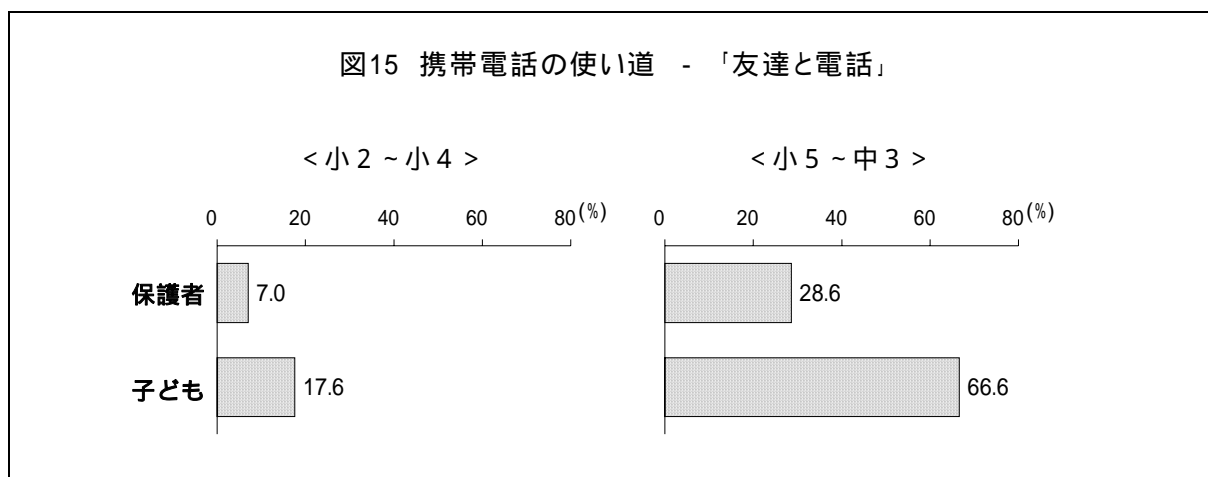
## 2 - 3 子どもと保護者との間にある認識のギャップ

### 携帯電話・インターネットの利用に関する認識のギャップ

#### A 保護者が考えている以上に、子ども達は「友達と電話」をしている。

小2～小4の全体で 保護者7.0% 子ども17.6%

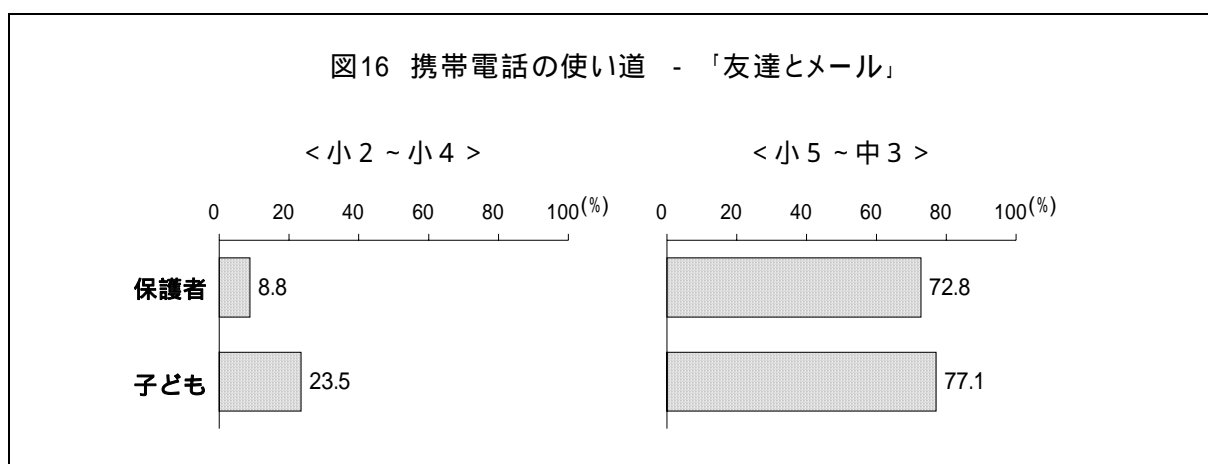
小5～中3の全体で 保護者28.6% 子ども66.6%



#### B 保護者が考えている以上に、子ども達は「友達とメール」の交換をしている。

小2～小4の全体で 保護者8.8% 子ども23.5%

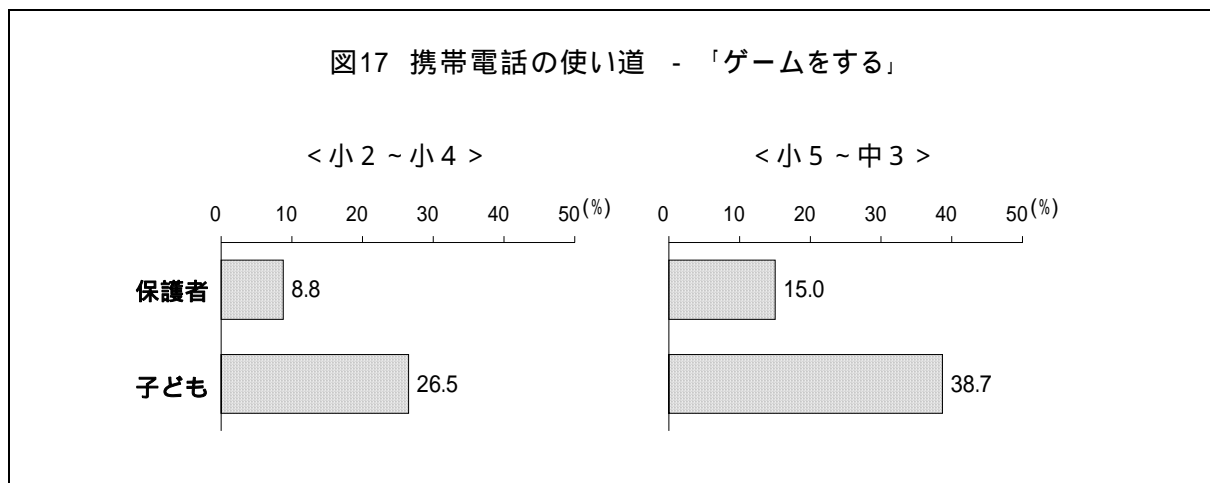
小5～中3の全体で 保護者72.8% 子ども77.1%



C 保護者が考えている以上に、子ども達は「ゲーム」「カメラ」「音楽のダウンロード」機能を活用している。「ゲームをする」について図17に示した。

小2～小4の全体で 保護者8.8% 子ども26.5%

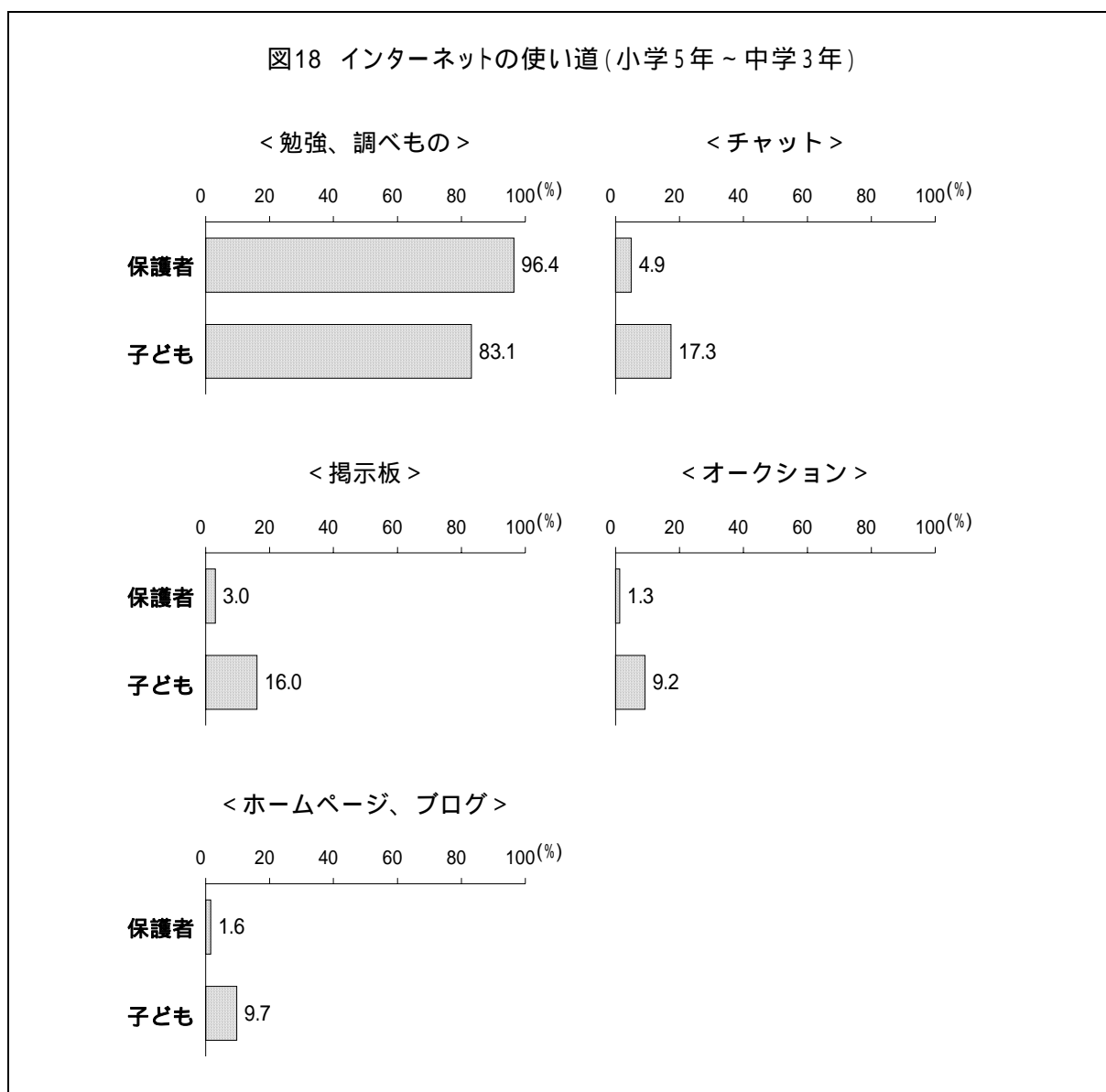
小5～中3の全体で 保護者15.0% 子ども38.7%



D インターネットの使い道(小学5年生から中学3年の保護者と子どもに限定)について見ると、子ども達の利用実態よりも、保護者は「勉強、調べもの」にネットを利用していると考えている一方で、子ども達は保護者が考えている以上に多様な利用を行っていることがわかる。

「勉強、調べもの」	保護者 96.4%	子ども 83.1%
「チャット」	保護者 4.9%	子ども 17.3%
「掲示板」	保護者 3.0%	子ども 16.0%
「オークション」	保護者 1.3%	子ども 9.2%
「ホームページ、ブログ」	保護者 1.6%	子ども 9.7%

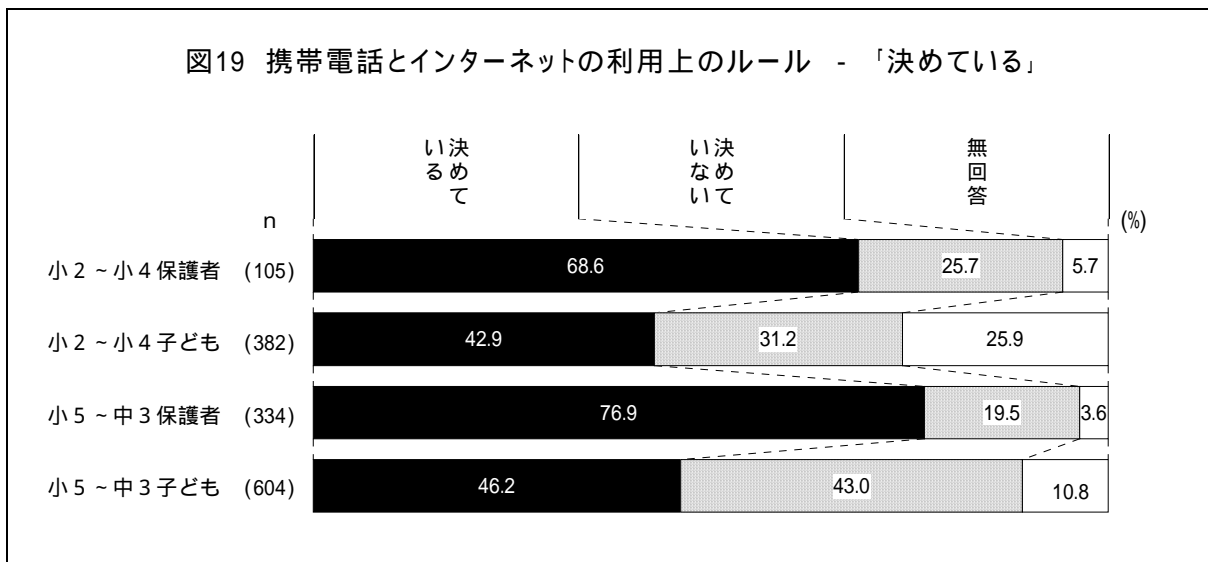
図18 インターネットの使い道(小学5年～中学3年)



利用のルールと規範意識に見られるギャップ

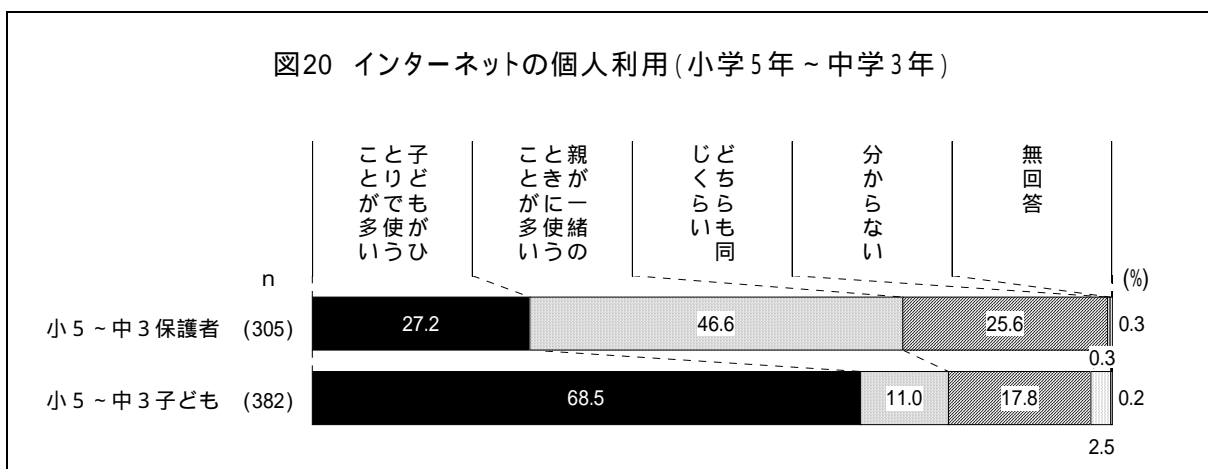
A 携帯電話とインターネットの利用上のルールに関して、保護者が考えているよりも、子ども達はルールが決められているとは思っていない。

小2～小4 保護者「決めている」68.6% 子ども「決めている」42.9%  
 小5～中3 保護者「決めている」76.9% 子ども「決めている」46.2%



B インターネットの個人利用に関して、保護者が考えている以上に、子ども達は一人で利用している。(小学5年生から中学3年の保護者と子どもに限定)

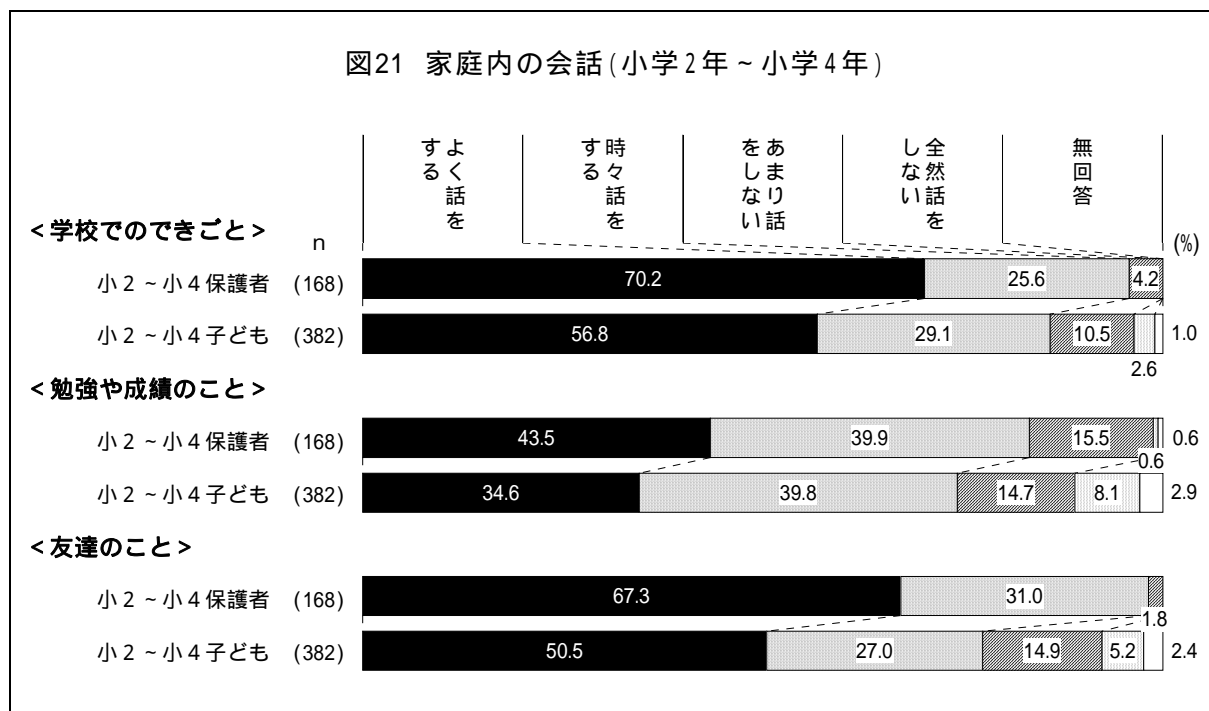
「ひとりで使うことが多い」 保護者27.2% 子ども68.5%  
 「一緒のとき」 保護者46.6% 子ども11.0%  
 「どちらも同じくらい」 保護者25.6% 子ども17.8%



## 2 - 4 家庭内のコミュニケーションに関する子どもと保護者の意識のギャップ

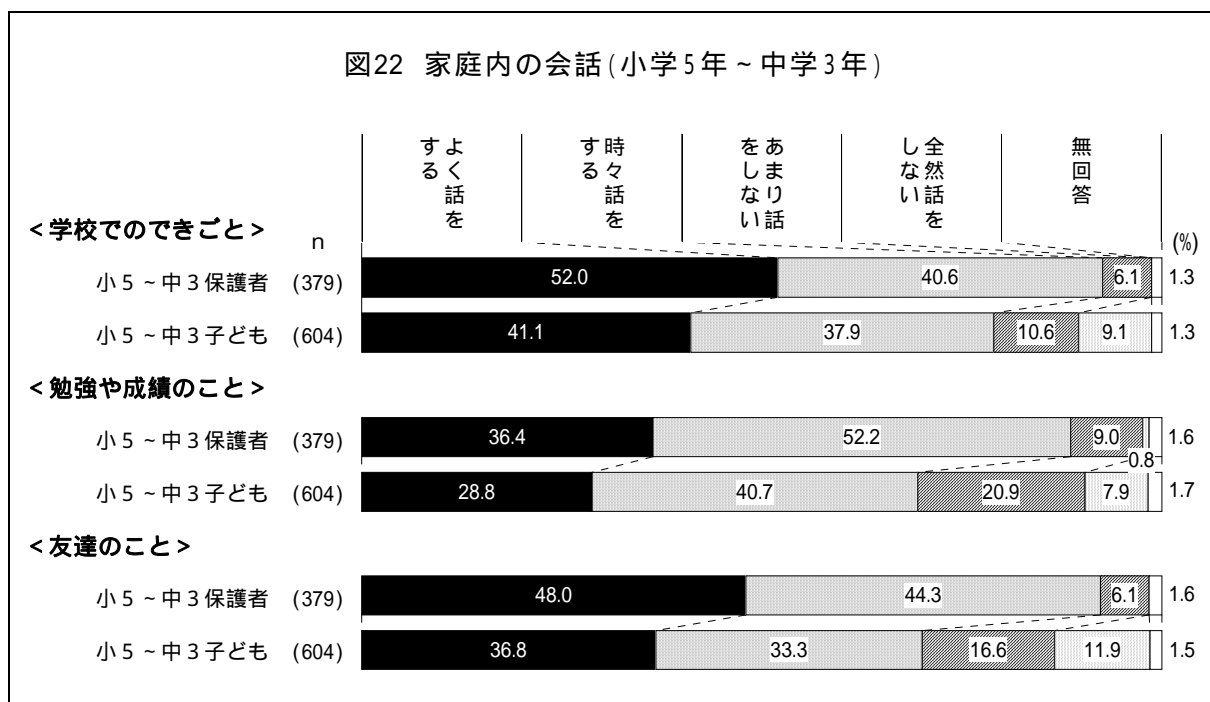
A 家庭内の会話でみると、保護者が考えている以上に、子ども達は親と話をしていないと感じていない。

	よく話す	時々話す	あまり話さない	しない
「学校のできごと」				
小2～小4 保護者	70.2%	25.6%	4.2%	0%
小2～小4 子ども	56.8%	29.1%	10.5%	2.6%
「勉強や成績のこと」				
小2～小4 保護者	43.5%	39.9%	15.5%	0.6%
小2～小4 子ども	34.6%	39.8%	14.7%	8.1%
「友達のこと」				
小2～小4 保護者	67.3%	31.0%	1.8%	0%
小2～小4 子ども	50.5%	27.0%	14.9%	5.2%



B 小学5年から中学3年でも同様に、家庭内の会話でみると、保護者が考えている以上に、子ども達は親と話をしているとは感じていない。

	よく話す	時々話す	あまり話さない	しない
「学校のできごと」				
小5～中3 保護者	52.0%	40.6%	6.1%	0%
小5～中3 子ども	41.1%	37.9%	10.6%	9.1%
「勉強や成績のこと」				
小5～中3 保護者	36.4%	52.2%	9.0%	0.8%
小5～中3 子ども	28.8%	40.7%	20.9%	7.9%
「友達のこと」				
小5～中3 保護者	48.0%	44.3%	6.1%	0%
小5～中3 子ども	36.8%	33.3%	16.6%	11.9%

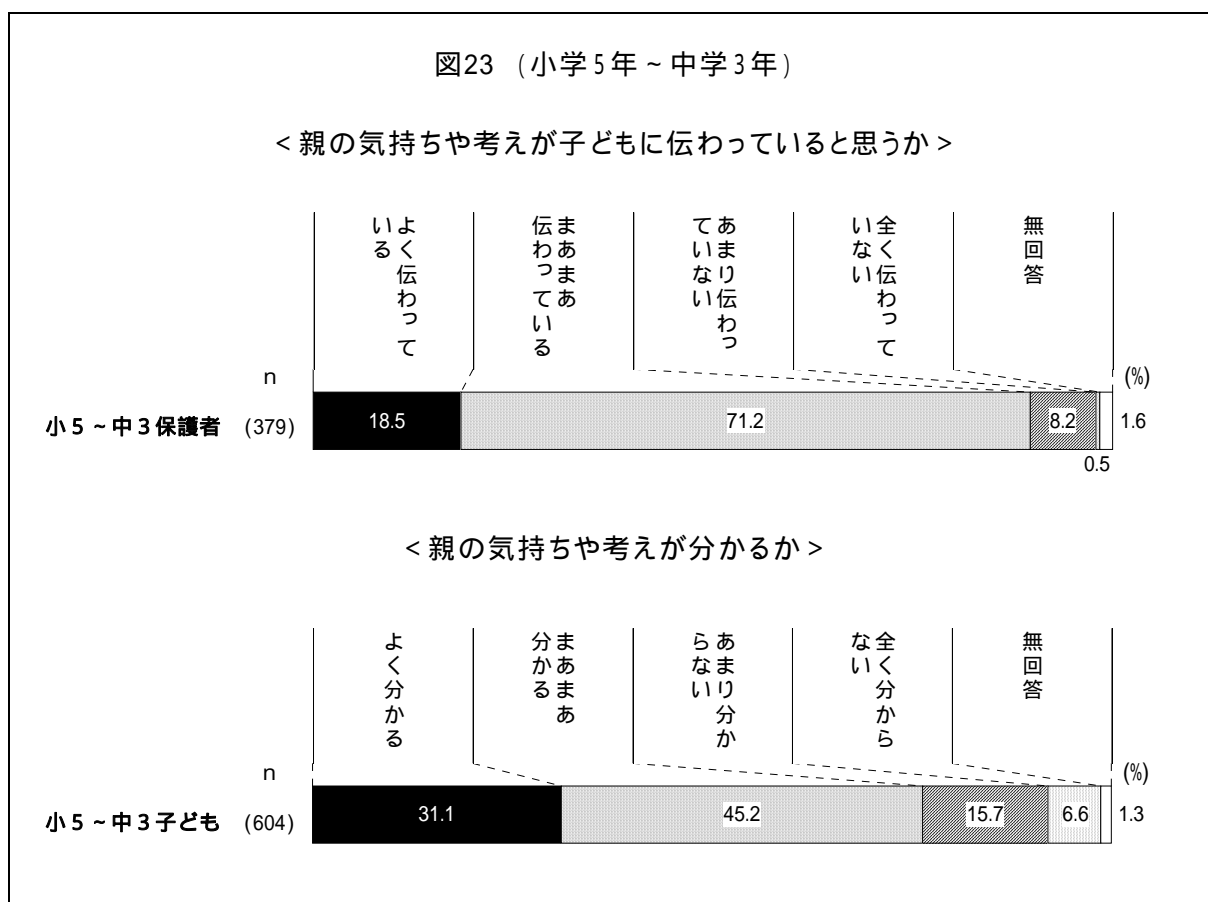




## 2 - 5 子どもと保護者の相互理解度のギャップ

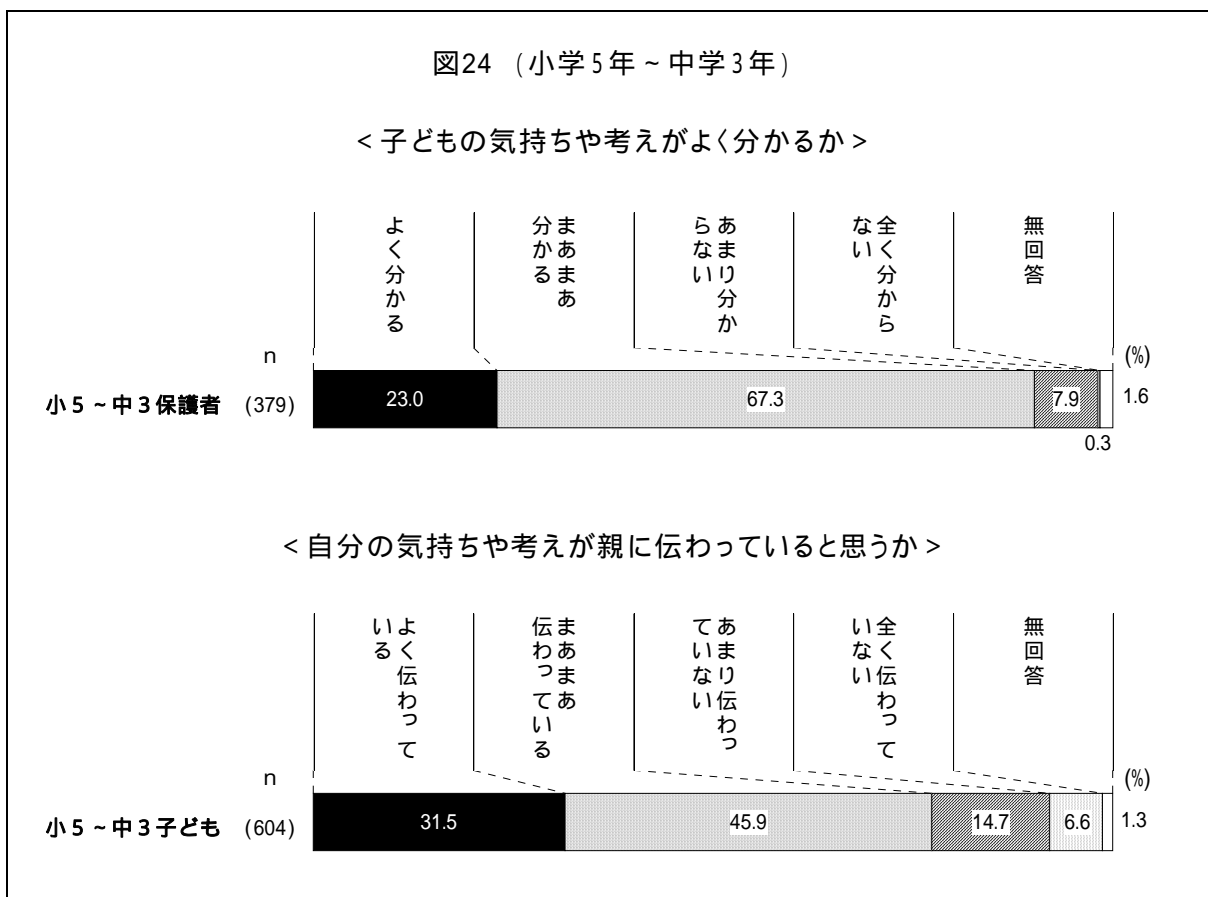
A 親が「子どもに自分の気持ちや考えが伝わっている」と考える割合よりも、子どもが「親の気持ち分かる」と考える層がみられる一方で、逆に「親の気持ちあまり分からない」と考えている層もいることがわかる。「親の気持ち分かる」子どもと、「親の気持ち分からない」という層に、二極化している。

「子どもに伝わる」	よく伝わる	まあ	あまり	まったく
小5～中3 保護者	18.5%	71.2%	8.2%	0.5%
「親の気持ちわかる」	よくわかる	まあ	あまり	まったく
小5～中3 子ども	31.1%	45.2%	15.7%	6.6%



B 親が「子どもの気持ちが分かる」と考えている割合よりも、子どもが「親に自分の気持ちが伝わっている」と考える層が見られる一方で、逆に、「親に自分の気持ちが伝わっていない」と考える層もいることがわかる。「自分の気持ちが伝わっている」と考える子どもと、「自分の気持ちが伝わっていない」と考える層に、これも二極化している。

「子の気持ちわかる」	よくわかる	まあ	あまり	まったく
小5～中3 保護者	23.0%	67.3%	7.9%	0.3%
「親に伝わる」	よく伝わる	まあ	あまり	まったく
小5～中3 子ども	31.5%	45.9%	14.7%	6.6%



## 2 - 6 家庭内のコミュニケーションとデジタル・メディアの利用との関係

保護者に関する調査項目の中で、「子どもとの会話」をどの程度行っているのかについて、「学校でのできごと」「勉強や成績のこと」「将来や進路のこと」「友達のこと」「社会のできごと」の5つの質問を設定し、「よく話をする」「時々話をする」「あまり話をしない」「全然話をしない」の選択肢で回答してもらった。

このうち、「学校でのできごと」について、「よく話をする」に回答したグループ＝「Hグループ」と、「時々話をする」「あまり話をしない」「全然話をしない」のいずれかに回答したグループ＝「Lグループ」と、2つのグループに分けて、クロス集計を行った。

表7 子どもとの会話 - 「学校でのできごと」

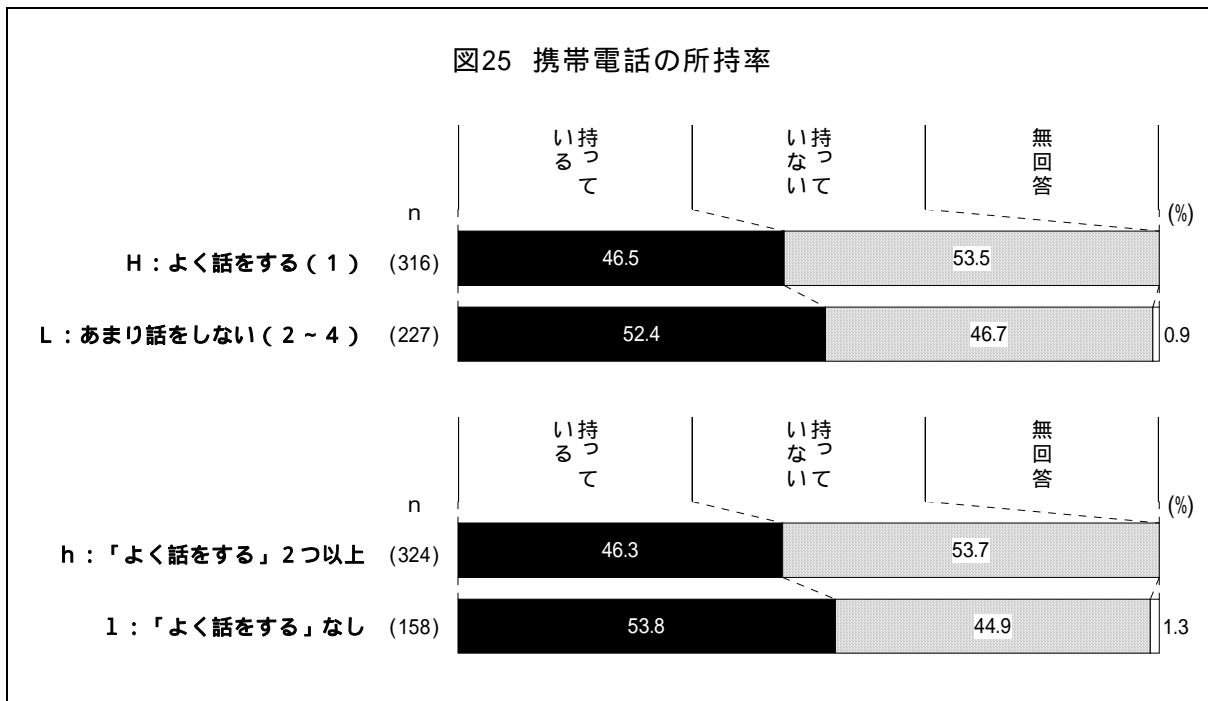
H グループ(「よく話をする」)	316人
L グループ(「時々話をする」、「あまり話をしない」、「全然話をしない」)	227人

さらに、上記の5つの質問で、2個以上「よく話をする」と回答したグループ＝「hグループ」と、1個「よく話をする」と回答したグループ＝「mグループ」、さらに「よく話をする」と回答しなかったグループ＝「lグループ」、という3グループに分けて、クロス集計を行った。以下、その結果である。

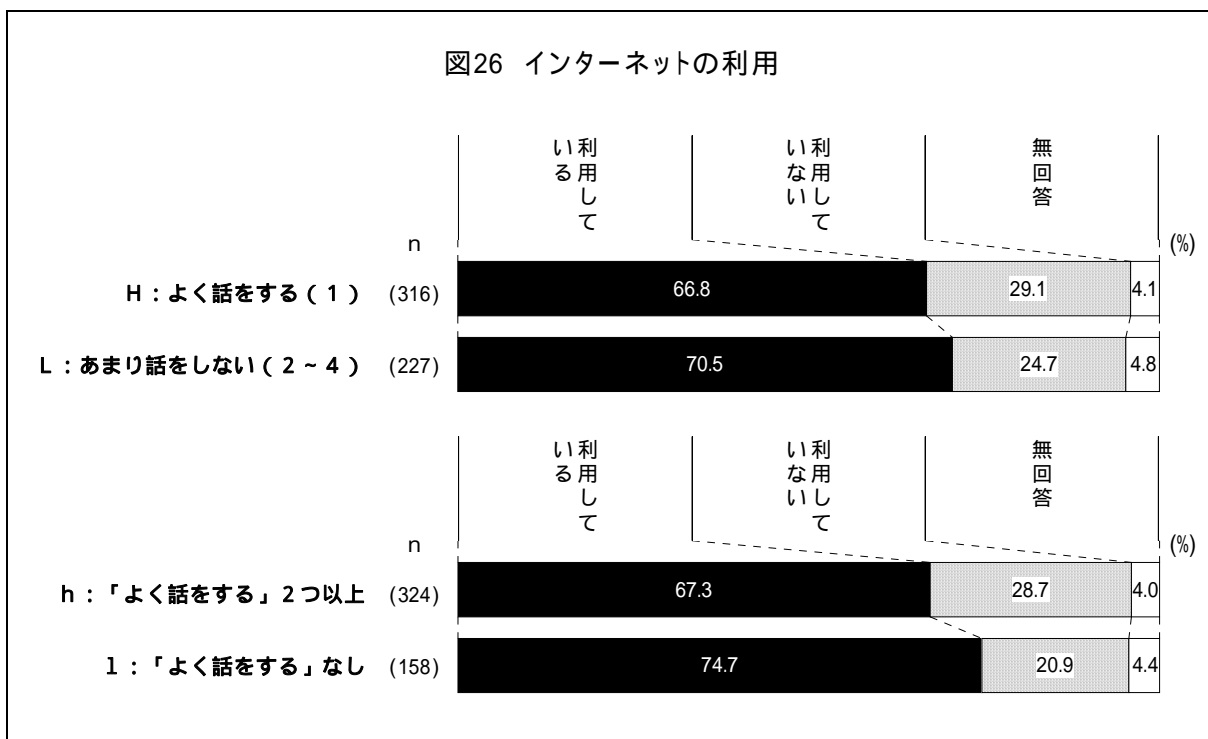
表8 子どもとの会話

h グループ(「よく話をする」2個以上)	324人
m グループ(「よく話をする」1個)	66人
l グループ(「よく話をする」なし)	158人

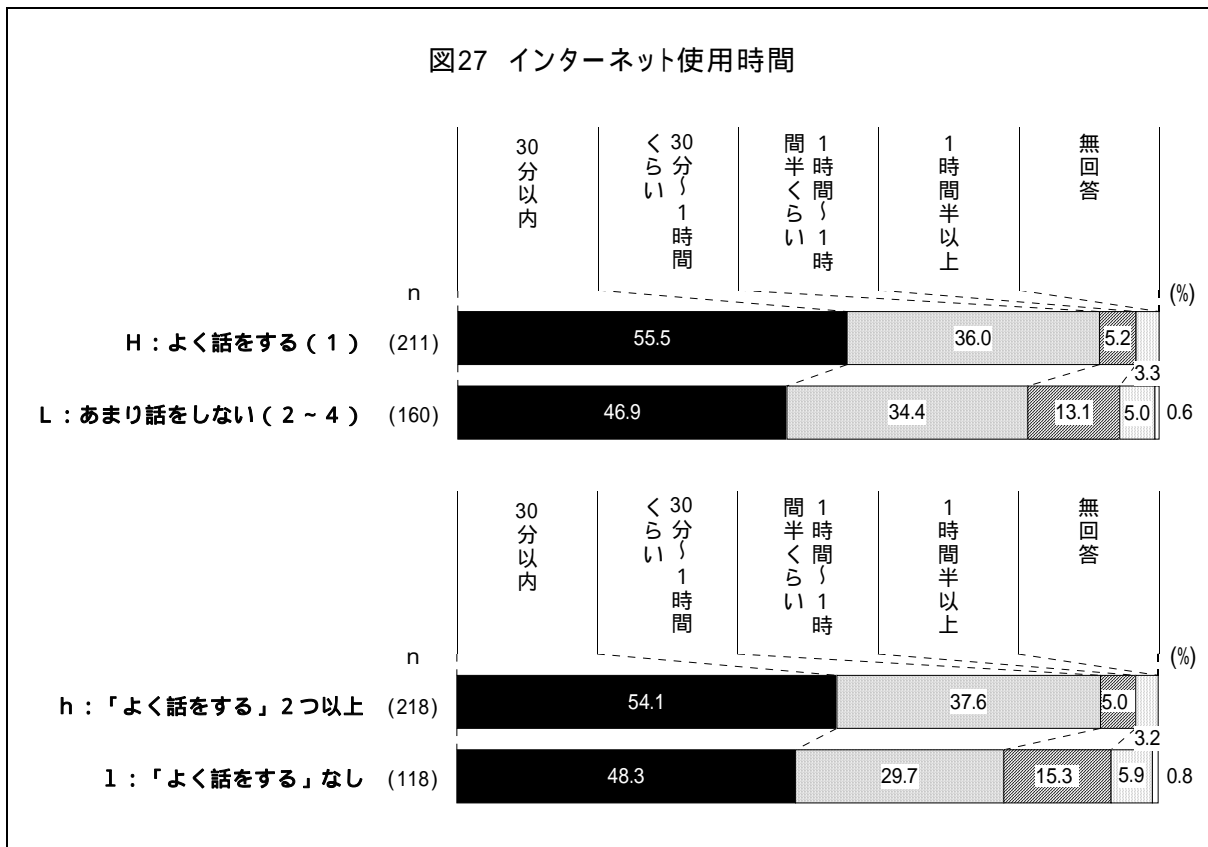
A よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、子どもの携帯電話の所持率が低い。



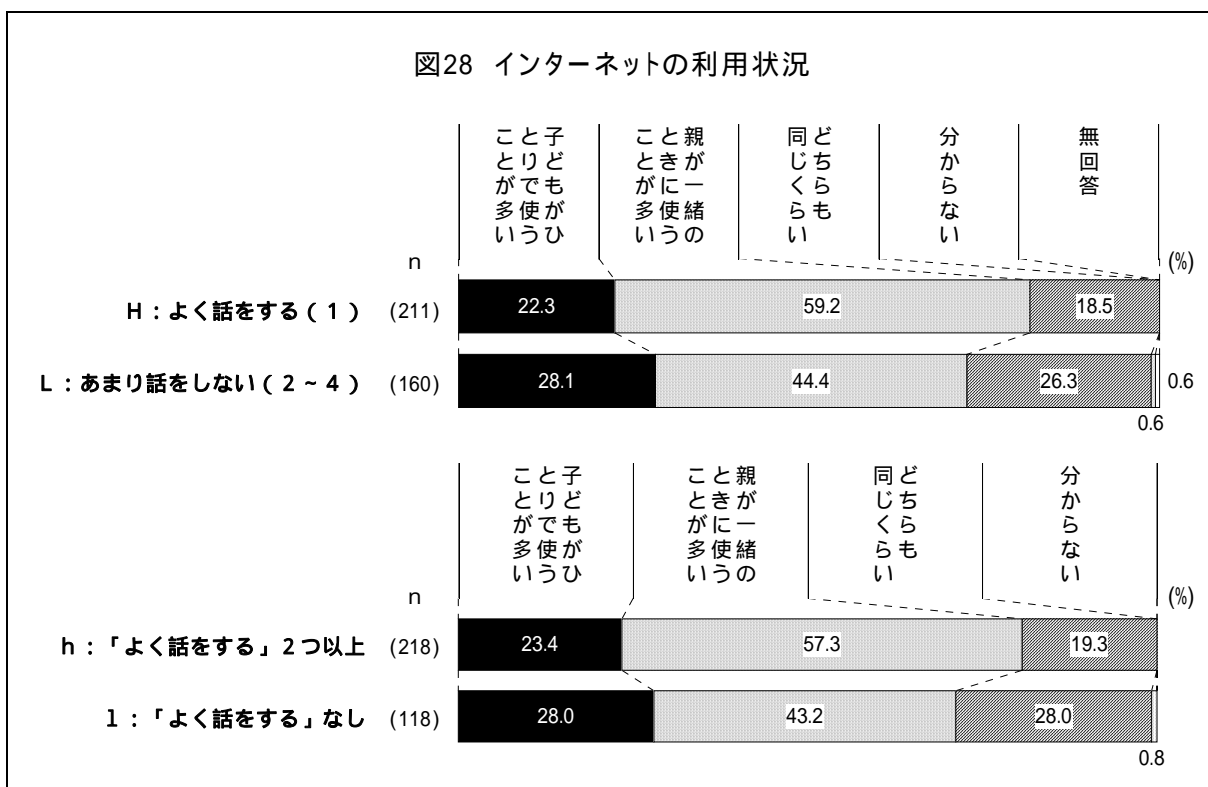
B よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、自宅のインターネットを利用している割合が低い。



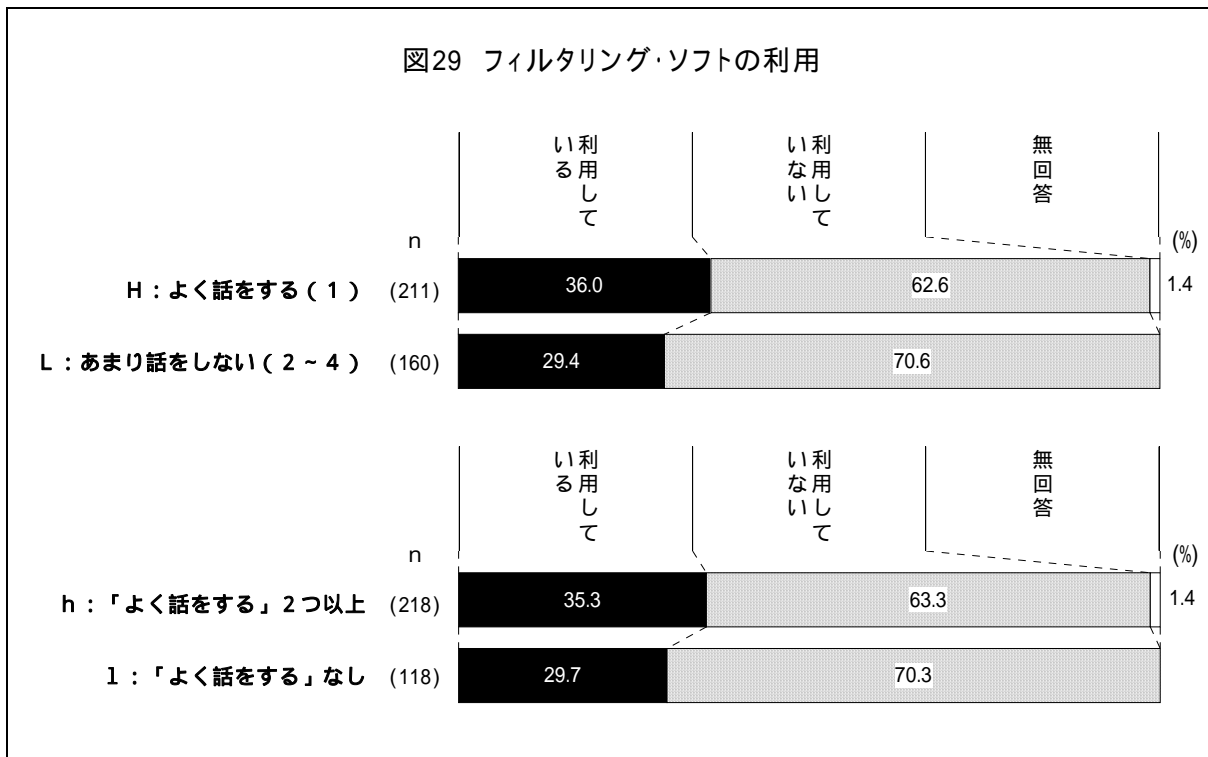
C よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、インターネット使用時間が短い。



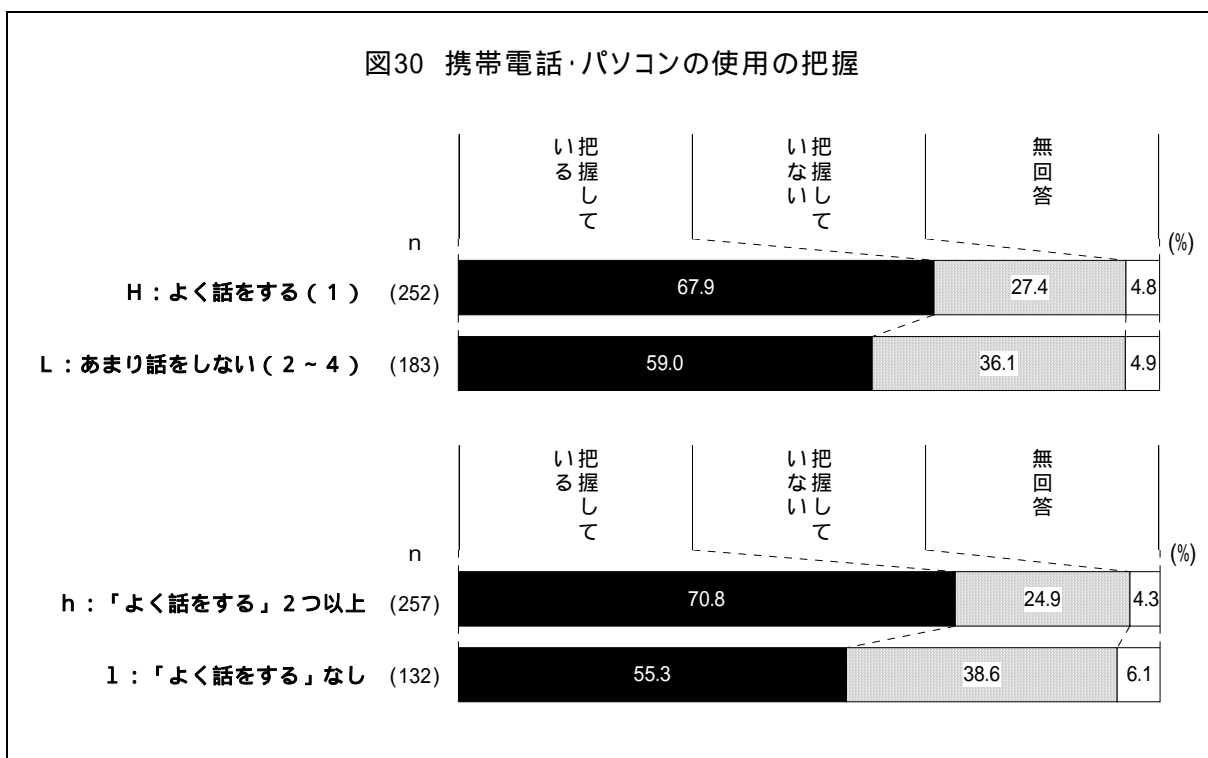
D よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、インターネットを「ひとりで使う」割合が低い。



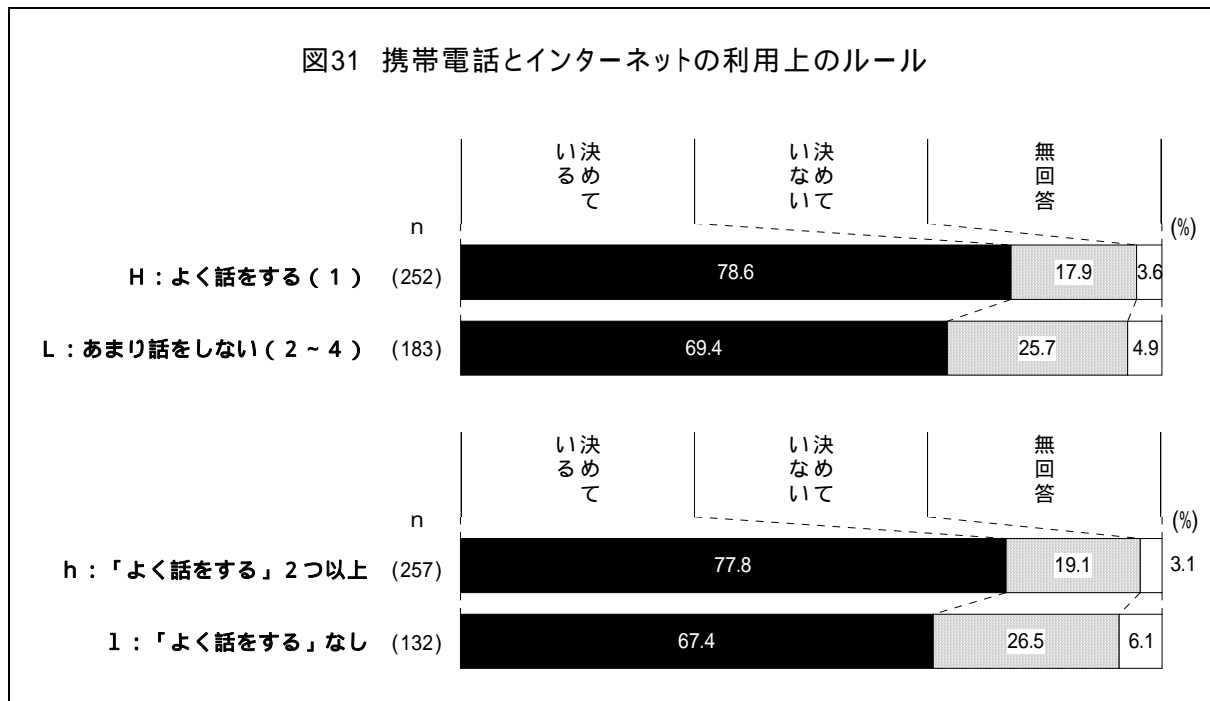
E よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、フィルタリング・ソフトの利用の割合が高い。



F よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、携帯電話・パソコンの使用を把握している割合が高い。



G よく話をする「Hグループ」「hグループ」の方が、利用上のルールを決めている割合が高い。



以上のクロス結果を見る限り、家庭における会話のあり方(「よく話をするか」どうか)が、子どものデジタル・メディア利用のあり方に深く関わっていることが十分うかがえる。誇張して表現すれば、「あまり話をしない」と保護者が考えている家庭では、子どもに携帯電話やパソコンを持たせ、ルール無しで、子ども一人で、十分に利用実態を把握せず、使わせている、と読み取れる結果と言える。

## 2 - 7 小括

保護者の調査結果から、いくつかの点を、特徴として指摘しておこう。

保護者は「利便性」を重視して子どもに携帯電話を持たせている。

「子どもが携帯電話ではいけないこと」に関する意識が弱い。「自分の子どもはそうしたことをしないだろう」という意識がその背景にある。

上記の事柄とも関わるが、「子どもの安全な利用に関する意識と配慮」も、保護者の認識不足がうかがえる。予想していた以上に『厳しい』結果である。

携帯電話とパソコンの利用に関する、保護者と子どもの認識のギャップも大きいといわねばならない。保護者が感じている以上に、子ども達はメディアに接触し、幅広い利用を行っている。それにも関わらず、それが保護者に十分認識されていない現状にある。

家庭内の会話では、調査項目のいずれでも、保護者が考えているより子どもは「よく会話している」とは考えておらず、「あまり話さない」「全然話さない」と感じている。同じ時間でも、保護者と子どもとの間では、「多い」「少ない」という時間感覚の差が存在することが予想されるが、子どもの視点からみると「会話が少ない」「会話の時間が短い」と受け止めていることだけは確か、という結果である。

小学5年から中学3年までの「相互理解」に関するデータは興味深い。親が考えている以上に、「親の気持ちがわかる」「自分の気持ちが親に伝わっている」と子どもが思っている一方で、「あまり分かっていない」「あまり伝わっていない」と考えている保護者の割合よりも、そう考えている子どもの割合も多い。この点についてはより詳細な検討が必要と思われる。

今回の調査から得られた重要な結果の一つであるが、家庭における会話のあり方（「よく話をするか」どうか）が、子どものデジタル・メディア利用のあり方、家庭における子どもを取り巻くメディア環境のあり方に深く関わっている。家庭における会話のあり方の重要性を浮かび上がらせる結果といえる。



## 第3章 まとめと考察



## 第3章 まとめと考察

---

### 3 - 1 アンケート調査のまとめと考察

#### 子ども達の利用実態の特徴

今回の調査は、小学2年から中学3年を対象に、携帯電話とインターネットの利用の実態、利用上のルールや規範についての意識、児童・生徒を取り巻くメディア環境の特徴、家族を中心にした子ども達のコミュニケーション、という4つの領域を設定して実態の把握に努めた。また、保護者を対象にした調査では、子ども達のメディア利用に関して保護者がどの程度の配慮と指導を行っているのか、この点を明らかにすることを主眼に項目を設定した。いずれの調査からも、重要な知見が得られたといえる。

まず、指摘できるのは、私達が予想していた以上に、子ども達の携帯電話とインターネットの利用が進んでいることである。すでに、1 - 7小括で述べたように、携帯電話とインターネットの利用に関する「低年齢化」とでもいうべき事態の進行である。小学2年でインターネットの利用が66.4%、携帯電話の所持率が17.9%という数値は、東京の都心部という文京区の地域的な特性が背景にあるとはいえ、かなり高い数値といえる。

利用の実態を見ると、大きな傾向としては、小学6年からインターネットの多様な利用が進む傾向が明らかになった。「掲示板への書き込み」「チャットの利用」などの利用が小学6年から拡大している。また、携帯電話の利用でも「親とのメール」に加えて、「友達とのメール」など、小学6年から拡大している。小学6年が一つの「節目」といえる結果である。

さらに、どの学年でも、女子が男子よりもインターネットの利用頻度が高い、という傾向がうかがえることも留意しておきたい。

学年が進むにつれてメディア利用が拡大することは一般に予測できることではあるが、今回の調査でもそのことが裏付けられる結果となった。「メールの利用」「掲示板への書き込み」「チャットの利用」「自分のホームページ」「買い物」「オークション」など、中学2年、3年で、急速に、利用の頻度が高まる、という実態が明らかになった。このことは、「最も必要なメディアは何か」を聞いた項目で、中学2年、3年で第1位の「テレビ」について、2位に「携帯電話」、3位に「パソコン」が入ったことからもうかがえる。

いずれにしても、1～2年前までは、大人でも知らなかった「YouTube」や「ニコニコ動画」サイトなどにも子ども達は積極的にアクセスしていることから、彼らがデジタル・メディアを多様に利用していることが明らかになった。

#### 子ども達を取り巻く、まったく新しい「メディア環境」

これまで子どもを取り巻くメディア環境は、テレビ、マンガや本、あるいはゲームに限定されていたといえる。一つの家におけるテレビの所有台数が複数化し、子どもが自室でテレビを見るという機

会が増えたとはいえ、保護者が子どものテレビ視聴の番組や内容、視聴時間をチェックしたり、ゲームで遊ぶ時間を制限するなど、メディア接触やメディア環境を整備し、子どものメディア利用を考慮することがそれなりに可能な現状にあったといえる。

こうした子どもを取り巻く環境は、インターネットに代表される様々なデジタル・メディアの登場によって急速に変化しつつある。

携帯電話は、基本的には個人が携帯するパーソナル・メディアであり、親の管理やチェックが難しく、「子ども自身の責任で使う」範囲や度合いが格段に高いメディアである。また、インターネット上の様々なサイトが提供する情報の中には、専門性の高い情報や、学習に役立つ情報が多数存在する一方で、従来のマスメディアが伝える「一定の選択を経た」「一定の信頼がおける」情報とはまったく異なり、「恣意的な」「不確かな、時には悪質な」情報が数多く存在している。こうしたサイトに、場合によっては、子ども達がアクセスして、「不確かな」「悪質な」情報を入手したり、時には外部の業者から送られてくる「チェーンメール」「匿名のメールや電話」などを通じて、こうした情報を入手できる環境が成立しているのである。

子どもは、こうした事態をどう受け止めているのだろうか。

「携帯電話やインターネットで嫌な思いをした」という経験は、小学2年ですでに21.9%に達している。その内容は、すでに述べたが、「知らない人からのメールや電話」との回答が最も多かった。中学3年では、「嫌な思いをした」という経験は40.8%に上る。

今回の調査結果から言えるのは、こうした環境に多くの子ども達が置かれているにも関わらず、「親に相談する」「友達に相談する」ことで対処している子どもが決して多くはないという実態である。特に、中学2年、3年では、「親に相談する」「友達に相談する」と比較して「なにもしない」という割合が最も高い。

以上、これまで述べたような実態は、それぞれの家庭で、日常的に様々な事柄について相談できる環境を作っておく必要があることを示唆するものである。また、それとともに、インターネット上の問題やトラブルは子ども達自身が責任を負うべき問題は一部で、「はずかしいこと」ではないことを保護者自身が認識し、その認識を子ども達と共有しておくことが必要であることを示している。そうでない限り、子どもはなかなか親に相談するまでには至らないからである。また一方で、こうした会話を通じて、子どもの規範意識を高めることも望まれる。

### 子ども達の「ルールを守る意識」「規範意識」

すでに見てきたように、「ルールを守る意識」は中学2年から急速に低下する傾向が見られ、「利用する上で、してはいけない」という規範意識は中学3年からこれも急速に低下する傾向が明らかとなった。

上記のように、中学2年から中学3年は、携帯電話やインターネットの利用が多様化する学年であり、日常的にメディアを使う中で、「ルールを守る意識」「規範意識」が希薄化していることがうかが

える結果といえる。逆に言えば、この年代に対して、情報倫理や利用上のマナー、インターネット利用上の「危険性」や「問題点」を教育する必要がきわめて重要であることが理解される。

### 子どものメディア利用実態と保護者の認識とのギャップ

現代の子どもを取り巻くメディア環境は急速に変化し、親の世代が育った時期のメディア環境とはまったく異なる環境になっていることを指摘したが、そのことを保護者は十分に認識し、対応していると言えるだろうか。今回の調査結果からは、「必ずしもそうはいえない」と言えるのではないだろうか。

まず、子どものメディアの利用実態についての親の認識と、実際の利用の実態とでは、大きなギャップが存在することが明らかとなった。

利用時間や頻度については、ほぼ実態と親の認識は一致している。しかし、親が考えている以上に、子ども達はインターネットの多様な機能、多様な情報にアクセスし、幅広い利用を行っており、そこで様々な「嫌な思い」をしている。そのことが、十分、保護者に認識されていないことがうかがえる。

また、保護者自身の回答でも、小学5年から中学3年の全体で33.2%が「パソコン・携帯電話の利用を把握しているか」という質問に対して「把握していない」と回答している。このことから、子どものメディア利用について親の認識が不十分であることがわかる。

子どもの安全な利用法のひとつである「フィルタリング・ソフトの利用」は中学2年から中学3年で幾分高まるとはいえ、40%弱に留まっており、またその理由の多くが「子どもが有害な情報を見ないと思う」から、と回答している。これは、「子どもに対する親の信頼の高さ」というよりは、保護者の「新しいメディア環境」に対する認識不足を反映しているように見受けられる。現在のネット環境の抱える問題や危険性について、親の認識が希薄であること、またフィルタリング技術に代表される技術の認知度や保護者の関心の低さも要因のひとつだろう。

### 子どもへの指導の必要性と実際の指導とのギャップ

いま、子どもを取り巻く「新しいメディア環境」に対する保護者の認識が不足していることを指摘したが、もちろん、保護者も、2-2のFで述べたように、「子どものための指導の必要性」に関して80%を超える人達が「必要と思う」と回答しており、何らかの指導や対応が必要であることを認識していることはまちがいない。

しかし、その一方で、実際の「家庭における指導には限界がある」ともうかがえる結果が示されている。言い換えれば、「家庭だけでは指導が不十分」あるいは「家庭では指導が難しい」という親の現状認識が、「指導の必要性」に関する意識を高めているといえるようだ。

たとえば、2-2のHとIの項目で指摘したが、「家庭における安全指導」では、36.3%が「行っていない」という回答であり、その理由は「何を伝えたらよいか分からない」が全体で14.7%を占め、と

りわけ利用が拡大する中学2年から中学3年の保護者では38.9%、54.5%という高い割合を示している。

予測できるのは、「掲示板」「チャット」「オークション」など子どもの利用が拡大する中で、保護者が利用上のルールや技術的な仕組みを含めて対処できない、指導できないと思われる事態が広がっていることである。

こうした、指導の必要性に関する高い欲求と実際には指導できない実態とのギャップを克服する上で、学校と自治体が期待されていることが読み取れる。

「指導すべき場所」として「学校」が86.1%と高い数値を示しており、小学校では30%が自治体に期待している。今後の施策を考える上で重要な結果である。

### 3 - 2 今後の課題

これまで指摘した結果を踏まえ、調査から浮かび上がる問題点、今後何が求められているか、について簡潔に述べておきたい。

第1は、繰り返し指摘したところだが、子どものメディア利用に関する保護者の現状認識の弱さが存在しており、実態をしっかりと認識する必要があることを理解してもらう必要がある。

そのためには、今回の調査結果の概要をパンフレットや資料のかたちで多くの保護者に知らせ、もっと子どものメディア利用について関心を持ってもらい、家庭での対応をより積極的に行ってもらうことが必要だろう。

また、現状では、保護者がインターネットなどのメディアに関する基本的知識やルール、情報倫理についての十分な知識が不足していることがうかがわれる。これを克服して、家庭でもそれなりの指導ができるように、保護者向けの講演会やワークショップ等の啓発活動を企画することも重要な課題といえる。

第2は、子どもに対する情報教育の必要性である。別紙の資料に示したように、各学校でも、様々な情報教育が行われている。しかし、その内容は、時間的な制約もあり、インターネットの基本的な利用方法やプレゼンテーションの仕方など教育活動に即したものに重点が置かれ、インターネットの「危険性」に関する認識を高める、不正請求問題があった場合の具体的な対処法、ネット上のメール交換や書き込みで生じるトラブルを回避する対処法など、規範意識を高める活動が十分に行われているという現状にはない。こうした中で、情報倫理や問題が実際に発生した場合の対応方法など、小学校・中学校の児童・生徒を対象にした教育指導がより展開されることが必要だろう。特に、すでに指摘したが、規範意識やルール意識が低下する中学2年から中学3年に対する対応が必要と考えられる。

第3は、子どものメディア利用を考える上で、家庭内のコミュニケーションの活発度が極めて重要な意味を持つことである。日常的な親子の会話が、子どものメディア利用に関する規範意識や「ル

ールを守る意識」だけでなく、メディア利用の仕方自体に対しても、大きな要因として関わっている。これまで以上に、子どもとの会話・対話の時間を作りだすことが、広い意味での子どもの適正なメディア利用を育む基盤となることを、保護者自身が理解すべきだろう。





## 參考資料



# 1 アンケート調査票・単純集計

## 1-1 小学2年生～小学4年生

① ① 自分のけいたいでんわを、もっていますか。( は1つだけ) n = 382

1 もっている	26.7%	2 もっていない	70.9	無回答	2.4
---------	-------	----------	------	-----	-----

↓

② のしつもんにする

① もっている に をした人が答えてください。

(1) どんなことに、つかっていますか。(いくつ をつけてもよい) n = 102

1 かぞくとおはなし	80.4%	6 おんがくをきく	17.6
2 かぞくとメール	51.0	7 ゲームをする	26.5
3 ① 友だちとおはなし	17.6	8 カメラでしゃしんをとる	55.9
4 ① 友だちとメール	23.5	9 そのた	20.6
5 テレビをみる	7.8	無回答	1.0

(2) どのくらい、けいたいでんわをかけますか。( は1つだけ) n = 102

1 ぜんぜんかけない	12.7%	4 ① 1週間に3～4回かける	14.7
2 たまにかける	30.4	5 ① だいたい毎日かける	18.6
3 ① 1週間に1～2回かける	21.6	無回答	2.0

(3) けいたいでんわで、メールをおくったことがありますか。( は1つだけ) n = 102

1 ある	63.7%	2 ない	34.3	無回答	2.0
------	-------	------	------	-----	-----

↓

② のしつもんにする

① ある に をした人が答えてください。

(4) ① 1日に何回、メールをおくりますか。( は1つだけ) n = 65

1 ① 1～2回	70.8%	3 ① 6～10回	3.1
2 ① 3～5回	15.4	4 ① 11回より多い	4.6
		無回答	6.2

(5) メールは、だれにおくりますか。(いくつ をつけてもよい) n = 65

1 かぞく	92.3%	4 けいたいでんわで、① 友だち	4.6
2 学校やならいごとの友だち	32.3	5 そのた	13.8
3 パソコンで、① 友だちになった人	3.1	無回答	1.5

2 <sup>いえ</sup>家のパソコンでインターネットをしたことがありますか。( は1つだけ) n = 382

1 はい	73.8%	2 いいえ	24.6	無回答	1.6
------	-------	-------	------	-----	-----

↓  
 1 はい に <sup>こた</sup>をした人が答えてください。  
 → 3 のしつもんにする

(1) どんなことに、ついていますか。(いくつ をつけてもよい) n = 282

1 べんきょう	48.9%	6 テレビばんぐみのページ	30.5
2 メール	6.7	7 プロフ( <sup>じぶん</sup> 自分のことをネットで しょうかいする)	1.4
3 ゲーム	75.5	8 そのた	27.7
4 かいもの	11.7	無回答	1.8
5 げいのうじん、かしゆのページ をみる	8.2		

(2) どのくらい、ついていますか。( は1つだけ) n = 282

1 1 <sup>げつ</sup> か月に1 <sup>かい</sup> 回	41.1%	3 1 <sup>しゅうかん</sup> 週間に3 ~ 4 <sup>かい</sup> 回くらい	13.5
2 1 <sup>しゅうかん</sup> 週間に1 ~ 2 <sup>かい</sup> 回くらい	25.2	4 だいたい <sup>まいにち</sup> 毎日	14.2
		無回答	6.0

(3) <sup>いえ</sup>家では、だれのパソコンをついていますか。( は1つだけ) n = 282

1 <sup>じぶん</sup> 自分のパソコン	10.3%	2 かぞくのパソコン	87.9
		無回答	1.8

(4) <sup>いえ</sup>家でインターネットをつかうとき、<sup>じぶん</sup>自分ひとりでつかうことが <sup>おほ</sup>多いですか。それとも、<sup>おや</sup>親と  
いっしょに、つかうことが <sup>おほ</sup>多いですか。( は1つだけ) n = 282

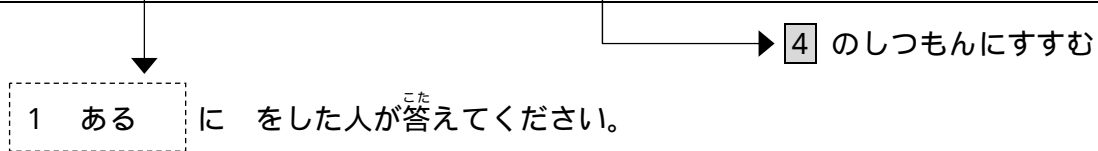
1 <sup>じぶん</sup> 自分ひとりで、つかうことが <sup>おほ</sup> 多い	41.1%
2 <sup>おや</sup> 親といっしょに、つかうことが <sup>おほ</sup> 多い	30.9
3 どちらもおなじくらい	25.5
無回答	2.5

- 3 けいたいでんわが、パソコンのインターネットをつかったことのある人が、<sup>こた</sup>答えてください。りょうほうとも、つかったことのない人は、5 のしつもんにすすんでください。

けいたいでんわやインターネットで、いやな気持ちになったことが、ありますか。

( は1つだけ) n = 382

1 ある	19.6%	2 ない	64.4	無回答	16.0
------	-------	------	------	-----	------



- (1) どういうことが、ありましたか。(いくつ をつけてもよい)

n = 75

1	知らない人から、メールやでんわがきた	33.3%
2	いやなことを書かれた	13.3
3	自分の <sup>じぶん</sup> のしゃしんをのせられた	13.3
4	気持ちがわるい <sup>え</sup> 絵を見た	29.3
5	自分の <sup>じぶん</sup> 書いたメールをかってにほかの人にみせられた	6.7
6	チェーンメールがきた(うけとった人が、つぎの人におくるように <sup>か</sup> 書かれたメール)	2.7
7	エッチなページにつながるメールがきた	6.7
8	ねているときになんども、でんわがかかってきた	8.0
	無回答	24.0

- (2) いやな気持ちになったら、どうしますか。( は1つだけ)

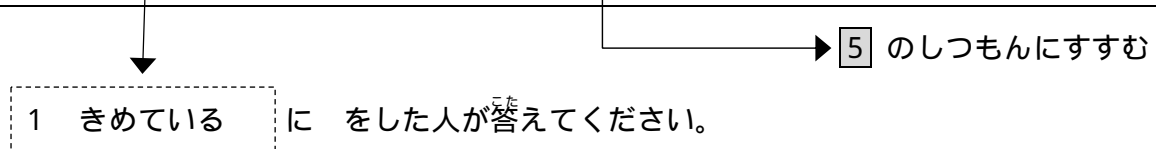
n = 75

1	<sup>おや</sup> 親にそうだんする	57.3%	4	なにもしない	13.3
2	<sup>とも</sup> 友だちにそうだんする	6.7	5	そのた	9.3
3	先生にそうだんする	2.7		無回答	10.7

- 4 インターネットやけいたいでんわをつかうきまりを<sup>おや</sup>親ときめていますか。( は1つだけ)

n = 382

1 きめている	42.9%	2 きめていない	31.2	無回答	25.9
---------	-------	----------	------	-----	------



- (1) きまりをまもっていますか。( は1つだけ)

n = 164

1	ぜんぜん、まもっていない	1.2%	3	いつも、まもっている	78.0
2	ときどき、まもっていない	18.3		無回答	2.4

5 あなたはふだん、つぎのようなことをどのくらいしますか。1日のだいたいのじかんをおしえてください。( は1つだけ)

(1) テレビ、ビデオ、<sup>でいーぶいでいー</sup>D V Dを見る( は1つだけ) n = 382

1	見ない	6.0%	3	1時間~2時間くらい	26.4
2	30分~1時間くらい	43.5	4	2時間より多い	20.9
				無回答	3.1

(2) ゲームであそぶ( は1つだけ) n = 382

1	あそばない	23.0%	3	1時間~2時間くらい	13.4
2	30分~1時間くらい	51.3	4	2時間より多い	8.4
				無回答	3.9

(3) 家でマンガをよむ( は1つだけ) n = 382

1	よまない	36.6%	3	1時間~2時間くらい	5.5
2	30分~1時間くらい	46.6	4	2時間より多い	6.8
				無回答	4.5

(4) 家で本(マンガやきょうかしょではない本)をよむ( は1つだけ) n = 382

1	よまない	29.8%	3	1時間~2時間くらい	12.8
2	30分~1時間くらい	45.3	4	2時間より多い	7.9
				無回答	4.2

(5) 家でべんきょうをする( は1つだけ) n = 382

1	しない	8.1%	3	1時間~2時間くらい	21.7
2	30分~1時間くらい	55.0	4	2時間より多い	12.3
				無回答	2.9

(6) 家でパソコンをつかう( は1つだけ) n = 382

1	つかわない	28.8%	3	1時間~2時間くらい	9.4
2	30分~1時間くらい	52.4	4	2時間より多い	5.8
				無回答	3.7

(7) けいたいでんわをつかう( は1つだけ) n = 382

1	つかわない	65.4%	3	1時間~2時間くらい	1.6
2	30分~1時間くらい	26.2	4	2時間より多い	2.1
				無回答	4.7

6 あなたは親<sup>おや</sup>とどのくらい、はなしをしますか。

(1) 学校のこと ( は1つだけ) n = 382

1	よく、はなしをする	56.8%	3	あまり、はなしをしない	10.5
2	ときどき、はなしをする	29.1	4	ぜんぜん、はなしをしない	2.6
				無回答	1.0

(2) ベンキョウのこと ( は1つだけ) n = 382

1	よく、はなしをする	34.6%	3	あまり、はなしをしない	14.7
2	ときどき、はなしをする	39.8	4	ぜんぜん、はなしをしない	8.1
				無回答	2.9

(3) 友だち<sup>とも</sup>のこと ( は1つだけ) n = 382

1	よく、はなしをする	50.5%	3	あまり、はなしをしない	14.9
2	ときどき、はなしをする	27.0	4	ぜんぜん、はなしをしない	5.2
				無回答	2.4

7 あなたの友だち<sup>とも</sup>のことをおしえてください。

(1) よく、はなしをしたり、いっしょにあそんだりする友だち<sup>とも</sup>は、なん<sup>にん</sup>人くらいいますか。  
( は1つだけ) n = 382

1	いない	1.3%	3	2 ~ 3人	17.3	5	7人より多い <sup>おお</sup>	51.0
2	1人	3.7	4	4 ~ 6人	24.3		無回答	2.4

(2) こまったことをそうだんする友だち<sup>とも</sup>は、なん<sup>にん</sup>人くらいいますか。( は1つだけ) n = 382

1	いない	19.6%	3	2 ~ 3人	33.2	5	7人より多い <sup>おお</sup>	8.4
2	1人	20.7	4	4 ~ 6人	16.2		無回答	1.8

(3) 友だち<sup>とも</sup>と、いつもいっしょにいたいとおもいますか。( は1つだけ) n = 382

1	とても、おもう	60.2%	3	あまり、おもわない	5.2
2	まあまあ、おもう	29.6	4	ぜんぜん、おもわない	3.7
				無回答	1.3

(4) 友だち<sup>とも</sup>がわるいことをしたら、友だち<sup>とも</sup>にちゅういをしますか。( は1つだけ) n = 382

1	いつも、ちゅういする	21.2%	3	あまり、ちゅういしない	14.4
2	ときどき、ちゅういする	55.0	4	ぜんぜん、ちゅういしない	8.6
				無回答	0.8

(5) いつもいっしょにあそぶ<sup>とも</sup>友だちは、きまっていますか。( は1つだけ) n = 382

1	いつも、きまっている	26.4%	3	あまり、きまっていない	16.2
2	だいたい、きまっている	44.8	4	ぜんぜん、きまってない	12.0
				無回答	0.5

(6) 友だちにさそわれたら、してはいけないことをしますか。( は1つだけ) n = 382

1	いつも、する	2.1%	3	あまり、しない	36.6
2	ときどき、する	14.4	4	ぜったい、しない	45.8
				無回答	1.0

(7) なかまはずれにならないように、していますか。( は1つだけ) n = 382

1	いつも、している	39.0%	3	あまり、していない	14.1
2	ときどき、している	28.0	4	ぜんぜん、していない	17.0
				無回答	1.8

8) さいごに、あなたのことについて、おしえてください。

(1) あなたの学年を、おしえてください。( は1つだけ) n = 382

1	小学校2年	35.1%	2	小学校3年	31.2	3	小学校4年	33.8
---	-------	-------	---	-------	------	---	-------	------

(2) あなたは、男子ですか、女子ですか。( は1つだけ) n = 382

1	男子	52.6%	2	女子	47.4
---	----	-------	---	----	------



1 - 2 小学5年生～中学3年生

① 自分専用の携帯電話を持っていますか。( は1つだけ) n = 604

1 ある	53.5%	2 ない	43.7	無回答	2.8
------	-------	------	------	-----	-----

↓  
 1 ある と答えた人にお聞きします。  
 → ② の質問に進む

(1) 何に使っていますか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 323

1 家族と電話	89.8%	7 ゲームをする	38.7
2 家族とメール	77.7	8 音楽をきく	50.2
3 友達と電話	66.6	9 テレビを見る	10.5
4 友達とメール	77.1	10 掲示板に書きこむ	8.0
5 チャット (ネットでのおしゃべり)	5.6	11 着メロ・着うたのダウンロード	44.6
6 カメラで写真をとる	72.8	12 その他	18.6
		無回答	0.9

(2) どのくらい携帯電話をかけますか。( は1つだけ) n = 323

1 ぜんぜんかけない	9.6%	4 週3～4回かける	18.6
2 たまにかける	43.3	5 毎日かける	12.4
3 週1～2回かける	14.6	無回答	1.5

(3) 携帯電話でメールを送ったことがありますか。( は1つだけ) n = 323

1 ある	92.3%	2 ない	5.9	無回答	1.9
------	-------	------	-----	-----	-----

↓  
 1 ある と答えた人にお聞きします。  
 → ② の質問に進む

(4) 1日にどのくらいメールを送りますか。( は1つだけ) n = 298

1 1～2回	29.5%	3 6～10回	16.8
2 3～5回	21.8	4 11回以上	31.2
		無回答	0.7

(5) メールを送る相手は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 298

1 家族	77.9%	3 ネットで知りあった人	3.7
2 学校・塾の友達など実際に知っている人	77.2	4 メル友	24.8
		5 その他	7.4

(6) 携帯電話を利用するのはなぜですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 298

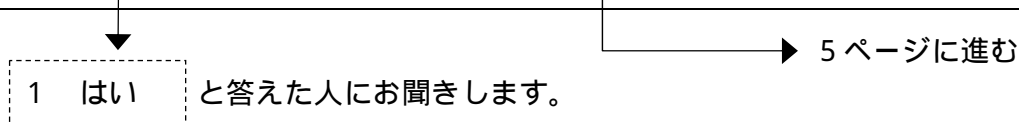
1	いつでも連絡をすることができるから	89.6%
2	色々な人と知りあいになることができるから	9.1
3	危険なときに、携帯電話があると安心できるから	63.4
4	面とむかって言えないことでも、携帯電話だと言うことができるから	20.8
5	メールをいつでも送ることができるから	59.7
6	メールだと、会っているときに言えないことを言うことができるから	34.9
7	メールのやり取りで、友達との仲が良くなるから	33.6
8	友達が持っているから	18.8
9	その他	13.1
	無回答	0.7

(7) 携帯電話の利用について、いけないと思うことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 298

1	学校に持っていく	71.1%	5	授業中に使用する	86.6
2	バスや電車の中で話をする	73.2	6	映画館や美術館などで電源を切らない	76.2
3	出会い系サイトにアクセスする	85.6	7	ポルノサイトへアクセスする	75.2
4	知らない人からのメールに返事をする	87.9	8	ワン切りの番号に電話をする	76.5
				無回答	3.0

2 家のパソコンでインターネット(メールを含みます)を使っていますか( は1つだけ) n = 604

1	はい	73.5%	2	いいえ	21.5	無回答	5.0
---	----	-------	---	-----	------	-----	-----



(1) どんなことに使っていますか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 444

1	勉強や調べものをする	83.1%	7	買いもの	10.4
2	メール	28.6	8	芸能人や歌手などの情報をみる	38.7
3	チャット(ネットでのおしゃべり)	17.3	9	テレビ番組などのホームページをみる	44.6
4	ゲーム	66.7	10	自分のホームページ・ブログをつくる	9.7
5	掲示板に書きこむ	16.0	11	自分のプロフ(プロフィール)を持っている	7.2
6	オークション	9.2	12	その他	17.3
				無回答	0.2

(2) どのくらい使っていますか。( は1つだけ) n = 444

1	1ヶ月に1回くらい	28.2%	3	週3~4回くらい	20.7
2	週1~2回くらい	30.6	4	だいたい毎日	19.6
				無回答	0.9

(3) どのくらい<sup>けいじばん</sup>掲示板に書きこみますか。( は1つだけ) n = 444

1	ぜんぜん書きこまない	79.1%	3	週3～4回くらい	3.2
2	週1～2回くらい	11.3	4	だいたい毎日	2.5
				無回答	4.1

(4) どのくらいチャット(ネットでのおしゃべり)をしますか。( は1つだけ) n = 444

1	ぜんぜんしない	78.8%	3	週3～4回くらい	3.8
2	週1～2回くらい	11.9	4	だいたい毎日	1.6
				無回答	3.8

(5) 家では誰のパソコンを使っていますか。( は1つだけ) n = 444

1	自分のパソコン	11.3%
2	家族と <sup>いっしょ</sup> のパソコン	86.5
3	友達の家やインターネット・カフェなどのパソコンを使う	0.5
4	その他	1.1
	無回答	0.7

(6) 家でインターネットを使うとき、以下のどれにあてはまりますか。( は1つだけ) n = 444

1	自分ひとりで使うことが多い	68.5%	3	どちらも同じくらい	17.8
2	親と <sup>いっしょ</sup> のときに使うことが多い	11.0	4	その他	2.5
				無回答	0.2

(7) インターネットはどこで使うことが多いですか。使うことが多い順に1番目から3番目まで選んでください。 n = 444

	1番目	2番目	3番目
1 自宅	91.7%	5.4	0.7
2 友達の家	0.9	14.6	23.9
3 学校	4.3	55.0	15.8
4 児童館などの公共 <sup>しせつ</sup> 施設	0.5	2.9	17.3
5 インターネット・カフェやマンガ <sup>きんぎょ</sup> 喫茶	0.5	5.2	2.7
6 その他	0.7	3.6	13.5
無回答	1.6	13.3	26.1

(8) インターネット上で知り合った人も「ともだち」と言えますか。( は1つだけ) n = 444

1	言える	14.6%	3	どちらとも言えない	19.1
2	言えない	34.0	4	分からない	28.6
				無回答	3.6

(9) インターネット上で知り合った人と、<sup>じっさい</sup>実際に会ったことがありますか。( は1つだけ) n = 444

1	ある	3.8%	2	ない	92.8	無回答	3.4
---	----	------	---	----	------	-----	-----

(10) よく見るサイトはどれですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 444

1	Yahoo! (ヤフー) きっず・キッズgoo (ゲー)	75.9%	8	オークションのサイト	9.7
2	マンガ・アニメのサイト	41.0	9	着うた・着メロのサイト	17.3
3	ゲームができるサイト	53.4	10	2ちゃんねる	13.1
4	おもしろいフラッシュのサイト	34.9	11	You Tube (ユー・チューブ) などの動画サイト	29.7
5	芸能人や歌手の情報がのっているサイト	32.0	12	エッチなサイト	2.5
6	雑誌 <small>ざっし</small> のサイト	18.9	13	家出や自殺に関するサイト	2.0
7	占 <small>うらな</small> いのサイト	16.0		無回答	1.8

(11) インターネットを利用するのはなぜですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 444

1	調べものをするのに便利だから	91.4%
2	色々な人と知りあうことができるから	7.4
3	世界中のホームページを見ることができるから	19.6
4	いつでも自分の好きなときに、好きな情報を見ることができるから	66.0
5	買いものをするのに便利だから	7.7
6	その他	16.0
	無回答	0.2

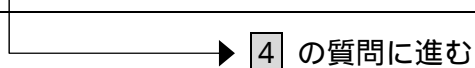
(12) インターネットの利用ではいけないと思うことはなんですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 444

1	自分の名前・住所・電話番号・メールアドレス・写真などを、ネット上にのせて、多くの人に見られ、知られてしまうこと	93.2%
2	友達の名前・住所・電話番号・メールアドレス・写真などを、ネット上にのせて、多くの人に見られ、知られてしまうこと	93.2
3	メールで友達の悪口を書いてまわすこと	81.1
4	掲示板 <small>けいじばん</small> に友達の悪口を書きこむこと	80.2
5	掲示板 <small>けいじばん</small> に勝手に他人の名前を使って書き込むこと	82.2
6	出会い系サイトにアクセスすること	84.0
7	エッチなサイトにアクセスすること	83.3
8	迷惑メール <small>めいわく</small> に返事をする事	83.8
9	親に内緒 <small>ないしょ</small> で買いものをする事	85.1
	無回答	1.6

3、4の質問は、携帯電話とインターネットのどちらかを使ったことのある人にお聞きします。両方とも使ったことのない人は、5の質問に進んでください。

3 携帯電話やインターネットでイヤな思いをしたことがありますか。( は1つだけ) n = 604

1 ある	30.3%	2 ない	60.6	無回答	9.1
------	-------	------	------	-----	-----



1 ある と答えた人にお聞きします。

(1) それはどういったことですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 183

1 知らない人からメールや電話が来た	53.0%
2 嫌なことを書かれた	9.8
3 自分の写真をのせられた	2.2
4 気持ちが悪いサイトにつながった	29.0
5 自分の送ったメールを勝手に他の人に見せられた	13.1
6 チェーンメールを受け取った	53.6
7 出会い系サイトのメールが送られてきた	14.8
8 真夜中に何度も電話が鳴った	10.9
無回答	2.7

(2) イヤな思いをしたら、どうすることが多いですか。( は1つだけ) n = 183

1 親に相談する	37.7%	4 なにもしない	39.3
2 友達に相談する	12.6	5 その他	9.8
3 先生に相談する	0.0	無回答	0.5

4 インターネットや携帯電話の利用について、親とルールを決めていますか。( は1つだけ) n = 604

1 決めている	46.2%	2 決めていない	43.0	無回答	10.8
---------	-------	----------	------	-----	------

↓  
1 決めている と答えた人にお聞きします。  
→ 5 の質問に進む

(1) ルールを守っていますか。( は1つだけ) n = 279

1 まったく守っていない	4.3%	3 いつも守っている	62.7
2 ときどき守ることがある	33.0		

↓  
1 まったく守っていない  
2 ときどき守ることがある と答えた人にお聞きします。  
→ 5 の質問に進む

(2) 守っていないルールは何ですか。( は1つだけ) n = 104

1 利用時間	46.2%
2 利用料金	36.5
3 自分の名前・住所・電話番号・メールアドレス等を親にだまって書きこまないこと	1.9
4 チェーンメールが来たら友達に送らない	0.0
5 親の見ていない時には使わない	4.8
6 人を傷つけるようなことは書きこまない・メールを送らない	1.9
7 出会い系サイトにアクセスしない	0.0
8 見てはいけないサイトを定める	1.9
9 その他	6.7

5 ふだんの生活について教えてください。

(1) 平日(学校がある日)の朝、起きる時間はだいたい何時ごろですか。( は1つだけ) n = 604

1 6時より前	6.3%	4 7時~7時半頃	28.6
2 6時~6時半頃	11.4	5 7時半~8時頃	10.8
3 6時半~7時頃	38.6	6 8時過ぎ	1.0
		無回答	3.3

(2) 平日(学校がある日)の夜、寝る時間はだいたい何時ごろですか。( は1つだけ) n = 604

1 10時より前	13.1%	4 11時~11時半頃	19.7
2 10時~10時半頃	13.1	5 11時半~0時頃	12.7
3 10時半~11時頃	23.0	6 0時過ぎ	15.1
		無回答	3.3

(3) 平日(学校がある日)の放課後にあなたはどのようなところで過ごしますか。

(あてはまるものすべてにをつけてください) n = 604

1	自分の家	86.6%	8	コンビニやスーパーなどの近所の店	12.1
2	友達の家	47.8	9	ファミリーレストラン	2.6
3	公園や広場	27.8	10	池袋・新宿・渋谷などの <sup>ほんかがい</sup> 繁華街	6.5
4	学校(部活など)	53.1	11	川や森のある場所	3.1
5	塾	47.4	12	その他	12.1
6	児童館や図書館	19.4		無回答	1.7
7	ゲームセンターやカラオケ	6.1			

(4) 休日、あなたはどのようなところで過ごしますか。

(あてはまるものすべてにをつけてください) n = 604

1	自分の家	84.8%	8	コンビニやスーパーなどの近所の店	21.7
2	友達の家	42.2	9	ファミリーレストラン	9.3
3	公園や広場	34.6	10	池袋・新宿・渋谷などの <sup>ほんかがい</sup> 繁華街	26.0
4	学校	16.6	11	川や森のある場所	6.1
5	塾	28.5	12	その他	25.5
6	児童館や図書館	17.2		無回答	1.8
7	ゲームセンターやカラオケ	19.2			

6) ふだん家で次のようなことをどのくらいしますか。一日のだいたいの時間を教えてください。

(はそれぞれ1つだけ) n = 604

	ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 以上	無回答
1) テレビ・ビデオ・ <sup>でいーびいでいー</sup> DVDを見る	11.1%	8.9	22.2	25.5	28.8	3.5
2) ゲームで遊ぶ	36.6	22.5	21.5	9.6	7.1	2.6
3) マンガを読む	35.6	29.1	19.2	7.1	4.8	4.1
4) 本(マンガ・教科書以外)を読む	34.6	31.6	18.0	7.9	4.6	3.1
5) <sup>べんきょう</sup> 勉強をする	15.7	24.3	26.2	18.7	12.7	2.3
6) パソコンを使う	41.1	24.3	16.2	8.6	6.3	3.5
7) <sup>けいたい</sup> 携帯電話を使う	53.5	18.0	9.1	5.0	9.9	4.5

- 7) あなたにとって、ふだんの生活の中で必要と思うものを以下の中から選んでください。  
(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 604

1	テレビ・ビデオ・D V D	71.7%	5	教科書・参考書	61.4
2	ゲーム	43.7	6	パソコン	57.1
3	マンガ	42.9	7	携帯電話	56.6
4	本(マンガ・教科書以外)	59.1		無回答	2.0

- 8) 親との関係についてお聞きします。

- (1) あなたは次のようなことについて、親とどのくらい話をしますか。( はそれぞれ1つだけ)  
n = 604

	よく話を する	時々話を する	あまり話 をしない	全然話を しない	無回答
1) 学校のできごと	41.1%	37.9	10.6	9.1	1.3
2) 勉強や成績のこと	28.8	40.7	20.9	7.9	1.7
3) 将来や進路のこと	20.0	31.6	30.1	16.4	1.8
4) 友達のこと	36.8	33.3	16.6	11.9	1.5
5) 社会のできごと	19.2	27.6	29.0	22.2	2.0

- (2) 親との会話で、自分の気持ちや考えが親に伝わっていると思いますか。( は1つだけ)  
n = 604

1	よく伝わっている	31.5%	3	あまり伝わっていない	14.7
2	まあまあ伝わっている	45.9	4	全く伝わっていない	6.6
				無回答	1.3

- (3) 親との会話で、親の気持ちや考えがよく分かりますか。( は1つだけ) n = 604

1	よく分かる	31.1%	3	あまり分からない	15.7
2	まあまあ分かる	45.2	4	全く分からない	6.6
				無回答	1.3

- (4) 親との関係について、次のようなことはあてはまりますか。  
(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 604

1	悪いことをするとしかって くれる	84.9%	6	ご飯を一緒に食べる	82.3
2	社会のルールやマナーを教えて くれる	62.4	7	自分の気持ちを分かってくれない	19.9
3	良いことをした時にほめてくれる	69.4	8	すぐに「勉強しろ」と言う	36.9
4	信頼してくれる	55.3	9	なんでも口を出してくる	23.0
5	相談に乗ってくれる	57.1	10	親の気分次第で怒られる	24.2
				無回答	1.3



9 友達との関係についてお聞きします。

(1) 次のような友達は全部で何人くらいいますか。( はそれぞれ1つだけ) n = 604

	いない	1人	2 ~ 3人	4 ~ 6人	7 ~ 10人	11人以上	無回答
1) 日ごろよく話をしたり、 一緒に遊んだりする友達	3.0%	2.3	13.2	25.8	21.2	33.9	0.5
2) 悩みごとを相談できる友達	14.1	13.6	39.9	18.4	4.8	6.1	3.1

(2) 友達との関係について、次のようなことはどのくらいありますか。( はそれぞれ1つだけ) n = 604

	とてもそう	そだいたい	であまりそう	そぜんぜん	無回答
1) いつも一緒にいたい	39.1%	39.9	15.6	4.5	1.0
2) 友達が悪いことをしたら注意する	10.3	46.4	33.6	8.3	1.5
3) グループの仲間どうして固まっている	21.7	36.9	28.0	11.8	1.7
4) 友達に誘われれば、してはいけないこともする	3.1	12.1	43.4	39.9	1.5
5) 流行のものは一緒に持とうとする	8.6	20.5	38.7	30.3	1.8
6) 仲間はずれにならないように気をつかう	18.7	30.3	29.5	19.4	2.2
7) ちがう意見を持った人とも仲良くできる	19.5	51.5	19.4	7.9	1.7

10 最後に、あなたのことについて教えてください。

(1) あなたの学年を教えてください。 n = 604

1 小学校5年	19.0%	3 中学校1年	17.7
2 小学校6年	23.3	4 中学校2年	18.7
		5 中学校3年	20.7
		無回答	0.5

(2) あなたの性別を教えてください。 n = 604

1 男子	53.5%	2 女子	46.0	無回答	0.5
------	-------	------	------	-----	-----

1 - 3 保護者

1 お子様は、自分専用の携帯電話を持っていますか。( は1つだけ) n = 548

1 持っている	49.5%	2 持っていない	50.2	無回答	0.4
---------	-------	----------	------	-----	-----

1 持っている とお答えの方にお聞きします。

▶ 次ページ(8)へ進んでください

(1) お子様はいつから携帯電話を持っていますか。( は1つだけ) n = 271

1 小学校入学前	0.0%	5 小学校4年	18.5	8 中学校1年	18.5
2 小学校1年	9.2	6 小学校5年	17.3	9 中学校2年	7.0
3 小学校2年	6.3	7 小学校6年	10.7	10 中学校3年	0.7
4 小学校3年	10.3			無回答	1.5

(2) お子様に携帯電話を持たせた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに をつけてください)

n = 271

1 いつでも親子で連絡が取れて便利だから	69.4%
2 子どもがどこにいるか分かって安心だから	58.7
3 その場ですぐに必要な情報が入手できるから	3.3
4 危険から身を守るのに役立つから	33.9
5 子どもの友達が持っているから	8.5
6 子どもが携帯電話を持ちたいと言ったから	19.2
7 その他( )	19.9
無回答	0.4

(3) お子様は携帯電話を何に使っていますか。(あてはまるものすべてに をつけてください)

n = 271

1 家族と話	79.7%	7 ゲーム	13.7
2 家族とメール	72.3	8 音楽を聴く	12.2
3 友達と話	24.0	9 テレビを見る	2.2
4 友達とメール	59.0	10 掲示板に書きこむ	1.1
5 チャット	2.6	11 着メロ・着うたのダウンロード	22.1
6 カメラ	35.8	12 その他( )	4.8
		無回答	0.4

(4) お子様は携帯電話を1日にどのくらい利用していますか。( は1つだけ) n = 271

1 30分くらい	63.1%	3 1時間半くらい	1.5	5 分からない	12.9
2 1時間くらい	7.7	4 2時間以上	1.1	無回答	13.7

(5) 利用料金は毎月どのくらいですか。( は1つだけ) n = 271

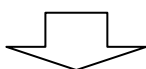
1 3,000円未満	53.5%	4 8,000円~1万円	2.6
2 3,000円~5,000円	24.4	5 1万円以上	1.1
3 5,000円~8,000円	17.0	6 分からない	0.7
		無回答	0.7

(6) 利用料金はどなたが払っていますか。( は1つだけ) n = 271

1 親が全額払っている	95.6%	3 子どもが小遣いで払っている	0.4
2 親が一部払っている	3.0	4 その他( )	1.1

(7) お子様の携帯電話の利用について、いけないと思うことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 271

1 学校に持っていく	50.6%	5 授業中に使用する	78.6
2 バスや電車の中で話をする	76.0	6 映画館や美術館などで電源を切らない	76.4
3 出会い系サイトにアクセスする	81.2	7 ポルノサイトへアクセスする	80.1
4 知らない人からのメールに返事をする	80.8	8 ワン切りの番号に電話をする	79.7
		無回答	16.6



2 へ進んでください

1 で携帯電話を 2 持っていない とお答えの方にお聞きします。

(8) 今後、携帯電話を持たせる予定はありますか。また、それはいつ頃ですか。 n = 275

1 ない	25.5%	2 ある	64.4	無回答	10.2
------	-------	------	------	-----	------



(持たせる予定の学年) n = 177

1 小学校2年生頃	0.0%	6 中学校1年生頃	16.9
2 小学校3年生頃	3.4	7 中学校2年生頃	6.2
3 小学校4年生頃	6.2	8 中学校3年生頃	8.5
4 小学校5年生頃	7.3	9 高校1年生頃	36.2
5 小学校6年生頃	4.0	10 高校2年生頃	2.3
		11 高校3年生頃	1.1
		無回答	7.9

2 お子様はご自宅のパソコンでインターネットを利用していますか。( は1つだけ) n = 548

1 はい	68.4%	2 いいえ	27.2	無回答	4.4
------	-------	-------	------	-----	-----

1 はい とお答えの方にお聞きします。 ▶ 5 ページ へ進んでください

(1) お子様は何歳からインターネットを使っていますか。( は1つだけ) n = 375

1 小学校入学前	13.1%	5 小学校4年	21.1	8 中学校1年	6.7
2 小学校1年	11.2	6 小学校5年	21.3	9 中学校2年	1.1
3 小学校2年	5.6	7 小学校6年	8.3	10 中学校3年	0.3
4 小学校3年	10.7			無回答	0.8

(2) お子様はどんなことにインターネットを使っていますか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 375

1 調べ物をする	91.5%	8 芸能人や歌手などの情報を見る	15.7
2 メール	18.4	9 テレビ番組などのホームページをみる	24.8
3 チャット	4.3	10 自分のホームページ・ブログをつくる	1.6
4 ゲーム	56.3	11 自分のプロフィールを持っている	0.5
5 掲示板に書き込む	2.4	12 その他( )	5.9
6 オークション	1.1		
7 買い物	3.5		

(3) お子様はどのくらいインターネットを使っていますか。( は1つだけ) n = 375

1 1ヶ月に1回くらい	29.9%	3 週3~4回くらい	16.5
2 週1~2回くらい	37.6	4 だいたい毎日	15.7
		無回答	0.3

(4) お子様は1日どのくらいの時間インターネットを使いますか。( は1つだけ) n = 375

1 30分以内	51.7%	3 1時間~1時間半くらい	8.8
2 30分~1時間くらい	35.2	4 1時間半以上	4.0
		無回答	0.3

(5) お子様はどこでインターネットを使うことが多いですか。使うことが多い順に1番目から3番目まで選んでください。 n = 375

	1番目	2番目	3番目
1 自宅	93.3%	5.9	0.0
2 友達の家	0.3	5.1	4.0
3 学校	5.3	37.1	3.2
4 児童館などの公共施設	0.3	1.9	3.5
5 インターネット・カフェやマンガ喫茶	0.0	0.3	0.3
6 その他	0.3	0.8	0.5
7 なし	0.0	0.8	5.6
無回答	0.5	48.3	82.9

(6) お子様は誰のパソコンを使っていますか。( は1つだけ) n = 375

1	子ども専用のパソコン	5.9%	2	家族共有のパソコン	94.1
---	------------	------	---	-----------	------

(7) お子様インターネットを使うとき、以下のどれにあてはまりますか。( は1つだけ) n = 375

1	子どもがひとりで使うことが多い	25.1%	3	どちらも同じくらい	21.9
2	親と一緒に使うことが多い	52.5	4	分からない	0.3
				無回答	0.3

(8) フィルタリング・ソフトをご自宅のパソコンで利用していますか。( は1つだけ) n = 375

フィルタリング・ソフトとは有害な情報を載せたページの閲覧を拒否するためのソフトで有償と無償のものがあり、携帯電話に使用するものもあります。

1	利用している	33.1%	2	利用していない	66.1	無回答	0.8
---	--------	-------	---	---------	------	-----	-----



2 利用していない とお答えの方にお聞きします。

(8 - 1) それはなぜですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 248

1	どういうソフト(又はサービス)が知らないから	36.7%
2	子どもが有害な情報を見ないと思うから	41.5
3	利用する方法が分からないから	29.8
4	利用に費用がかかるから	8.9
5	必要な情報が見られなくなるから	8.9
6	その他( )	24.2
	無回答	0.8

3、4の質問は、お子様がパソコンまたは携帯電話をご利用になっている方にお聞きします。(お子様が両方ともご利用になっていない場合は5に進んでください)

3 お子様がパソコンや携帯電話をいつ使っているか、通信記録の確認などで把握していますか。  
(は1つだけ) n = 440

1 把握している	64.5%	2 把握していない	30.7	無回答	4.8
----------	-------	-----------	------	-----	-----

4 インターネットや携帯電話の利用について、お子様とルールを決めていますか。  
(は1つだけ) n = 440

1 決めている	74.8%	2 決めていない	21.1	無回答	4.1
---------	-------	----------	------	-----	-----

↓ (2)へ進んでください

1 決めているとお答えの方にお聞きします。

(1)それはどういったことですか。(あてはまるものすべてにをつけてください) n = 329

1 利用時間を決める	48.6%
2 利用料金を決める	27.1
3 個人情報(名前・住所・電話番号・メールアドレス等)を親に黙って書き込まない	48.0
4 チェーンメールが来たら友達に送らない	38.6
5 親の見ていない時には使わない	30.4
6 人を傷つけるようなことは書き込まない・メールを送らない	41.3
7 出会い系サイトにアクセスしない	43.8
8 見てはいけないサイトを決める	30.1
9 その他( )	18.2

2 決めていないとお答えの方にお聞きします。

(2)それはなぜですか。(あてはまるものすべてにをつけてください) n = 93

1 子どもは有害なサイトを見ないと思うから	40.9%
2 親やきょうだいと一緒に時だけ使っているから	62.4
3 ルールやマナーについて何を伝えたらいいのかわからないから	2.2
4 その他( )	22.6
無回答	1.1

5 お子様の将来にとって、インターネットの知識は必要だと思いますか。( は1つだけ)

n = 548

1	思う	69.7%	3	あまり思わない	6.0
2	やや思う	17.3	4	思わない	1.1
				無回答	5.8

6 お子様が携帯電話を利用するメリットは何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 548

1	いつでも連絡をすることができる	76.6%
2	色々な人と知り合いになることができる	0.4
3	危険なときに、携帯電話があると安心できる	60.9
4	顔を合わせていると言えないことでも、携帯電話だと言うことができる	2.0
5	メールをいつでも送ることができる	23.0
6	メールだと、会っているときに言えないことを言うことができる	2.7
7	メールのやり取りで、友達との仲が良くなる	6.0
8	その他( )	4.9
9	メリットはない	4.6
	無回答	6.0

7 お子様がインターネットを利用するメリットは何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 548

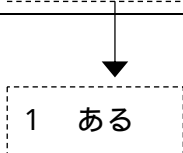
1	調べ物をするのに便利	88.3%
2	色々な人と知り合うことができる	0.2
3	世界中のホームページを見ることができる	23.4
4	いつでも自分の好きなときに、好きな情報を見ることができる	39.8
5	買い物をするのに便利	1.8
6	その他( )	2.4
7	メリットはない	3.1
	無回答	6.0

8 お子様には今後、インターネットを使用するためにどのような力や知識を持ってもらいたいと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに をつけてください) n = 548

1	インターネットを活用して、情報を探し出し、活かす力	77.6%
2	パソコンの様々な機能を理解し、使いこなす力	66.8
3	インターネット上でのマナーやエチケットについての知識	68.2
4	インターネットを用いて起こる犯罪に巻き込まれないための知識	71.5
5	情報をそのまま受け入れるのではなく、自分で確かめたり、考えたりする力	77.4
6	上記のような力や知識は特に必要ない	1.4
7	その他 ( )	0.7
	無回答	4.4

9 ご自身は携帯電話やパソコンを安全に利用するための指導を受けたり、学んだりしたことがありますか。( は1つだけ) n = 548

1	ある	34.7%	2	ない	61.1	無回答	4.2
---	----	-------	---	----	------	-----	-----



とお答えの方にお聞きします。

(1) どちらで指導を受けたり、学んだりしましたか。

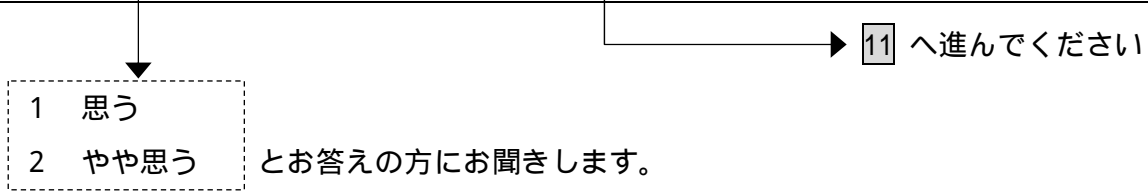
(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 190

1	勤め先	30.5%
2	通信事業者(携帯電話会社やインターネット・プロバイダーなど)	14.7
3	インターネット上のサイト	14.2
4	P T Aの事業	16.3
5	公共施設での講座	13.7
6	新聞・雑誌・テレビの番組や特集	39.5
7	子どもの通っている学校	16.3
8	家族や知り合いから教わった	30.0
9	その他 ( )	4.7



10 お子様携帯電話やパソコンを安全に利用するための指導は必要だと思いますか。  
 ( は1つだけ) n = 548

1 思う	83.9%	3 あまり思わない	2.6	無回答	0.9
2 やや思う	12.0	4 思わない	0.5		

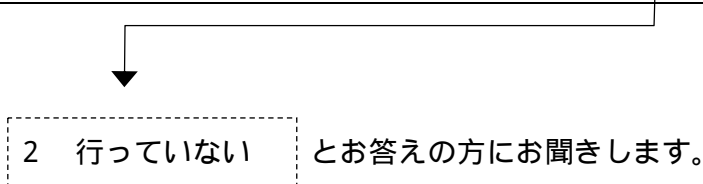


(1) お子様への携帯電話やパソコンを安全に利用するための指導は、どこで行われるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 526

1 学校	86.3%	5 民間の教室	
2 家庭	76.6	(塾やパソコン教室など)	8.2
3 自治体(児童館や図書館など)	25.7	6 NPO法人	7.4
4 通信事業者(携帯電話会社など)	31.7	7 その他( )	0.4
		無回答	0.2

(2) ご家庭で、携帯電話やパソコンを安全に利用するための使い方について、指導を行っていますか。( は1つだけ) n = 526

1 行っている	63.1%	2 行っていない	36.3	無回答	0.6
---------	-------	----------	------	-----	-----



(2-1) それはなぜですか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 191

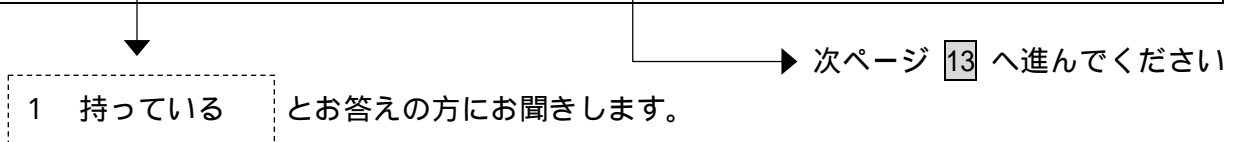
1 学校で習っているようだから	8.4%
2 子どもが危険なことに巻き込まれることはないと思うから	7.9
3 親やきょうだいと一緒にの時だけ使っているから	42.9
4 安全な使い方について何を伝えたらいいのかわからないから	14.7
5 子どもには携帯電話・パソコンの両方とも使わせていないから	28.8
6 その他( )	16.2
無回答	1.0

11 ご自身はご自宅でパソコンをご利用になっていますか。( は1つだけ) n = 548

1 利用している	88.7%	2 利用していない	10.9	無回答	0.4
----------	-------	-----------	------	-----	-----

12 ご自身は携帯電話をお持ちですか。( は1つだけ) n = 548

1 持っている	96.7%	2 持っていない	2.9	無回答	0.4
---------	-------	----------	-----	-----	-----



( 1 ) 携帯電話を何に使っていますか。( あてはまるものすべてに をつけてください) n = 530

1 家族と話	87.0%	7 ゲーム	7.7
2 家族とメール	87.7	8 音楽	7.0
3 友達と話	67.4	9 テレビ	3.6
4 友達とメール	90.8	10 掲示板に書きこむ	0.9
5 チャット	0.4	11 着メロ・着うたのダウンロード	17.4
6 カメラ	54.9	12 その他( )	15.7
		無回答	0.2

( 2 ) どのくらい電話をかけますか。( は1つだけ) n = 530

1 まったくかけない	1.3%	4 週3～4回くらい	19.6
2 たまにかける	39.2	5 ほぼ毎日かける	21.1
3 週1～2回くらい	18.5	無回答	0.2

( 3 ) どのくらいメールを送りますか。( は1つだけ) n = 530

1 まったく送らない	1.5%	4 週3～4回くらい	22.5
2 たまに送る	10.8	5 ほぼ毎日送る	57.9
3 週1～2回くらい	7.2	無回答	0.2

13 ご自身はご自宅のパソコンで、仕事以外でインターネットを利用していますか。  
( は1つだけ) n = 548

1 はい	84.1%	2 いいえ	15.1	無回答	0.7
------	-------	-------	------	-----	-----

↓  
1 はい とお答えの方にお聞きします。  
→ 14 へ進んでください

(1) どんなことに使っていますか。(あてはまるものすべてに をつけてください) n = 461

1 勉強や調べ物をする	95.0%	7 買い物	52.3
2 メール	62.7	8 芸能人や歌手などの情報を見る	12.4
3 チャット	1.3	9 テレビ番組などのホームページをみる	24.9
4 ゲーム	10.2	10 自分のホームページ・ブログをつくる	5.4
5 掲示板に書き込む	4.1	11 自分のプロフ(プロフィール)を 持っている	0.7
6 オークション	15.4	12 その他( )	6.1

(2) どのくらい使っていますか。( は1つだけ) n = 461

1 1ヶ月に1回くらい	9.1%	3 週3~4回くらい	20.8
2 週1~2回くらい	24.5	4 ほぼ毎日	45.6

(3) 1日どのくらいの時間を使いますか。( は1つだけ) n = 461

1 30分以内	45.1%	3 1時間~1時間半くらい	15.6
2 30分~1時間くらい	32.3	4 1時間半以上	6.7
		無回答	0.2

14 お子様は学校から家に帰ってから、次のことは一日にどのくらいの時間ありますか。  
( はそれぞれ1つだけ) n = 548

	ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 以上	無回答
1) テレビを見る	10.0%	17.0	39.1	28.8	3.5	1.6
2) 親と会話をする	1.5	26.3	38.3	21.7	10.0	2.2
3) 子どもが家に1人である	69.3	8.4	13.0	4.6	2.7	2.0
4) パソコンや携帯電話を使う	53.1	26.8	14.8	2.7	0.0	2.6
5) 友達と遊ぶ	41.1	10.4	21.2	23.0	2.4	2.0
6) 勉強・塾・習い事など	2.9	7.8	36.3	35.9	15.5	1.5

15 お子様との関係についてお聞きします。

(1) ご自身は次のようなことについて、お子様とどのくらい話をしますか。

( はそれぞれ1つだけ) n = 548

	よく話を する	時々話を する	あまり話 をしない	全然話を しない	無回答
1) 学校のできごと	57.7%	35.9	5.5	0.0	0.9
2) 勉強や成績のこと	38.5	48.5	10.9	0.7	1.3
3) 将来や進路のこと	15.9	53.1	27.2	2.7	1.1
4) 友達のこと	54.0	40.1	4.7	0.0	1.1
5) 社会のできごと	23.2	54.6	18.8	2.0	1.5

(2) お子様との会話で、ご自身の気持ちや考えがお子様伝わっていると思いますか。

( は1つだけ) n = 548

1 よく伝わっている	19.9%	3 あまり伝わっていない	8.0
2 まあまあ伝わっている	70.3	4 全く伝わっていない	0.5
		無回答	1.3

(3) お子様との会話で、お子様の気持ちや考えがよく分かりますか。( は1つだけ) n = 548

1 よく分かる	24.5%	3 あまり分からない	6.6
2 まあまあ分かる	67.5	4 全く分からない	0.2
		無回答	1.3

16 お子様の友達は全部で何人くらいいますか。( はそれぞれ1つだけ)

n = 548

	い ない	1 人	2 ~ 3 人	4 ~ 6 人	7 ~ 10 人	11 人 以上	分 か ら な い	無 回 答
1) 日ごろよく話をしたり 一緒に遊んだりする友達	1.3%	0.7	25.0	45.1	15.1	10.8	1.1	0.9
2) 悩み事を相談できる友達	10.0	11.1	44.5	9.3	0.7	0.2	22.6	1.5

17 お子様インターネット・携帯電話を利用することの、メリット・デメリットについて、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

---



---



---

17 最後に、ご自身について教えてください。

(1) 性別を教えてください。( は1つだけ) n = 548

1 男性	5.8%	2 女性	94.2
------	------	------	------

(2) 年齢を教えてください。(カッコ内にご記入ください) n = 548

1 34歳以下	3.3%	4 45～49歳	24.1
2 35～39歳	27.4	5 50歳以上	3.8
3 40～44歳	40.0	無回答	1.5

(3) お子様の学年を教えてください。

( は1つだけ。小・中学生のお子様は2人以上の場合は、上のお子様について) n = 548

1 小学校1年	0.0%	7 中学校1年	12.0
2 小学校2年	10.9	8 中学校2年	13.1
3 小学校3年	9.3	9 中学校3年	14.6
4 小学校4年	10.4	無回答	0.2
5 小学校5年	11.3		
6 小学校6年	18.1		

多数の質問にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただきました調査用紙は、「回答用封筒」(調査用紙と一緒にお渡ししてごさいます)に封入の上、ご郵送ください。

## 2 IT教育に関するアンケート集計結果

(調査対象:区立小学校20校、区立中学校11校、区内私立中学校2校)

### 1 授業でITに関する教育を行っている。

< 小学校 > はい:19校 いいえ:1校

【具体的な内容】

- ・パソコンの使い方(インターネット、ワープロ、画像処理、タッチ練習、パワーポイント)
- ・調べ学習で使用
- ・HPの閲覧方法
- ・インターネットのマナーやルール
- ・インターネットから必要な情報を探す、必要な情報だけをまとめる。
- ・コンピュータ室の使い方、操作方法等、インターネット接続の注意

< 中学校 > はい:12校 いいえ:1校

【具体的な内容】

- ・パソコンの使い方(インターネットによる検索、文章作成、表計算、プレゼンテーション)
- ・ネット利用上のルールとマナー
- ・情報手段の果たしている役割
- ・情報通信ネットワークについて

### 2 実際に授業または宿題等でパソコンを使用している。

< 小学校 > はい:18校 いいえ:2校

【具体的な内容】

- ・インターネットを使った調べ学習、プレゼンテーションソフトを使った学習
- ・お絵描きソフトなどを使い、パソコンやマウス操作に慣れる。
- ・パソコンによる作品の製作
- ・デジタルカメラで写真を撮る。絵や写真を貼り付ける。
- ・電子掲示板による交流
- ・コンピュータ室の使い方

< 中学校 > はい:12校 いいえ:1校

【具体的な内容】

- ・ワープロソフトによる作文
- ・描画ソフトによる年賀状の作成
- ・表計算ソフトによる表とグラフの作成
- ・教科ソフトを使用して学習を展開している。
- ・行事(遠足や校外学習など)のまとめをワープロソフトを使い報告書にしている。
- ・プレゼンテーションソフトを使い、課題発表をしている。
- ・総合的な学習の時間で、調べ学習に利用
- ・宿題でもインターネット等を使い、調べ学習をしている。
- ・情報モラルについて

3 授業以外でITに関する指導を行っている。

< 小学校 > はい:10校 いいえ:10校

【具体的な内容】

- ・クラブ活動でパソコンクラブの児童にインターネットのモラルについて指導している。
- ・生活指導のお知らせでフィルタリング、使い方のマナーやルールについて知らせている。
- ・長期休み前やセーフティ教室等において、ネット犯罪の危険性についての話をしている。
- ・長期休み前の保護者会で、ネット犯罪やメールによるトラブルの危険性について話す。

< 中学校 > はい:11校 いいえ:2校

【具体的な内容】

- ・部活動や生徒会でパソコンを活用している。
- ・朝礼、全校集会、道徳の時間でメールの危険性について指導
- ・長期休業に入る前に、全校集会でメール、インターネット等による犯罪についての話をする。
- ・巣鴨少年センターと連携してITに関する犯罪の危険性について学んでいる。
- ・駒込警察にハイテク犯罪セミナーという形で講演を依頼
- ・携帯電話、インターネットの有害サイト、ネット犯罪の危険性について講演会を行っている。

4 ITに関して学校ではどのような取り組みをしていますか。(児童・生徒への指導等)

< 小学校 >

- ・授業でパソコンの使い方の指導をしている。
- ・授業でインターネットを活用して調べ学習を行っている。

- ・授業でインターネット上の資料などを活用して、プロジェクターで映し学習を展開している。
- ・メールを使う際のマナーについて指導している。
- ・パソコンクラブをつくり、希望児童にコンピュータ操作を指導している。
- ・長期休みの前に携帯等の適切な使用について全体指導を行う。
- ・長期休みの前に、保護者会でネット犯罪やメールトラブルの危険性について話をした。
- ・セーフティ教室でネット安全教室を開いた。
- ・学校に携帯を持ってくることを禁止
- ・学校のホームページを作成している。
- ・学校のパソコンにはフィルタリングソフトを導入している。
- ・メールのやり取りで、児童間に問題が生じ、対応した。

#### < 中学校 >

- ・授業でパソコンの使い方や各種ソフトの活用等をしている。
- ・個人情報やインターネットの使い方について指導している。
- ・メールやインターネットの危険性について指導をしている。
- ・パソコン部があり、活動している。
- ・学校への携帯の持ち込みを禁止している。
- ・学校のパソコンにフィルタリングソフトを導入している。
- ・長期休業前に全体集会で携帯、ネット犯罪防止について指導
- ・セーフティ教室でネット犯罪の危険性についての講演会を行った。
- ・メールのやり取りで、生徒間でケンカやいじめ等の問題が生じ対応したことがある。
- ・生徒から使用料の高額請求について相談を受け対応したことがある。
- ・インターネット、掲示板等によるトラブルについてのプリントを配布している。
- ・数名の生徒がプロフを作成していたので、指導して消させた。

#### 5 ITに関する研修・研究会等はどのように実施されていますか。

#### < 小学校 >

- ・ITに関する研修を毎年夏期休業中に行っている。
- ・教育委員会主催の情報教育の研修会に参加している。
- ・区小研等で情報教育、ネット犯罪について研究している。
- ・年に1回、ソフトの使い方や、周辺機器の管理などの研修を行っている。
- ・ITに詳しい教員がいて、HPの管理、LANの管理、ネットワークの簡単な修繕を行っている。



< 中学校 >

- ・夏季休業中の区や都の研修会に個々に参加している。
- ・ホームページ担当の教員がホームページを管理している。
- ・ITに関する研修会が年に2回ある。(講師:本校教師)
- ・情報担当教諭がIT全体の管理を行っている。
- ・研修は行っていないが、ITに詳しい教諭がおり、HPの管理をしている。

6 ITに関して児童・生徒にどのような知識が必要だと思いますか。

< 小学校 >

- ・ネットや携帯電話を使う際のルールやマナー
- ・フィルタリング
- ・困ったことが起きたら家の人や学校の先生に相談する。
- ・ITの利用者は善意の人ばかりでなく、不特定多数の人が関わっているということについて
- ・個人情報の扱いについて
- ・著作権について
- ・携帯電話、インターネットに関わる犯罪について
- ・学校や家庭でのルールの確立とその大切さについて
- ・ブログ等の人権、プライバシー保護について
- ・迷惑メール、チェーンメール、不当請求などについて
- ・ネットで得た情報の真偽について取捨選択する力
- ・基本的な使い方について

< 中学校 >

- ・インターネットに関するルール、マナー
- ・インターネットや携帯電話の便利な点や危険性について
- ・犯罪にまきこまれないようにするとともに、加害者にならないようにする。
- ・不当な高額請求を受けたときの対処法
- ・利用料(特に携帯電話)について
- ・フィルタリングについて
- ・有害サイトへのアクセスやネット利用上のトラブル防止
- ・情報モラルについて
- ・個人情報の保護について
- ・著作権、肖像権などの知識

7 学校でのITに関する指導の中で不十分であると思われる指導項目はありますか。

< 小学校 >

- ・インターネットのマナーやルール
- ・情報モラルやセキュリティについて
- ・2人で1台のパソコンを使っているのに、個人のユーザーIDやパスワードというパソコンの基本的な使い方の指導ができない。
- ・校内LANができていないので、インターネット上に有効なコンテンツがあっても、教室の授業で使うことができない。
- ・プロジェクターが教室に配備されていないので、校内LANが構築されても、モニターの小さい画面でしか見ることができないので、授業に使うことができない。
- ・教員、保護者に十分な知識がない。
- ・ネットの情報の真偽についての指導
- ・迷惑メール、チェーンメール、不当請求などについて

< 中学校 >

- ・ITに関する内容が幅広く、指導側の知識が限られてしまう。
- ・保護者のほとんどは情報モラル教育、IT教育を受けていないので、保護者への啓発が必要
- ・少し調べものをしてほしいと思っても教室にコンピュータがない。また、校内LANが導入されていないため、教室でコンピュータを使用した授業ができない。
- ・ネットのルールとマナーについて指導をしているが十分でない。
- ・危険性や利用料についての指導
- ・情報機器の種類と能力
- ・生徒の方がITに関する知識が豊富で、指導する側がついていけないと思うことがある。
- ・ネットで得た情報について、その情報の真偽についての指導が難しい。
- ・著作権について
- ・生徒のITに関する知識、実技能力に大きな差があり、指導が困難となる場合がある。

8 学校では時間的・内容的に難しく、かつ自治体などで取り組んでほしい指導項目はありますか。

< 小学校 >

- ・家庭へのネットや携帯マナーの啓発活動
- ・保護者に対して、フィルタリングやネット犯罪について広く知ってほしい。
- ・ネット犯罪を摘発できるように法の整備をしてほしい。
- ・学校の休業日などを利用して、保護者対象のパソコン教室を実施してほしい。

- ・小学生が調べるのに適したサイトを立ち上げる。
- ・ネット犯罪に関する対処法をまとめたプリントがほしい。
- ・ネチケットに関すること
- ・長期休みなどを利用してのパソコン教室
- ・ネット使用上のルールやマナーの児童用マニュアルや教員向け講習会
- ・セーフティ教室(パソコン、携帯バージョン)
- ・校内LANの整備
- ・ネット犯罪、トラブル等に関する研修会を実施してほしい。

#### < 中学校 >

- ・ネット犯罪やブログ、プロフの問題についての講習会を開く
- ・保護者に対する指導(親から子へ指導する力)
- ・インターネットの使い方や望ましい携帯電話の使い方などについての講習会
- ・パソコンや校内LANのメンテナンスや、ソフトの使い方のアドバイス
- ・授業中にアシスタントティーチャーとしてパソコンの操作をサポートしてくれる人材の配置
- ・マスメディアへのクレーム(過度なコマーシャルズムに対して)
- ・指導ソフトの整備、機器のバージョンアップなど
- ・整備、メンテナンスへの十分な予算措置
- ・フィルタリングについて、専門家を招いて講演会を行ってほしい。
- ・ネット犯罪に関する対処法をまとめたマニュアルを作成してほしい。
- ・長期休みなどを利用して、パソコン教室を開いてほしい。
- ・地域(保護者や家庭)向けにITに関するトラブルの講演会
- ・コンピュータ環境が整っていない家庭の生徒のために、コンピュータに触れる機会を提供して頂けるとありがたい。

### 3 ITメディアと青少年健全育成検討部会開催記録

平成18年度	第1回	平成18年12月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会設置の趣旨について説明</li> <li>・アンケートの進め方について検討</li> <li>・参考資料配布</li> </ul>
	第2回	平成19年1月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITメディアの定義について検討、確定</li> <li>・現状把握と問題意識の共有</li> <li>・調査の対象、人数、方法について検討</li> </ul>
	第3回	平成19年2月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査項目概念図について説明</li> <li>・アンケート案について検討</li> <li>・調査対象校の検討</li> </ul>
	第4回	平成19年3月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート案の作成</li> <li>・調査対象校の選定</li> </ul>

平成19年度	第1回	平成19年8月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート経過報告</li> <li>・アンケート集計中間報告</li> <li>・報告書作成までの進め方について検討</li> </ul>
	第2回	平成19年10月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集計結果報告</li> <li>・アンケート集計結果について意見交換</li> </ul>
	第3回	平成19年11月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT教育の実態調査の実施について報告</li> <li>・問題点及び課題について意見交換</li> </ul>
	第4回	平成19年12月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT教育の実態調査集計結果報告</li> <li>・対応策について検討</li> <li>・報告書案について概要説明</li> </ul>
	第5回	平成20年1月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書案について意見交換</li> <li>・報告書の配布先について検討</li> </ul>

---

## ITメディアに関する意識・実態調査【報告書】

平成20年3月

発行 文京区青少年問題協議会

編集 文京区男女協働子育て支援部 児童青少年課  
文京区春日1-16-21  
電話 03-5803-1186

調査 (株)サーベイリサーチセンター  
東京都荒川区西日暮里2-40-10  
電話 03-3802-6724

印刷物番号 D0107045

---

再生紙を使用しています。